



Title	北広島市エコミュージアムセンター所蔵・阿部仁太郎関係資料の目録と解題：札幌近郊における名望家の家文書
Author(s)	上田, 哲司; 白木沢, 旭児
Citation	北方人文研究, 17, 15-55
Issue Date	2024-03-25
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/92166">http://hdl.handle.net/2115/92166</a>
Type	bulletin (article)
File Information	17_03_Ueda・Shirakizawa.pdf



[Instructions for use](#)

[資料]

北広島市エコミュージアムセンター所蔵・  
阿部仁太郎関係資料の目録と解題  
—札幌近郊における名望家の家文書—

上田哲司

(北海道大学アイヌ・先住民研究センター)

白木沢旭児

(北海道大学大学院文学研究院)

はじめに 目録作成に至る経緯について

いきなりの私事で恐縮であるが、筆者(上田)は、2015年度から17年度にかけて、北広島市エコミュージアムセンターに、三年間の任期付学芸員として奉職していた。その際、阿部仁太郎家の家文書が、北広島市の東記念館に収蔵されていることを知った。

阿部仁太郎(あべ・にたろう)とは、豊平村(現札幌市豊平区)、白石村(現札幌市白石区)、厚別村(現札幌市厚別区)の開発に大きな貢献を果たした阿部家の歴代当主の通り名である。その足跡は、豊平区・白石区・厚別区の三区の郷土史に今も記録されている<sup>1)</sup>。札幌郡広島村大曲(現北広島市大曲)にも、阿部仁太郎家の所有地があったことが大曲歴史サークルの調査によって明らかにされているが<sup>2)</sup>、阿部仁太郎家は、基本的には現札幌市の郷土史上にその足跡を残した家である。

では、なぜ、札幌の地主である阿部仁太郎家の家文書が、北広島市にあったのであろうか。それは、仁太郎の子孫が広島町(現北広島市)の町長であった穴田輝行氏(故人)と縁戚であったため、1989年に、穴田氏を通して、阿部家の家文書が広島町(現北広島市)教育委員会に寄贈された、という経緯のようである。阿部仁太郎関係資料は、当時、資料の展示・収蔵などの機能を担っていた東記念館に保管された。

その後、2014年度に北広島市エコミュージアムセンターが新たに開館され、資料の展示機能はエコミュージアムセンターに移ったが、東記念館も引き続き収蔵庫として使用されていた。2015年度に縁あって、上田がエコミュージアムセンターに学芸員として奉職することになった。東記念館を訪れた際、本資料群の存在に気づき、より文書保存に適した環境にあるエコミュージアムセンターの標本室に本資料を移した。

詳しくは後述するが、阿部仁太郎関係資料の細かな内目録はこれまで作られてこなかった。筆者も早くから関心を持っていたが、内容が札幌のことであるため、在職中はほとんど調査することができなかった。

任期満了によって退職する頃、北海道大学の白木沢旭児教授から、資料調査の実習ができないか相談を受けたことがきっかけで、むしろ退職後の2018・9年度に、白木沢教授と、北海道大学の日

1) 豊平町史編さん委員会編『豊平町史』豊平町、1959、厚別開基百年記念事業協賛会編集部編『厚別開基百年史』私家版、1982など。

2) 大曲歴史サークル『大曲の歴史(-)』私家版、2017。

本史学研究室に所属する大学院生・学部学生、およびそのOB・OGより希望者を募り、ともに阿部仁太郎関係資料の内目録の作成をボランティアで行うことになった。2020年度には内目録作成が終わる見込みであったが、折からの新型コロナウイルスの流行により調査は中断してしまった。2022年度、ようやく調査が再開され、内目録の作成を終えた。本稿では、その成果を報告したい。

阿部仁太郎関係資料は、これまで札幌の歴史研究者にもその存在が知られておらず、『新札幌市史』の編纂においても活用されることが無かった。本稿をもって改めてその存在を周知し、活用しうる環境を整えていきたい。ただし、現時点において、阿部仁太郎関係資料を幅広く一般の閲覧に供しえるかどうかは、北広島市エコミュージアムセンターの判断によるところである。

なお、先に述べたように、阿部仁太郎は阿部家の歴代の当主の通り名である。『白石歴史ものがたり』<sup>3)</sup>は、嘉永六年に生誕し、明治31年に国から藍綬褒章を授与された藍綬褒章を授与された人物を二代当主に数え、その養父・丑太郎を阿部家の初代当主としている。二代当主の息子・初太郎は、父の死後、仁太郎を襲名して三代目当主となった。『白石歴史ものがたり』が発刊された1978年には、阿部仁太郎を名乗る五代目当主がいたようである。阿部仁太郎の名前については、後述するがかなり複雑な問題があるが、ここでは、『白石歴史ものがたり』の整理を受け継ぎ、歴代の当主を初代当主・二代当主・三代当主などと呼び分ける。

## 第1章 阿部仁太郎関係資料およびその関連資料について

### 第1節 阿部仁太郎関係資料の基本的な性格について

1989年の整理段階では、阿部仁太郎関係資料を、学校関係の資料、農業関係の資料、戦争関係の資料、書簡など、大まかに分類したのち、ファイルや箱に入れて保存している。ファイルや箱には収蔵番号が付与され、広島町（現北広島市）の目録に登録された。収蔵No.3638～3640番、3674番、3676～3688番の資料がそれにあたる。枝番もこの際に付された。これらが一括して、阿部仁太郎関係資料と呼称されているのである。

一番小さい番号でも3638なのは、阿部仁太郎関係資料が広島町（現北広島市）の収蔵する資料全体の目録の中に登録されたからである。なお、各資料に、4桁の収蔵番号のほか、OA882などの番号がシールで貼られているが、これらは資料の寄贈受入時に付された仮番号であるらしい。現在の収蔵番号としては使用されていないもので、4桁の数字番号とその枝番が正式な収蔵番号である。

本資料群の内目録についてはこれまで作られてこなかった。そこで今回、北海道大学の日本史学研究室の関係者によって、阿部仁太郎関係資料の内目録の作成をボランティアで行うことになった。この際、元の4桁の番号とその枝番を尊重して目録の作成を行った。OA882などの仮番号は現在機能していない番号であるが、念のため、備考欄に記録した。不明の文字については□にしている。

また、この作業に並行して、ファイルや箱から、より文書保存に適した中性紙封筒に移し替える作業も行った。ただし、大型な資料は中性紙封筒には入らなかったため、そのままにしている。これらの作業は、2018・9年度の夏季と、新型コロナウイルスの流行による中断を挟んで、2022年度の夏季に行い、内目録は完成を見た。

また、本資料群には書簡も多く含まれているが、周知のとおり、近代の書簡資料は非常に難読であり、近代史の専門家であっても解説に時間を要する。これらを解説しながら目録を作成していくと、膨大な時間がかかってしまう。そこで、書簡は単に「書簡」として目録をとっており、内容に

3) 札幌市白石区老人クラブ連合会編『白石歴史ものがたり』（札幌市白石区老人クラブ連合会、1978）。

は踏み込まなかった。なお、葉書形式のものも、書簡として目録をとった。書簡の内容については、後考を待ちたい。

なお、穴田輝行氏は、阿部仁太郎関係資料以外にも多くの資料を広島町（現北広島市）教育委員会に寄贈している。穴田氏の寄贈した資料は、穴田輝行寄贈資料という資料群を形成している。北広島市には、数千点の収蔵資料があるが、そのなかに穴田輝行寄贈資料があり、さらにその中に阿部仁太郎関係資料がある、という位置づけである。穴田輝行寄贈資料には、①阿部仁太郎関係資料のほか、②穴田家の私文書、③穴田氏が経営していた穴田木材店の関係資料、④旧広島町の行政資料などが含まれている。

これまでの調査で、①阿部仁太郎関係資料には、本来、②～④に分類されるべき資料も含まれていることが判明した。1989年に、穴田氏が広島町教育委員会に資料を一括して寄贈した際、当時の学芸員が分類・整理を行ったが、この際、誤って混入してしまったものらしい。このことは裏を返せば、②～④にも、①が含まれている可能性があるということである。しかし残念ながら、②～④については、調査が及んでいない。

本来②に含まれるはずが、阿部仁太郎関係資料に入ってしまった資料として 3639-1～11、③に含まれるはずが、阿部仁太郎関係資料に入ってしまった資料として 3680-1～34 がある。これらは、阿部仁太郎と直接関係する内容でないこと、比較的新しい内容で戦後の資料も含まれること、存命者に関する資料も含まれることから、目録には詳細を掲載しないことにした。なお、3684-32 は、阿部仁太郎関係資料であるが、研究倫理上の問題から、詳細を不掲載にしている。

書簡などは、受取人の名前から、阿部家の資料なのか穴田家の資料なのか判断することが可能だが、一部に見分けることが困難な資料がある。例えば新聞資料など (3638-1～45 ほか) は、阿部家と穴田家のいずれが購読していたものなのか、断定することは困難である。ただ、『札幌毎日新聞』明治45年7月15日の夕刊 (3685-6-1) などは「遊郭移転問題」が取り上げられており、移転先の候補地として藻岩（現札幌市南区にある藻岩山付近）と豊平が挙がっているため、豊平の地主であった阿部仁太郎がこれに関心を持って新聞を保存していた可能性が高いと判断しているが、断言はできない。

よって、3639-1～11、3680-1～34 以外にも、穴田家資料や穴田木材店の資料が含まれている可能性がある。ただし、上記の例からも、新聞資料なども含めて 3639-1～11、3680-1～34 以外は阿部家の資料である可能性が高いと現時点では判断している。本資料の研究にあたっては、以上の点について、十分留意する必要がある。

阿部仁太郎関係資料の目録に掲載されている、年代が明記されている資料の中で、最も古いものは、明治13年のものである (3684-1)。明治13年は、阿部仁太郎家が豊平村に宅地を取得して居宅を構えた年である。年次が不明な資料や、穴田家資料、穴田木材店関係資料を除いて、最も新しい年月日の資料は昭和13年12月15日のものである (3687-54-1)。のちに述べるが、三代目の当主である阿部仁太郎（襲名前の名前は初太郎）が没するのが昭和14年なので、その直前までの史料群であることがわかる。よって、北広島市エコミュージアムセンターが所蔵する阿部仁太郎関係資料は、阿部仁太郎家が豊平村に居住してより後、三代目の当主が没するまで、阿部家に蓄積された家文書であり、明治前期から昭和戦前期までの資料であると定義できる。

## 第2節 阿部仁太郎関係資料以外の阿部仁太郎に関する資料

阿部仁太郎関係資料は、阿部家の家文書であり、いわゆる一次史料にあたる。ただ、一次史料が

伝える情報は、多くの場合、断片的である。それは、本資料群にも同様のことがいえる。そこで、阿部家の歴史を復元していくためには、阿部仁太郎関係資料以外の資料にも目配せし、情報の突き合わせを行っていく必要がある。そのような作業を経ることによって、阿部仁太郎関係資料の資料価値もまた上昇するのである。

そこで、ここでは、筆者が見つけた限りであるが、北広島市エコミュージアムセンターが収蔵する阿部仁太郎関係資料以外の阿部仁太郎に関する資料を紹介していこう。

まず重要なのが、北海道立図書館が収蔵する、二代当主の存命中に編纂された『阿部仁太郎伝』という史料である。この史料は二代当主と親しかった菊亭修季が編纂をつとめている。北広島市エコミュージアムセンター収蔵の阿部仁太郎関係資料からもうかがえない二代当主の生い立ちや、豊平移住以前の初代当主・二代当主に関する情報なども含まれており、重要な伝記的資料である。ただし、二次的な史料であり、儒学的思想に基づいて二代当主を理想化しようとする意図がうかがえ、そうした点を割り引いて読む必要があることは前稿において指摘した<sup>4)</sup>。

これと並んで重要なのが、国立公文書館が収蔵する、阿部仁太郎家の二代当主と三代当主が藍綬褒章を授与された際の記録である。前者は、明治31年に二代当主が国から藍綬褒章を授与された際の記録である「阿部仁太郎へ藍綬褒章下賜ノ件」という記事である。この記事は、『明治三十一年公文雑纂巻四 内閣四 賞勲局三』に掲載されている<sup>5)</sup>。後者は、三代当主が昭和3年に藍綬褒章を授与された際の記録である「正七位勲七等阿部仁太郎褒章下賜ノ件」という記事で、これは『昭和三年 公文雑纂 巻十 内閣 賞勲局七 藍綬褒章一』に掲載されている<sup>6)</sup>。以後、前者は「下賜Ⅰ」、後者は「下賜Ⅱ」と略記する。

「下賜Ⅰ」「下賜Ⅱ」は、前稿執筆段階において、一部分非公開であった。そこで、筆者が改めて開示請求をしたところ、前者については、令和4年(2022)8月26日付で、国立公文書館より全部開示の決定が成された。国立公文書館により今回新たに公開された部分は、阿部仁太郎家の戸籍の写しであった。後者については、同年9月21日付で、やはりこれまで非開示だった戸籍の写し部分を、一部公開する決定がなされたが、なお一部分については引き続き非公開のままである。

また、北海道立文書館が収蔵する、開拓使時代の公文書に、初代当主・二代当主が度々登場している。これも情報が断片的だが、一次史料としての価値がある。

これと並ぶ一次史料として、札幌市公文書館が収蔵する豊平村の公文書があるが、豊平村の公文書の残存状況は良くない。豊平村は、明治41年(1908)に豊平町となり、昭和36年(1961)に札幌市に合併されたが、合併の際、豊平村時代の公文書は大部分が廃棄されてしまったようである。

このほか、一次史料としては、北海道博物館が収蔵する白石村の屯田兵・武田家の資料に阿部仁太郎の名前が若干見ることが挙げられる。また、北広島市エコミュージアムセンターが収蔵する中山家資料(現北広島市島松に入植した老農・中山久蔵とその子孫の家文書)や、和田家資料(広島県より移民団を率いて、現北広島市東部地区に集団入植を果たした和田郁次郎とその子孫の家文書)にも、阿部仁太郎から送られた文書が僅かに含まれており、これらも仁太郎に関する一次史料である。

4) 上田哲司「移住型植民地・北海道における名望家の登場 阿部仁太郎、豊平村移住までの軌跡」『北方人文研究』15、2022。以下、前稿とはこの論考を指す。

5) 請求番号：纂 439100 件名番号：1。

6) 請求番号：纂 01811100 件名番号：002。

また、二代当主、三代当主ともに、存命当時の出版物に度々取り挙げられており、史料として活用できる。特に、『北海道毎日新聞』明治31年7月8日号の「札幌昔話」というコーナーには、二代当主本人の談話が掲載されていて興味深い<sup>7)</sup>。

これらの資料からも情報を補足し、さらに阿部仁太郎関係資料との情報の突合せを行うことで、阿部仁太郎家のより正確な実像に迫ることができるであろう。

## 第2章 阿部仁太郎家の歴代当主について

### 第1節 阿部仁太郎と丑太郎について

第1章第1節で述べたように、本資料群で最も古い資料は、阿部仁太郎家が豊平村に宅地を取得して居宅を構えた明治13年のものである(3684-1)。よって、本資料群から、豊平村居住以前の仁太郎の足跡を追うことは難しい。豊平村移住以前の仁太郎について知るには、第2章第2節において紹介した『阿部仁太郎伝』、「下賜I」、『北海道毎日新聞』明治31年7月8日号などの関連資料を参照する必要がある。そこで、筆者は以前に、これらを用いて、明治13年以前の仁太郎の動向についての復元を試みた<sup>8)</sup>。ここでは、その検討結果を要約し、豊平村居住以前の仁太郎の足取りを述べよう。

二代当主は、酉松(野口菊五郎)の第五子にして末子として嘉永六年に渡島国上磯郡茂辺地村に生まれた。実家は貧しく、幼い頃に母を亡くしている。3歳にして阿部丑太郎のもとに養子に出されることになった。

阿部丑太郎も生計に余裕がなかった。9歳の頃に養父母に伴われて、青森へ移住する。11歳の頃には養母が没した。その後、養父とともに函館の湯の川村に移っている。

17歳で丑太郎から阿部家の家督を譲られた。18歳で寿都の漁業家(佐藤家)に雇われたが、思うような収入を得られなかった。19歳のときに養父・丑太郎や妻を伴って札幌へ移住し、炭焼き業をはじめからは事業に成功して、生活に余裕ができた。

明治13年、養父が病となったことを機に、豊平村32番地に土地を取得し住宅を構えた。養父の全快祝いと新築祝いを兼ねた宴会を開いて、村民と交流を持つようになった。このような仁太郎の養父への孝行は、高く評価されていくことになる。

以上が、『阿部仁太郎伝』、「下賜I」、『北海道毎日新聞』明治31年7月8日号などの検討から得られた成果である。これらは二次的な資料ではあるが、仁太郎の存命中に編纂されていることから、大きな過誤はないであろうと考えていたが、北海道立文書館が収蔵する開拓使の公文書からは、これに矛盾する内容の資料も見つけている。これについて、前稿では以下のように述べたので、ここに引用する。なお、引用文中にある「君伝」とは『阿部仁太郎伝』に掲載されている「阿部仁太郎君伝」という記事の略称、北広エコとは北広島市エコミュージアムセンターの略称として用いたものである。

明治13年4月、阿部仁太郎より、長男の丑太郎を戸籍に入れたいとの願いが提出されているのである<sup>9)</sup>。それによると、丑太郎は「嘉永六年中、出稼之タメ函館町寄留中出生」した。明治

7) 「札幌昔話」は、札幌の古老たちの談話を連載したコーナーで、のちに、河野常吉が編纂した『札幌昔日譚』の下巻にも収められた。『札幌昔日譚』の下巻は、北海道郷土資料研究会によって、『北海道郷土研究資料 第三巻 札幌昔話』として1968年に出版されている。

8) 前掲註4に同じ。

9) 北海道立文書館蔵。請求番号：簿書3880件番号30。

五年より「御当所寄留」し、「活計目的茂相立候ニ付、昨十二年私有地江家作営構、本年一月中転籍」したい、との願いを提出しているのである。これまでの検討結果と比較すると、仁太郎と丑太郎の親子関係が逆転しているばかりか、養父養子関係ではなく、実父実子関係のように書かれている。なお、ここでの仁太郎の住所は「豊平村三十番地」となっており、「君伝」に見える仁太郎が明治13年に家を新築した場所とほぼ一致する。この文書には、「昨十二年私有地江家作」とあるので家作の年が一年ずれているが、ここまで一致点が多ければ、さすがに別人と考えるのは無理である。

これをどう解釈すべきか、明確な答えはない。一つの可能性として、単純な書き間違いである可能性がある。「君伝」にて、明治13年頃の仁太郎は教育を受けなかったことを嘆いていた。すると、この頃の仁太郎は読み書きができなかった可能性がある。北広エコが収蔵する膨大な資料には書簡資料なども多数含まれており、仁太郎は生活の安定にともなって読み書きも習得したものと思われるが、若い頃は読み書きを学ぶ生活の余裕もなかったであろう。そのため、開拓使に提出する申請書も誰かに代筆してもらった可能性がある。すると、親子の名前を逆転させるような間違いが起こったかもしれない。

今読み返しても苦しい説明だったが、前稿執筆当時はコロナ渦であり、北広島市エコミュージアムセンター所蔵の阿部仁太郎関係資料の調査が停止している中での執筆であり、これ以上の検討は後考の課題とせざるを得なかった。阿部仁太郎関係資料の調査が再開されたことで、この問題に関連する資料を発見することができた。その内容は、筆者自身の前稿の考察結果を否定するものであったが、ここに報告しようと思う。その資料とは、明治13年から30年までの、契約書・請書等の書類を一括して綴じた綴り(3684-1)の中に含まれていた2点の文書である。以下に翻刻文を示そう。なお、異体字は通用漢字に改めた。

## 改名願

(朱書き)  
阿部丑太郎  
阿部仁太郎  
私儀

今般改名仕候、就テハ一家同名有之候テハ不都合不少候ニ付、父隠居ノ義ハ前書朱書ノ通り改名仕度、此段奉願上候也、

札幌郡豊平村四番地

明治廿壹年四月 阿部仁太郎(朱印)

札幌郡長古川浩平殿

(朱印) 書願出候ニ付奥印之上進達仕候也

明治廿一年四月二日 札幌郡豊平村外四ヶ村戸長 高田直一郎(朱印)

(朱書き)  
願之趣許可ス

(朱書き)  
明治二十一年四月四日

## 改名願

札幌郡豊平村四番地

阿部丑太郎

(朱書き)  
改名仁太郎

実父仁太郎儀老人ニ付、今般隠居致私家督相続ニ相立候、然ルニ是迄父仁太郎ノ名儀ヲ以テ広

ク商業相管候儀ニ付、前戸主ノ名前ヲ相襲キ営業不仕候テハ商業上大ニ関係ヲ及シ候ニ付、実父名ノ通り仁太郎ト改名仕度候間、御許可被成下度、此段願上候也、  
戸主 阿部丑太郎 (朱印)

札幌郡長古川浩平殿

<sup>(朱印)</sup>  
(役場) 書願出候ニ付奥印之上進達仕候也

明治廿一年四月二日 札幌郡豊平村外四ヶ村戸長 高田直一郎 (朱印)

<sup>(朱書)</sup>  
願之趣許可ス

<sup>(朱書)</sup>  
明治二十一年四月四日

なお、この次には、明治13年4月付の「入籍之義願」という文書が綴じられており、これは先の引用文中で紹介した開拓使文書の写しである。阿部家で控えをとっていたのであろう。

引用史料からは、非常に複雑な改名が行われていたことがわかる。内容が複雑なので説明を加えよう。後者の「改名願」は「阿部丑太郎」から提出されたもので、その内容は、「実父仁太郎」が「老人」になったので「隠居」し、「私」(丑太郎)が「家督相続」をした。これまで「父仁太郎ノ名儀」で「広ク商売」を営んできたので、「前戸主ノ名前」でないと「商業上」不都合があるので、「実父名ノ通り仁太郎ト改名」したい、とある。

前者の「改名願」は「阿部仁太郎」から提出されており、「一家同名」が有っては「不都合」が少なくないので、「朱書」した名前(阿部丑太郎)に改名したい、とある。

よって、非常に複雑なことであるが、どうやら、明治24年4月に初代当主が隠居し、それに伴い、隠居した初代当主が仁太郎から丑太郎に改名し、二代当主が丑太郎から仁太郎に改名したことがわかる。このことは、これまでの郷土史で全く触れられていなかった新事実である。そればかりか、二代当主の業績を称揚する『阿部仁太郎伝』、「下賜I」にも無かった情報であり、これらをもとに執筆した筆者自身の前稿でも、当然、このような前提に立てていない。改めて一次史料を調査する重要性を痛感するとともに、コロナ渦で調査が困難な状況にあったとはいえ、調査不足のまま勇み足で執筆したことを反省することしきりである。

『阿部仁太郎伝』、「下賜I」では、二代当主は最初から仁太郎を名乗っており、丑太郎はその養父と書かれていた。しかし実際には初代当主も仁太郎を名乗っていたのである。筆者は前稿執筆段階において、初代当主は仁太郎を名乗っていないと認識していたので、二代当主を「ひとりめの仁太郎」、三代当主を「ふたりめの仁太郎」と呼んだが、この呼び方は誤りであった。よって、本稿では○代当主と呼称して呼び分けている。

また『阿部仁太郎伝』や「下賜I」では、初代当主と二代当主を養父・養子関係としており、前稿もこれに従った。しかし、先に紹介した二つの「改名願」や「入籍之義願」では、初代当主は二代当主と実父実子関係であるとしている。この齟齬については、以下の二つの可能性を指摘できる。一つは、本当は実父実子関係が正しく、『阿部仁太郎伝』や「下賜I」では、二代当主が貧しい境遇に生まれたことを強調するため、出生にまつわる話を創作した、という可能性である。もう一つの可能性として、やはり養父養子関係が正しく、何らかの理由で実父実子関係として開拓使に申告していた、という可能性である。現時点では、いずれが正しいかは確定できない。

また、「下賜」では、「明治二年二月養父丑太郎多病ニシテ家業ヲ為ス能ハサルヲ以テ仁太郎其後受ケテ日雇稼ヲ為シ、十七歳にして「父業」を継いだ、とあることから、前稿においては、「仁太

郎はこの年に家督を継ぎ、病気がちの養父に代わって日雇いの仕事をするようになったらしい」と述べた。しかし実際には、家督継承は明治21年に行われていた。

以上のことから、「下賜Ⅰ」や『阿部仁太郎伝』は、二代当主の事績を強調するため、初代当主の影を薄くするような記述を行ったのではないかと、ということが指摘できる。前稿で述べたような、二代当主の豊平村移住までの事績は、実際には親子で、あるいは二代当主の妻も含めて家族で協力しておこなったものであるのに、二代当主ひとりの事績であるかのような記述が成されていた、ということであろう。

前稿でも指摘したが、「下賜Ⅰ」や『阿部仁太郎伝』は、二代当主の養父への孝行を強調する内容である。そうであるにもかかわらず、父の業績を子の業績に組み込んでしまうのは、現代人の感覚からすると奇異に思える。なぜこのようなことが起こるのか。ここには、個人の問題と家の問題があるといえよう。

阿部仁太郎という名をもって「広く商業相営候」と引用史料中にあるように、この名前は、本来は、個人の識別を目的とした名前ではなく、屋号である。ところが、「下賜Ⅰ」や『阿部仁太郎伝』は、二代当主個人の業績を称揚する。そこに、このような親子の事績の混同が発生する原因があると言えるだろう。

なお、後述する阿部京太郎（三代当主の長男）の長男も、阿部丑太郎という名前であることが「下賜Ⅱ」掲載の戸籍からわかる。よって、次期当主に丑太郎という名前をつけることが阿部家の慣例であった可能性がある。

豊平村入植後の阿部仁太郎家については、本資料群に含まれる数々の謝状から明らかなように、役場や里道などの公共財の建築・修繕に寄付をし（3677-1、2、4など）、災害罹災者救済のためにも寄付を行い（3677-3、3688-33）、子どもたちの教育環境を整え（3674-33、34、36）、豊平村の村会議員などの公職を勤め（3677-14）、豊平村郵便局の経営にあたり（3687-13ほか）、連合用水の開削などにも大いに貢献した（3676-28、30）。先述のように、明治31年には、二代当主は藍綬褒章を授与されている。このような阿部仁太郎家の事績と行動は、この家が地方名望家としての役割を担ったことを示している。

## 第2節 阿部仁太郎と初太郎について

二代当主は、大正4年4月16日に没しており（3678-60）、4月20日に行われた葬儀の日には数々の弔詞が送られている（3678-53~70）。家督は長男の初太郎が継いだ。家督継承後、やはり襲名が行われて、初太郎は阿部仁太郎に改めている。3674-104では、初太郎の名前が赤字で仁太郎に修正されており、改名があったことを直接うかがわせる。

初太郎は、明治7年8月2日の生まれである。二代当主がまだ存命していた明治41年に白石村の村会議員に選ばれていることから（3677-15ほか）、父存命の頃より父とは別居して白石村に居宅を構えていたものと思われる。父同様、地域開発に大きな貢献を果たし、大正9年9月11日には、「多年郵便局長・農会長・村会議員其ノ他ノ公職ニ就キ」「農事ノ改良・畜産ノ奨励」「火防」「衛生」「公共事業」に尽力し、「賞ヲ受ケタルコト枚挙ニ遑アラズ」として白石村長から表彰されている（3678-20）。昭和3年には、国から藍綬褒章を贈られたことは、前述の通りである。

これまで、札幌の郷土史では、この親子の業績が混同されることが度々あった。例えば、『輝く白石・厚別一二〇年の人びと』では、阿部仁太郎が紹介されているが、この本は仁太郎の業績として、「明治二十九年厚別に郵便局を創設して、多年その局長を勤めた」「白石村会議員、村農業会長など

に就任」「明治二十五年、菅野義実、平塚直幹等と奮起、平岸、白石、上白石用水組合設立、二十七年認可をとったことなどを挙げている。この本は、仁太郎の没年を昭和14年7月9日としていること、そもそも白石区・厚別区の歴史を対象にした書籍であることから、三代当主（初太郎）を紹介しているはずである。阿部仁太郎関係資料によってこれらの記述を検討していくと、厚別郵便局長を勤めたのは初太郎（3687-2~25 ほか）であり、白石村の村会議員も同様に初太郎が勤めている（3677-19 ほか）。農会の長については、二代当主も（3681-1-116 ほか）、三代当主も（3678-20 ほか）、どちらも勤めている。一方で、用水組合を設立したのは、二代当主の事績である（3678-31 ほか。ちなみに、正確には、豊平・平岸・白石・上白石の連合用水組合である）。ただし、二代当主が死去して三か月後には、仁太郎を襲名した三代当主が用水組合長に推薦されており（3676-28）、昭和3年には、組合長就任15年の記念品を贈られている（3688-3）ので、三代当主が二代当主の事業を引き継いでいたことがわかる。しかし事業の設立自体は、二代当主の功績である。

このように、阿部家の当主は代々仁太郎を称したことから、その事蹟は混同されやすい。筆者は、阿部仁太郎家の調査に取り組み始めた2017年ころ、すでに札幌の郷土史において、二代当主と三代当主の事蹟が混同されていることに気づいていた。しかしその筆者自身も、初代当主と二代当主の事蹟を混同したまま前稿を執筆してしまったことが、北広島市エコミュージアムセンター所蔵資料を調査したことから明らかになったのである。

### 第3章 阿部仁太郎家の人々

#### 第1節 二代当主の妻子

先にも述べたように、阿部仁太郎関係資料の基本的な性格は、阿部仁太郎家が豊平村に居宅を構えた明治13年以降、三代当主が没する直前の昭和13年まで、阿部家に蓄積されてきた家文書である。家文書という性格上、仁太郎を名乗った歴代当主以外にも多くの阿部家の人々の名前が本資料群には登場する。そのため、阿部家の家族関係について把握しておかなければ、本資料群を活用することはできない。そこで、ここでは、阿部仁太郎関係資料に見える人物の情報を整理し、阿部家の人々について簡単に考察していこう。

初代当主・二代当主・三代当主については前章で見たので、ここではその家族を見ていく。この考察に当たっては、国立公文書館が令和4年に新たに開示した「下賜Ⅰ」「下賜Ⅱ」掲載の戸籍情報と照合して考察を行っていく。

前稿執筆時、二代当主の妻の名前を不明としたが、「下賜Ⅰ」掲載の戸籍写しが新たに開示されたことによって、二代当主の妻の名前はコトであることが判明した。「下賜Ⅰ」によると、安政二年五月28日の生まれである。目録に、「阿部コト」または「阿部こと子」とあるのが、二代当主の妻であろう。3676-6、21、27、3677-43、3681-10、3688-49が該当する。

二代当主の長男は、初太郎である。のちに三代当主となる人物だが、この人物は先に取り上げたので、ここでは、次男以下を見ていこう。二代当主の次男は阿部由太郎（あべ よしたろう）であるが、彼については厚別旭町に居住し阿部農場の初代管理人となったことが知られている。『第二版 北海道人名辞書』<sup>10)</sup>で「阿部由太郎」が立項されており、彼の略歴が分かるので参照されたい。本資料群では、3681-13-8、3681-14-7に名前が見える。また、先にも紹介した、明治13年から30年までの、契約書・請書等の書類を一括して綴じた綴り（3684-1）に「阿部芳太郎」宛の文書が複

10) 金子信尚編『第二版 北海道人名辞書』（北海民論社、1923）。

数含まれている。阿部由太郎と音が同じであることから、同一人物である可能性がある。なお由太郎が管理人を勤めた阿部農場については、3684-10などの資料がある。

ちなみに、「下賜Ⅰ」掲載の戸籍写しには、長男初太郎と三男豊太郎が載っているが、二男由太郎の名前がない。はやくに独立して戸籍を移していたのであろう。

さて、その三男・豊太郎であるが、本資料群では阿部豊三郎という名前で登場する(3676-5など)。彼の創成尋常高等小学校(現在の札幌市立創成小学校の前身の一つ)への入学願(3674-69)によると、豊三郎は仁太郎三男で明治16年11月18日生まれとある。「下賜Ⅰ」戸籍写しに見える豊太郎も明治16年11月18日生まれの仁太郎三男とあるから、同一人物と見て間違いはない。戸籍を写す際に、「太」と「三」を書き誤ったのであろうか。豊三郎については、陸軍歩兵上等兵として日露戦争に出征していることが注目される(3688-50など)。

仁太郎4男は阿部盛太郎といい(3674-84)、「下賜Ⅰ」掲載の戸籍写しによると、明治24年5月7日生まれである。尋常小学校第一学年の修業証書(3674-84)に見える情報と一致している。彼も兵役についており、明治40(1907)年11月20日に満期除隊昇進の祝辞を贈られている(3640-4-3)。

「下賜Ⅰ」掲載の戸籍写しには、仁太郎の四男・盛太郎、六男・光太郎の情報が載っているが、五男の情報が抜けている。本資料群を見ても、盛太郎より年下で光太郎より年上の男子を見つけられない。おそらくは、幼くして他家に養子に出されたか、早世してしまったのだろう。

3674-3などに名前が見える阿部光太郎は、「下賜Ⅰ」掲載の戸籍によると、明治29年7月17日産まれで、仁太郎の六男である。甥(初太郎の長男)京太郎と同じ年である。光太郎は、大正五年には通信事務員をしており、この頃、兄の三代当主(初太郎)が白石村の三等郵便局長であるので(3687-35)、郵便事業を家族経営していたことが窺える。

阿部武四郎は「下賜Ⅱ」掲載の戸籍写しによると、仁太郎とコトの七男で、明治31年10月12日生まれである。長兄(初太郎)とは21歳差があり、兄弟としてはかなりの年の差があるが、「下賜Ⅱ」掲載の戸籍によると、兄弟の母親は全員コトであるらしい。

3674-2などに名前が見える齊木トヨは、彼女の修業証書(3674-1)に岩次郎養女とあるから、おそらくは仁太郎の娘で、齊木岩次郎のもとに養女に出されていた、ということであろう。そのため、阿部家の戸籍から抜かれたものと思われ、「下賜Ⅰ」「下賜Ⅱ」掲載の戸籍からは、彼女についての詳しい情報は得られない。なお、齊木岩次郎は白石村に居住しており、札幌郡広島村(現北広島市)の竹山神社創建に関ったことで、北広島市の郷土史にその足跡を残した人物である<sup>11)</sup>。

また、3688-44などには、角田トヨという人物の名前が見える。断言はできないが、おそらく齊木トヨと同一人物で、結婚して苗字が変わったものと思われる。

角田トヨの夫が角田盛人である。この人物は陸軍歩兵少尉を勤め日露戦争に出征するも(3678-72)、203高地の戦いで「名誉ノ戦死ヲ遂ゲ」てしまった(3678-73)。明治37年12月1日のことである。いわゆる戦争未亡人となってしまったトヨは、「親族」の阿部仁太郎とともに、「年金継受願」を章勲局に提出している。これは、金鷄勲章年金令第三条に基づき、明治38年1月から12月までの1年間、年金を歳額200円受給したい、との内容である(3685-18)。ちなみに、金鷄勲章第三条

11) 山形県から札幌郡広島村に入植した長南清三郎は、齊木と親しくしており、齊木から毘沙門天の合祀を頼まれた。長南は、地域の人たちと諮って、現在の北広島市富ヶ岡878-80に、春日大社と毘沙門天を合祀した竹山神社を創建したという(『北広島市史』下巻、506頁)。

の内容は、「本令ノ年金受領者死亡」の場合、一年間に限って、遺族にその年金を下賜する、というものである<sup>12)</sup>。「年金継受願」には、トヨが明治21年7月29日の生まれであることが書かれている。すると、夫が戦死したとき、トヨは僅か16歳だったことになる。

しかも、夫の戦死時、トヨは妊娠中だったはずである。なぜなら、夫が戦死した3か月後の明治38年3月、トヨは男子を産んでいるのである。この男子は、亡父の一字を取って盛広と名付けられている。盛広は、阿部家に引き取られて養育されたようで、「下賜Ⅱ」掲載の戸籍写しに阿部盛広が載っている。本資料群にも盛広の名前が見える(3674-94ほか)。なお、トヨが二代当主の娘であるとなると、その生年順は三男豊三郎と四男盛太郎の間である。

## 第2節 三代当主の妻子

**3679-18** ほか、いくつかの史料に名前が見える阿部イソは、「下賜Ⅰ」掲載の戸籍によると、初太郎の妻である。明治7年2月10日、厚田郡別狩村8番地平民・一戸萬次郎の長女として生まれ、明治26年3月15日に初太郎と入籍したようである。

「下賜Ⅰ」掲載の戸籍によると、初太郎の長女は梅といい、明治26年6月30日生まれであるという。本資料群から梅という人物を探すと、阿部うめまたは阿部梅子が該当すると思われる。阿部うめの尋常小学校第三学年の修業証書(3674-59)によると、彼女は明治26年2月生まれであるとある。誕生日の日付が修業証書と戸籍写しで食い違っているが、同一人物を指すと見ていいだろう。彼女が文字の手習いなどをした清書帖も残っているが(3674-35)、ここでは、阿部梅子と署名している。

「下賜Ⅱ」掲載の戸籍写しによると、初太郎の長男は阿部京太郎といい、明治29年2月生まれである。梅からみたら弟にあたることになる。本資料群からは、父・初太郎と同様に、白石村の村会議員を勤めていたことがわかる(3677-44)。おそらくは、この人物が三人目の仁太郎になったと思われるが、確証を得ていない。

**3681-14-3** に名前が見える「阿部よし江」は、「下賜Ⅱ」掲載の戸籍写しによると、京太郎の妻である。3681-14-3の手紙は、「御姉上様」とあるので、弟からの手紙である。

阿部ハツは、札幌女子尋常高等小学校(現在の札幌市立大通小学校の前身の一つ)の修業証書によると、明治36年9月2日生まれ(3674-102)で、同校の通信箋によると、初太郎の娘であることがわかる(3674-104)。生年順から、梅と京太郎の妹にあたる。

以上の整理に基づき、文末に系図も付けたので参照されたい。

なお、阿部与之助(3677-47)、阿部幣治(3684-56)、阿部宇之八(3678-53)といった人物の名前も見えるが、この三人は、阿部仁太郎家と血縁者ではない。阿部与之助は酒田県から豊平村に入植し、阿部仁太郎家に並ぶ巨大地主になった人物で、幣治はその養子である。阿部宇之八は『北海タイムス』の創刊にかかわったジャーナリストで、札幌区長も勤めた人物である。

## 第4章 特筆すべき資料について

### 第1節 阿部仁太郎家と政党政治

さて最後に、本資料群の中で、特に注目すべき資料をいくつか取り上げて見ていこう。

名望家が果たした歴史的役割として注目されるのが、自由民権運動との関りであろう。もちろん、

12) 『法令全書 明治28年』(国立国会図書館デジタルコレクション参照)。

すべての名望家が自由民権運動に関心があったわけではなく、運動への関りは、名望家によって濃淡がある。それでは、阿部仁太郎家の場合はどうであろうか。本資料群を見るに、阿部仁太郎家が積極的にこの運動に関与したとは認められない。しかしながら、板垣退助ほか自由党の面々が遊説のために来道した際、二代当主が応対に協力したことがわかる資料も残っている(3683-52)。このため、残存資料は僅少なながらも、阿部仁太郎家が自由党の活動に協力的姿勢を有していたことがうかがえる。なお、この資料には年代の記載がないが、板垣は明治33年9月に北海道へ遊説に出かけているので<sup>13)</sup>、この年のことであることがわかる。

また、三代当主は、立憲政友会の評議員を勤めている(3676-23、24)。立憲政友会の支持基盤は地主層であったことが指摘されており、三代当主も同様に支持していたのだろう。

このように、阿部仁太郎家の二代当主・三代当主は、本州以南の地主層と同じ政治的傾向を有していたと評価できる。

## 第2節 阿部仁太郎家と菊亭脩季

本資料群に含まれる書簡資料で、送り主として最も頻繁に名前が出てくるのが菊亭脩季である(3681-13-18~30、32~105ほか)。菊亭脩季とは、太政大臣・三条実美の義弟で、開拓使に勤め、蜂須賀茂韶らと雨竜(現北海道雨竜町)に華族組合農場を営んだことで知られる人物である<sup>14)</sup>。前述した「阿部仁太郎伝」の執筆にも関わっていることは前稿において述べた。本資料群にある、菊亭からの書簡の数々は、仁太郎と菊亭の親密さを表している。また、菊亭の書簡が最も多く残されているのは、菊亭のような華族との繋がりを誇りにする意識が阿部家の側にあったものと思われる。

なお、『芽生と菊亭侯爵』<sup>15)</sup>では、菊亭脩季と修季の表記の違いについての検討が行われており、脩季表記を採用しているが、例えば3678-32などでは、菊亭脩季と署名しており、修季と脩季を併用していた可能性がある。

以上、雑駁ながら、本資料群と阿部仁太郎家の歴史について、簡単な紹介と検討を行ってきた。なお個別の資料については、いまだ目録を取ったのみで、いまだ読解されていない資料も多い。特に、書簡資料については、ほとんど未読のままである。

先にも述べたように、本資料群が今後一般の閲覧に供し得るかは、北広島市エコミュージアムセンターの判断によるところであるが、ゆくゆくは、多くの人の目に留まって札幌の郷土史研究を前進させる糧となってほしいと望むところである。

## 謝辞

本目録の作成にあたって、北海道大学大学院文学研究科・文学院・文学部に所属する大学院生・学部学生、およびその卒業生・修士生の協力を得ました。それぞれ、参加年度、参加日数などは異なりますが、ここに参加者全員のお名前を記して感謝申し上げます。

【協力者名(五十音順)】池崎修平・浦果・木村聡・工藤正智・久保南・後藤優・鈴木仁・鈴木良昌・田中秀幸・田原洋朗・富永智希・中村有希・成田陸人・野口飛香留・藤村建雄・松本明・松本啓太郎・三浦一将・宮本花恵・山本彩乃・遊馬考輝

13) 中元崇智『板垣退助』(中公新書、2020)。

14) 同人については、刑部芳則「菊亭脩季の夢と現実」(同『三条実美』吉川弘文館、2016)参照のこと。

15) 田島源一『芽生と菊亭侯爵』菊亭脩季侯爵百年祭奉賛会、2004。

北広島市エコミュージアムセンター蔵・阿部仁太郎関係資料目録

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3638 1	小樽新聞	1	大正 3 (1914) 年 10 月 28 日		535-815	3-6 面
3638 2	小樽新聞	1	大正 4 (1915) 年 6 月 1 日		535-815	1-8 面
3638 3	小樽新聞	1	大正 13 (1924) 年 1 月 26 日		535-815	1-16 面
3638 4	北世界	1	大正 3 (1914) 年 11 月 21 日		390-530	3638-5 と同じ OA882 ① 1-12 面 阿部初太郎による 白石村凶作救済事業の記事あり。
3638 5	北世界	1	大正 3 (1914) 年 11 月 21 日		390-530	3638-4 と同じ OA882 ② 1-12 面
3638 6	北世界	1	大正 4 (1915) 年 4 月 21 日		390-530	OA883 1-12 面 「余 栄 ある阿部仁太郎翁」の記事あり。
3638 7	北海道報 (夕刊)	1	大正 3 (1914) 年 10 月 27 日	北海道報社 (札幌区大通西 4 丁目 7 番地)	540-790	OA881 1-4 面
3638 8	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 3 (1914) 年 1 月 7 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	540-790	OA872 1-4 面
3638 9	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 3 (1914) 年 1 月 29 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	540-790	OA873 1-4 面
3638 10	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 3 (1914) 年 2 月 17 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	540-790	OA874 1-4 面
3638 11	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 3 (1914) 年 4 月 3 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	540-790	OA875 1-4 面
3638 12	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 3 (1914) 年 2 月 17 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	540-790	1-4 面
3638 13	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 3 (1914) 年 2 月 17 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	540-790	1-4 面
3638 14	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 3 (1914) 年 2 月 17 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	540-790	1-4 面
3638 15	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 3 (1914) 年 2 月 17 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	540-790	1-4 面
3638 16	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 3 (1914) 年 2 月 17 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	540-790	1-4 面
3638 17	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 3 (1914) 年 2 月 17 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	540-790	1-4 面
3638 18	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 13 (1924) 年 1 月 26 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	540-807	1-4 面
3638 19	北海道報 (夕刊)	1	大正 3 (1914) 年 11 月 27 日	北海道報社 (札幌区北 3 条西 1 丁目 1 番地)	545-790	OA877 1-4 面
3638 20	北海道報	1	大正 4 (1915) 年 1 月 29 日	北海道報社 (札幌区北 3 条西 1 丁目 1 番地)	545-790	OA878 1-4 面
3638 21	北海道報	1	大正 4 (1915) 年 12 月 23 日	北海道報社 (札幌区北 3 条西 1 丁目 1 番地)	545-790	OA879 1-4 面
3638 22	北海道報	1	大正 4 (1915) 年 12 月 24 日	北海道報社 (札幌区北 3 条西 1 丁目 1 番地)	545-790	OA880 1-4 面
3638 23	北海道タイムス	1	明治 42 (1909) 年 7 月 15 日	北海道タイムス社 (札幌区大通西 4 丁目)	540-805	OA855-1 1-8 面
3638 24	北海道タイムス	1	明治 42 (1909) 年 7 月 15 日	北海道タイムス社 (札幌区大通西 4 丁目)	540-805	OA855-2 1-8 面
3638 25	札幌毎日新聞 (朝刊)	1	大正 2 (1913) 年 7 月 2 日	札幌毎日新聞社 (札幌区大通西 3 丁目 6 番地)	545-790	OA871 1-4 面
3638 26	北海道タイムス	1	大正 2 (1913) 年 7 月 4 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA856 3-6 面
3638 27	北海道タイムス	1	大正 2 (1913) 年 12 月 15 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA857 1-8 面
3638 28	北海道タイムス	1	大正 3 (1914) 年 1 月 7 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA858 1-8 面
3638 29	北海道タイムス	1	大正 3 (1914) 年 2 月 11 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA859 1-8 面
3638 30	北海道タイムス	1	大正 3 (1914) 年 2 月 17 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA860 3-6 面
3638 31	北海道タイムス	1	大正 3 (1914) 年 4 月 16 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA861 3-6 面
3638 32	北海道タイムス	1	大正 3 (1914) 年 5 月 28 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA862 1-8 面
3638 33	北海道タイムス	1	大正 3 (1914) 年 10 月 28 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA863 3-6 面
3638 34	北海道タイムス	1	大正 4 (1915) 年 1 月 29 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA864 1-8 面
3638 35	北海道タイムス	1	大正 4 (1915) 年 7 月 16 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA865 1、2、7、8 豊平外四ヶ村連合組合用水 協議会の記事あり。
3638 36	北海道タイムス	1	大正 5 (1916) 年 1 月 9 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA866-1 (866-1~5 は 同 一) 1-8 面
3638 37	北海道タイムス	1	大正 5 (1916) 年 1 月 9 日	北海道タイムス合資会社 (札幌区大通西 4 丁目 1 番地)	550-805	OA866-2 1-8 面

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3638 38	北海タイムス	1	大正5(1916)年1月9日	北海タイムス合資会社(札幌区大通西4丁目1番地)	550-805	OA866-3 1~8面
3638 39	北海タイムス	1	大正5(1916)年1月9日	北海タイムス合資会社(札幌区大通西4丁目1番地)	550-805	OA866-4 1~8面
3638 40	北海タイムス	1	大正5(1916)年1月9日	北海タイムス合資会社(札幌区大通西4丁目1番地)	550-805	OA866-5 1~8面
3638 41	北海タイムス	1	大正5(1916)年2月2日	北海タイムス合資会社(札幌区大通西4丁目1番地)	550-805	OA867 3~6面
3638 42	北海タイムス	1	大正5(1916)年2月3日	北海タイムス合資会社(札幌区大通西4丁目1番地)	550-805	OA868 1、2、7、8面
3638 43	北海タイムス	1	大正13(1924)年1月26日	北海タイムス合資会社(札幌区大通西4丁目1番地)	550-805	OA869
3638 44	北海タイムス	1	大正13(1924)年1月27日	北海タイムス合資会社(札幌区大通西4丁目1番地)	550-805	OA870
3638 45	新聞切抜	10	大正3(1914)年4月16日、大正4(1915)年1月12日他		90-80、190-265	北海タイムス号外「大隈内閣親任式」など、袋入り
3639 1	穴田家資料 詳細不掲載					
3639 2	穴田家資料 詳細不掲載					
3639 3	穴田家資料 詳細不掲載					
3639 4	穴田家資料 詳細不掲載					
3639 5	穴田家資料 詳細不掲載					
3639 6	穴田家資料 詳細不掲載					
3639 7	穴田家資料 詳細不掲載					
3639 8	穴田家資料 詳細不掲載					
3639 9	穴田家資料 詳細不掲載					
3639 10	穴田家資料 詳細不掲載					
3639 11	穴田家資料 詳細不掲載					
3640 1	会員名簿	1	明治26(1893)年8月	札東農会	260-190	
3640 2	雑書綴込	1	明治27年(1894)更正	大日本北海道農会	280-200	
3640 3	役員名簿	1	不明	北海道興産会	270-190	
3640 4 1	貸金台帳	1	明治27(1894)年4月~明治37(1904)年7月	大日本北海道農会	270-190	貸付状況、返済状況、封筒に一括収納
3640 4 2	電報送達紙	1	明治45(1912)年7月12日	正親町実正(北海道興産会総裁)→北海道興産会	215-12	
3640 4 3	祝辞	1	明治43(1910)年11月20日	三好盛夫→阿部盛太郎	175-480	盛太郎兵役満期除隊昇進の祝辞
3640 5	北海道興産会記事	1	明治37(1904)年1月9日	不明	200-145	
3640 6 1	日誌	1	明治38(1905)年1月	北海道興産会	230-150	
3640 6 2	議案書	1	不明	不明	235-160	
3640 7 1	第11回農産品評会審査基帳	1	明治45(1912)年4月	北海道興産会	240-170	
3640 7 2	冊子(農産品評会関連資料)	1	明治45(1912)年4月	北海道興産会	240-170	OA172-2
3640 7 3	備忘録(郡名、県名)	1	不明	不明	80-230	
3640 8	第十一回農産品評会出品物受付帳簿	1	明治45(1912)年4月	北海道興産会	235-155	
3640 9	第十一回農産品評会出品物受付帳簿	1	明治45(1912)年4月	北海道興産会	235-156	
3674 1	修業証書(第二学年)	1	明治34(1901)年3月25日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→岩次郎養女トヨ 齊木トヨ	260-360	トヨは明治21年7月生
3674 2	修業証書(第三学年)	1	明治35(1902)年3月24日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→齊木トヨ	260-370	
3674 3	修業証書(第二学年)	1	明治38(1905)年3月24日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部光太郎	265-360	光太郎は明治29年4月生
3674 4	卒業証書	1	明治36(1903)年3月24日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→岩次郎養女 齊木トヨ	265-370	
3674 5	修業証書(第三学年)	1	明治39(1906)年3月24日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部光太郎	265-365	
3674 6	卒業証書	1	明治40(1907)年3月23日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校長小田嶋養賢→阿部光太郎	260-365	
3674 7	修業証書(第一学年)	1	明治41(1908)年3月24日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部光太郎	270-365	
3674 8	卒業証書	1	明治43(1910)年3月24日	北海道札幌区創成尋常高等小学校長岡藤崎太郎→阿部光太郎	245-330	
3674 9	卒業証書	1	大正2(1913)年3月22日	北海道札幌区西創成尋常高等小学校長小鹿達三郎→阿部光太郎	250-325	
3674 10	推薦状(本会顧問)	1	大正4(1915)年8月	豊平尋常高等小学校同窓会坪谷俊治→阿部仁太郎	275-395	
3674 11	賞状(剣道乗稽古皆勤)	1	大正10(1921)年2月28日	北海中学校長戸津高知→安部	230-310	銅牌授与

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3674 12	感謝状(豊平尋常小学校へ金十円寄付)	1	大正 14 (1925) 年 4 月 15 日	札幌市長従三位勲二等高岡直吉→札幌市豊平町 阿部仁太郎	235-320	理科器械器具薬品並びに体操器械器具費用として
3674 13	感謝状(豊平小学校へ移転費及び増築費寄付)	1	明治 25 (1892) 年 12 月 27 日	北海道庁長官従三位勲三等北垣国造→北海道石狩国札幌郡豊平村 阿部初太郎	225-310	寄付額 40 円 木杯下賜
3674 14	案内状(公立小学校連合運動会の案内)	1	明治 30 (1897) 年 5 月 28 日	札幌連合運動会 会長 林顕三→阿部仁太郎	190-275	
3674 15	感謝状(公立信濃尋常小学校へ運動場増築費寄付)	1	明治 33 (1900) 年 1 月 29 日	北海道庁長官従三位勲二等男爵園田安賢→阿部初太郎	230-310	寄付額 2 円
3674 16	感謝状(四箇村連合用水堀開鑿及修繕費寄付)	1	明治 31 (1898) 年 5 月 2 日	北海道庁長官従三位勲二等男爵安場保和→阿部初太郎	225-310	寄付額 2 円 15 銭
3674 17	感謝状(御聖影奉置所新築ニアタリ委員諸氏ノ報労紀念トシテ木杯贈進)	1	明治 33 (1901) 年 6 月 10 日	札幌郡白石外一村戸長下田実→阿部初太郎	220-285	
3674 18	感謝状(野津簡易教育所新築費金二円寄付)	1	明治 34 (1901) 年 10 月 1 日	北海道庁長官従三位勲二等男爵園田安賢→阿部初太郎	230-310	
3674 19	感謝状(野津札幌尋常小学校へ備品費寄付)	1	明治 41 (1908) 年 10 月 13 日	北海道庁長官従四位勲二等河島醇→阿部初太郎	225-310	寄付額 5 円
3674 20	感謝状(白石尋常高等小学校大谷地分教場風琴購入費金五円寄付)	1	明治 42 (1909) 年 10 月 30 日	北海道庁長官従四位勲二等河島醇→阿部初太郎	225-310	
3674 21	感謝状(上白石尋常小学校唱歌用風琴一台購入費金二円寄付)	1	明治 43 (1910) 年 3 月 14 日	北海道庁長官従四位勲二等河島醇→阿部初太郎	230-310	
3674 22	感謝状(信濃尋常小学校増築費寄付)	1	大正 3 (1914) 年 6 月 22 日	北海道庁長官従四位勲四等西久保弘道→阿部初太郎	225-310	寄付額 10 円
3674 23	給与状(賞金老円)	1	明治 37 (1904) 年 12 月 25 日	札幌郡豊平村役場→豊平村学務委員 阿部初太郎	270-195	
3674 24	締盟状(白石尋常高等小学校増築工事監督臨時委員ヲ命ス)	1	明治 43 (1910) 年 4 月 18 日	北海道庁札幌支庁→阿部初太郎	270-200	封筒アリ
3674 25	状(本学期間級長を命ず)	1	明治 42 (1909) 年 1 月 19 日	札幌区東尋常小学校→阿部武四郎	230-160	
3674 26	謝状(松樹一本寄贈)	1	明治 44 (1911) 年 12 月 12 日	私立北海中学校→阿部仁太郎	195-530	
3674 27	囑託状(札幌体育会創立委員)	1	大正 5 (1916) 年 3 月 19 日	社団法人札幌体育会→阿部初太郎	275-200	
3674 28	写(ヨーロッパ地図)	1	不明	阿部ウメ	580-770	
3674 29	囑託状(評議員)	1	大正 11 (1922) 年 7 月 1 日	札幌大化院院長助川貞二郎→阿部仁太郎	270-190	
3674 30	通知状(学務委員当選)	1	大正元 (1912) 年 12 月 23 日	札幌区長代理札幌区助役杉本長治郎→阿部仁太郎	280-200	
3674 31 1	御請書(掃者ノ際、金參拾円御補助被下難有御請)	1	明治 29 (1896) 年 1 月 6 日	豊平小学校教員 菊池武夫→阿部仁太郎、佐藤陳平	250-340	
3674 31 2	感謝状(豊平小学校へ校旗寄贈)	1	年不明 5 月 29 日	豊平小学校長渡辺章太→阿部仁太郎	182-520	
3674 31 3	書簡(在職中の礼状)	1	年不明 11 月 15 日	林顕三→阿部仁太郎	180-405	
3674 31 4	書簡(出張交代の件につき協議を依頼)	1	年不明 4 月 26 日	幹事 森長深→阿部仁太郎	180-920	
3674 31 5	書簡(孝明天皇三十年御霊祭遙拜式について)	1	年不明	孝明天皇三十年御霊祭遙拜式奉行会名誉総長正三位侯爵菊亭修季→阿部仁太郎	180-400	
3674 31 6	案内状(浜益厚田石狩三郡連合海陸品評会について)	1	明治 34 (1901) 年 6 月	会長久保誠之→阿部仁太郎	190-300	
3674 31 7	囑託状(奨学資金造成会評議員)	1	大正 12 (1923) 年 1 月 15 日	白石村長瀧美兵二郎→阿部仁太郎	245-165	封筒アリ
3674 32	豊平小学校増築工事取支決算簿	1	明治 25 (1892) 年 5 月 20 日	豊平小学校増築委員	246-169	
3674 33	届書(私立豊平村職学校教師堀発朗を更に教師担当させる件の届書)	1	明治 16 (1883) 年 5 月 16 日	地主豊平村日蓮宗経王寺住職松井寛義、世話方阿部仁太郎、他→札幌区長山崎清躬	246-171	
3674 34	念書(私立職学校に關係する事件を以後阿部仁太郎に必ず相談する)	1	明治 16 (1883) 年 5 月 16 日	日蓮宗経王寺住職松井寛義→阿部仁太郎	246-171	
3674 35	清書帖	1	不明	阿部梅子	283-387	文字手習い、絵などの清書したものをもとめた綴か
3674 36	学校講堂新築有志帳	1	明治 14 (1881) 年 7 月 吉辰	学校新築世話人阿部仁太郎、竹内久兵衛、田中万右衛門、杉田泰造、樋口清右衛門	313-212	
3674 37	厚別 田反別調	1	大正 2 (1913) 年 5、6 月	菅野測量産業事務所	554-795	封筒アリ
3674 38	記念品目録(襖紗老杖)	1	不明	札幌区教育会	364-495	
3674 39	案内状(本校第三回卒業証書授与式挙行)	1	大正 4 (1915) 年 3 月 17 日	札幌区立札幌商業補習学校校長小庵達三郎→阿部仁太郎	123-216	
3674 40	案内状(第二十九回卒業式挙行)	1	大正 4 (1915) 年 3 月 20 日	北海道札幌師範学校校長小忠雄→阿部仁太郎	150-110	封筒アリ
3674 41	案内状(二十三日午前十時卒業証書授与ノ式典挙行)	1	大正 4 (1915) 年 3 月 16 日	札幌区立女子職業学校長岩谷英太郎→阿部仁太郎	151-211	封筒アリ

文書番号		文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3674	42	案内状(二十五日午前十時第五回卒業証書授与式挙行)	1	大正4(1915)年3月17日	私立北海高等女学校長清川円誠→阿部仁太郎	153-213	
3674	43	案内状(二十日午前十時第二十八回卒業証書授与式挙行)	1	大正4(1915)年3月15日	中央創成尋常高等小学校校長山崎恒一→阿部仁太郎	160-200	封筒アリ
3674	44	案内状(二十日午前九時第二十一回卒業証書授与式挙行)	1	大正4(1915)年3月15日	札幌区豊平尋常高等小学校校長坪谷俊治→阿部仁太郎	160-105	封筒アリ
3674	45	案内状(北九条尋常高等小学校並びに札幌第一工業補習学校卒業式挙行)	2	大正4(1915)年3月16日	北九条尋常小学校校長兼札幌第一工業補習学校校長山準平→阿部仁太郎	150-217	封筒アリ 案内状はそれぞれ一通ずつ。
3674	46	案内状(二十日午前十時第三十四回卒業証書授与式挙行)	1	大正4(1915)年3月15日	山鼻尋常高等小学校校長谷藤末次郎→阿部仁太郎	147-90	封筒アリ
3674	47	案内状(二十日午前九時第二十八回卒業証書授与式挙行)	1	大正4(1915)年3月14日	西創成尋常小学校校長小鹿達三郎→阿部仁太郎	123-216	
3674	48	案内状(廿一日午前九時第八回卒業証書授与式挙行)	1	大正4(1915)年3月15日	札幌区東尋常高等小学校校長及川亀之進→阿部仁太郎	154-216	封筒アリ
3674	49	案内状(豊水尋常高等小学校並びに札幌第二工業補習学校卒業式挙行)	2	大正4(1915)年3月15日	豊水尋常高等小学校校長兼札幌第二工業補習学校校長鈴木又衛→阿部仁太郎	156-217	封筒アリ 案内状はそれぞれ一通ずつ。
3674	50	案内状(二十二日午前九時第二十六回卒業証書授与式挙行)	1	大正4(1915)年3月15日	札幌区札幌女子尋常高等小学校校長小川幸太郎→阿部仁太郎	151-106	封筒アリ
3674	51	案内状(二十日午前九時第四回卒業証書授与式挙行)	1	大正4(1915)年3月13日	東北尋常小学校校長荏司亀次郎→阿部仁太郎	156-192	封筒アリ
3674	52	案内状(十五日午前十時第拾回卒業証書授与式挙行)	1	大正4(1915)年3月10日	私立北海中学校長代理戸津高知→阿部仁太郎	157-200	封筒アリ
3674	53	証(小学初等科第二級へ編入候事)	1	明治19(1886)年10月18日	石狩国札幌郡豊平学校→北海道平民阿部初太郎	194-263	
3674	54	証(小学初等科第四級卒業候事)	1	明治16(1883)年2月24日	藻巖学校→札幌県平民阿部初太郎	194-260	
3674	55	1 修業証書(小学初等科第四級卒業候事)	1	明治17(1884)年7月28日	札幌県師範学校→札幌県平民阿部初太郎	198-273	
3674	55	2 記録北海道興産会(表紙)	1	明治38(1905)年	北海道興産会	203-142	表紙のみ
3674	56	証(尋常小学校第一年へ編入)	1	明治27(1894)年3月29日	豊平小学校→阿部トヨ	262-317	
3674	57	証(第三年修業)	1	明治23(1890)年7月30日	北海道尋常師範学校→北海道平民阿部さだ	222-280	阿部さだは十年十か月
3674	58	証(尋常小学校卒業)	1	明治25(1892)年2月29日	北海道尋常師範学校→阿部さだ	247-313	阿部さだは満十二年
3674	59	修業証書(第三学年)	1	明治35(1902)年3月24日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部うめ	260-355	阿部うめは仁太郎長孫女、明治26年2月生まれ
3674	60	修業証書(第一学年)	1	明治39(1906)年3月24日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部武四郎	264-367	武四郎は明治31年10月4日生まれ
3674	61	修業証書(第三学年)	1	明治41(1908)年3月24日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部武四郎	267-366	
3674	62	修業証書(第二学年)	1	明治40(1907)年3月23日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部武四郎	276-372	
3674	63	修業証書(第三学年)	1	明治42(1909)年3月22日	北海道札幌区東尋常小学校→阿部武四郎	245-328	
3674	64	修業証書(第四学年)	1	明治43(1910)年3月23日	北海道札幌区東尋常小学校→阿部武四郎	242-333	
3674	65	修業証書(第五学年)	1	明治45(1912)年3月23日	北海道札幌区東尋常高等小学校→阿部武四郎	255-326	裏面に「第二期種痘完了」とあり。
3674	66	二等褒状(運動会四門競走二於テ技倆抜群)	1	明治44(1911)年5月27日	北海道札幌区東尋常高等小学校→阿部瀧四郎	269-387	武四郎か?
3674	67	三等褒状(運動会徒競走二於テ技倆抜群)	1	明治44(1911)年5月27日	北海道札幌区東尋常高等小学校→尋常科第五学年阿部武四郎	268-387	
3674	68	卒業証書(尋常小学校ノ教科)	1	大正2(1913)年3月23日	北海道札幌区東尋常高等小学校長相田芳→阿部武四郎	250-322	裏面に「第二期種痘完了」とあり。
3674	69	入学願(創成尋常高等小学校)	1	明治29(1896)年4月13日	阿部豊三郎→創成尋常高等小学校長素木触雲	249-166	豊三郎の履歴書が入学願と綴じられている。
3674	70	賞状(学力三等賞)	1	明治25(1892)年12月21日	豊平小学校→尋常二年生阿部豊三郎	166-243	
3674	71	証(第二年修業)	1	明治25(1892)年12月21日	北海道石狩国札幌郡豊平小学校→阿部豊三郎	237-291	
3674	72	証(尋常小学校卒業)	1	明治27(1894)年3月29日	北海道石狩国札幌郡豊平小学校→阿部豊三郎	259-315	
3674	73	証(高等小学校第一年修業)	1	明治28(1895)年3月23日	北海道石狩国札幌郡豊平小学校→阿部豊三郎	261-315	
3674	74	卒業証書(高等小学校修業年限式簡年ノ教科)	1	明治29(1896)年4月3日	北海道石狩郡石狩尋常高等小学校長海淵友雄→阿部豊三郎	273-276	

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3674 75	修業証書(尋常小学校第一学年)	1	大正 5 (1916) 年 3 月 20 日	北海道札幌区東尋常高等小学校→阿部武三郎	255-329	武三郎は明治 41 年 9 月 29 日生まれ
3674 76	修業証書(尋常小学校第一学年)	1	明治 36 (1903) 年 3 月 29 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部京太郎	266-369	京太郎は明治 29 年 2 月生まれ
3674 77	修業証書(尋常小学校第二学年)	1	明治 37 (1904) 年 3 月 24 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部京太郎	253-351	
3674 78	修業証書(尋常小学校第三学年)	1	明治 38 (1905) 年 3 月 24 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部京太郎	268-363	
3674 79	卒業証書(尋常小学校ノ教科)	1	明治 39 (1906) 年 3 月 29 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校校長小田嶋養賢→阿部京太郎	265-366	
3674 80	修業証書(高等小学校第一学年)	1	明治 40 (1907) 年 3 月 23 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部京太郎	271-373	
3674 81	修業証書(高等小学校第二学年)	1	明治 41 (1908) 年 3 月 24 日	北海道札幌区創成高等小学校→阿部京太郎	241-329	
3674 82	修業証書(高等小学校第一学年)	1	明治 42 (1909) 年 3 月 24 日	北海道札幌区創成尋常高等小学校→阿部京太郎	245-327	
3674 83	卒業証書(通信生養成)	1	大正 2 (1913) 年 3 月 29 日	札幌通信管理局長小森七郎→阿部京太郎	262-362	
3674 84	修業証書(尋常小学校第一学年)	1	明治 31 (1898) 年 3 月 26 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→阿部盛太郎	234-304	盛太郎は仁太郎四男で明治 24 年 5 月生まれ
3674 85	一等賞(同窓会第一回運動会礼拾競走ノ際優勝)	1	明治 30 (1897) 年 7 月 25 日	豊平小学校同窓会長相田為芳→阿部盛太郎	199-276	
3674 86	三等賞(同窓会第一回運動会昇校準備競走優勝)	1	明治 30 (1897) 年 7 月 25 日	豊平小学校同窓会長相田為芳→阿部盛太郎	200-277	
3674 87	修業証書(尋常小学校第三学年)	1	明治 33 (1900) 年 3 月 24 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→仁太郎四男阿部盛太郎	232-305	
3674 88	修業証書(尋常小学校第二学年)	1	明治 32 (1899) 年 3 月 25 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→仁太郎四男阿部盛太郎	233-305	
3674 89	卒業証書	1	明治 34 (1901) 年 3 月 26 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校校長相田為芳→仁太郎四男阿部盛太郎	260-360	
3674 90	修業証書(高等小学校第一学年)	1	明治 35 (1902) 年 3 月 24 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→仁太郎四男阿部盛太郎	260-365	
3674 91	修業証書(高等小学校第二学年)	1	明治 36 (1903) 年 3 月 24 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→仁太郎四男阿部盛太郎	260-365	
3674 92	修業証書(高等小学校第三学年)	1	明治 38 (1905) 年 3 月 24 日	北海道札幌区創成高等小学校→阿部盛太郎	240-330	盛太郎は明治 24 (1891) 年 4 月 7 日生まれ
3674 93	修業証書(第一学年)	1	明治 40 (1907) 年 3 月 29 日	私立北海中学校→阿部盛太郎	260-365	
3674 94	修業証書(尋常小学校第一学年)	1	明治 45 (1912) 年 3 月 23 日	北海道札幌区東尋常高等小学校→阿部盛広	255-330	盛広は明治 38 (1905) 年 3 月 19 日生まれ
3674 95	修業証書(尋常小学校第二学年)	1	大正 2 (1913) 年 3 月 23 日	北海道札幌区東尋常高等小学校→阿部盛広	255-325	
3674 96	修業証書(尋常小学校第三学年)	1	大正 3 (1914) 年 3 月 23 日	北海道札幌区東尋常高等小学校→阿部盛広	255-325	
3674 97	修業証書(尋常小学校第四学年)	1	大正 4 (1915) 年 3 月 21 日	北海道札幌区東尋常高等小学校→阿部盛広	255-330	
3674 98	賞状(課業精勤)	1	大正 4 (1915) 年 3 月 21 日	北海道札幌区東尋常高等小学校→阿部盛広	255-330	
3674 99	賞状(学業の進歩顕著)	1	大正 5 (1916) 年 3 月 20 日	北海道札幌区東尋常高等小学校→阿部盛広	250-325	
3674 100	修業証書	1	大正 5 (1916) 年 3 月 20 日	北海道札幌区東尋常高等小学校→阿部盛広	255-330	
3674 101	任命状(級長)	1	大正 3 (1914) 年 4 月 10 日	札幌女子尋常高等小学校→阿部ハツ	190-260	
3674 102	修業証書(尋常小学校第一学年)	1	明治 44 (1911) 年 3 月 22 日	札幌女子尋常高等小学校→阿部ハツ	255-330	ハツは明治 36 (1903) 年 9 月 2 日生まれ
3674 103	任命状(副級長)	1	大正 2 (1913) 年 1 月 13 日	札幌女子尋常高等小学校→尋常科第 4 学年第 19 教室阿部ハツ	190-260	
3674 104	学校家庭通信箋	1	大正 9 年度	札幌女子尋常高等小学校→尋常科第 6 学年第 7 教室阿部ハツ	195-266	保護者氏名阿部初太郎が赤字で仁太郎に訂正されている
3674 105	賞状(操行善良)	1	大正 3 (1914) 年 3 月 21 日	北海道札幌区	250-320	
3674 106	賞状(操行善良)	1	大正 4 (1915) 年 3 月 22 日	札幌女子尋常高等小学校→尋常科第 5 学年修業生阿部ハツ	250-320	
3674 107	修業証書(尋常小学校第二学年)	1	明治 45 (1912) 年 3 月 21 日	札幌女子尋常高等小学校→阿部ハツ	255-325	
3674 108	修業証書(尋常小学校第三学年)	1	大正 2 (1913) 年 3 月 21 日	札幌女子尋常高等小学校→阿部ハツ	255-325	
3674 109	修業証書(第四学年)	1	大正 3 (1914) 年 3 月 21 日	北海道札幌区札幌女子尋常高等小学校→阿部ハツ	255-330	
3674 110	修業証書(第五学年)	1	大正 4 (1915) 年 3 月 22 日	北海道札幌区札幌女子尋常高等小学校→阿部ハツ	255-330	
3674 111	卒業証書	1	大正 5 (1916) 年 3 月 21 日	北海道札幌区札幌女子尋常高等小学校校長勲八等小川幸太郎→阿部ハツ	255-330	別紙あり
3674 112	修業証書(高等小学校第一学年)	1	明治 33 (1900) 年 3 月 24 日	北海道札幌郡豊平尋常高等小学校→齊木トヨ	232-304	

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3676 1	社員年俵金領収証	1	昭和4(1929)年3月9日～ 昭和5(1930)年11月28日	日本赤十字社北海道支部→阿部京太郎	196-94	
3676 2 1	封筒	1	大正13(1924)年11月6日	日本赤十字社北海道支部長土岐嘉平→阿部仁太郎	210-85	
3676 2 2	感謝状(多額の賛助に対し)	1	大正13(1924)年11月6日	日本赤十字社北海道支部長土岐嘉平→阿部仁太郎	191-513	
3676 3 1	封筒	1	不明	日本赤十字社北海道支部札幌委員会→阿部初太郎	230-96	
3676 3 2	任命状(正社員二列ス)	1	明治32(1899)年12月19日	日本赤十字社総裁彰仁親王→阿部初太郎	210-305	
3676 4	嘱託状(札幌委員会協賛委員ヲ嘱託ス)	1	明治33(1900)年3月10日	日本赤十字社北海道支部長男爵園田安賢→阿部初太郎	228-313	
3676 5	任命状(正社員二列ス)	1	明治37(1904)年1月31日	日本赤十字社長伯爵松方正義→阿部豊三郎	213-300	
3676 6	任命状(正社員二列ス)	1	明治37(1904)年2月29日	日本赤十字社長伯爵松方正義→阿部コト	213-300	
3676 7	感謝状(社業拡張ノ為メ尽力セラルル所少カラス)	1	明治41(1908)年4月4日	日本赤十字社北海道支部長河島醇→阿部仁太郎	218-288	
3676 8	嘱託状(札幌委員会協賛委員ヲ嘱託ス)	1	明治43(1910)年8月24日	日本赤十字社北海道支部長河島醇→阿部初太郎	220-303	
3676 9	謝状(本社事業上尽力セラルル処少カラス)	1	明治45(1912)年6月1日	日本赤十字社北海道支部→阿部初太郎	225-311	
3676 10	任命状(正社員二列ス)	1	昭和4(1929)年3月9日	日本赤十字社総裁彰仁親王社長公爵徳川家達→阿部京太郎	218-311	
3676 11 1	封筒	1	不明	札幌区役所大矢区書記→阿部仁太郎	286-115	
3676 11 2	履歴書(阿部武四郎のもの)	1	大正2(1913)年[カ]	不明	281-202	
3676 12	陸軍地方幼年学校生徒額	1	大正2(1913)年1月30日	阿部武四郎→教育總監男爵浅田信典	281-200	
3676 13	戸籍写(橋本県下都賀郡栗川村の渡邊藤太家のもの)	1	明治27(1894)年1月24日	下都賀郡栗川村長大久保源吾	242-345	
3676 14	戸籍簿証明願	8	明治23(1890)年2月22日	南津軽郡山形村大字上山形五番平民高橋山四郎長男辰ほか6名(山形村在住者)→山形村長千葉勝弥	246-165	出稼のため阿部家と契約した者たち。末尾に山形村長より戸籍証明の返書あり。
3676 15	角田家戸籍	1	明治43(1910)年9月19日	東京府荏原郡碑倉村戸籍吏小松信次郎→	282-200	
3676 16	証(本会委員ヲ嘱託ス)	1	明治33(1900)年2月	北海道尚徳会会頭男爵伊達邦成副会頭内藤耻斐→阿部仁太郎	200-276	
3676 17	嘱託状(北海道尚徳会評議員ヲ嘱託ス)	1	明治33(1900)年4月10日	会頭男爵伊達邦成→阿部仁太郎	198-271	
3676 18	推薦状(顧問ニ推薦ス)	1	大正7(1918)年5月8日	白石青年団長瀧美兵二→阿部仁太郎	246-167	
3676 19	推薦状(顧問)	1	昭和6(1931)年12月22日	白石村女子青年団厚別分団長宮崎富士→顧問阿部仁太郎	153-223	
3676 20	推薦状(賛助団員)	1	昭和6(1931)年12月22日	白石村女子青年団厚別分団長宮崎富士→賛助団員阿部ヨシエ	156-232	3676-18、19、20とクリップどめされていた。
3676 21	任命状(通常会員に列す)	1	明治37(1904)年3月28日	愛国婦人会総裁彰仁親王妃智恵子愛国婦人会会長公爵夫人岩倉久子→阿部コト	218-300	
3676 22	証(目録之通り賞与ス)	1	明治37(1904)年9月23日	札幌婦人協会→阿部ウメ	235-314	
3676 23	嘱託状(評議員)	1	大正12(1923)年6月1日	立憲政友会北海道支部→阿部仁太郎	231-312	
3676 24	嘱託状(評議員)	1	大正10(1921)年7月1日	立憲政友会北海道支部→阿部仁太郎	263-192	
3676 25 1	封筒	1	不明	日本海員救済会北海道支部長土岐嘉平→石狩厚別三等郵便局 阿部仁太郎	218-84	
3676 25 2	嘱託状(石狩支庁部協賛委員ヲ嘱託ス)	1	大正13(1924)年2月15日	日本海員救済会北海道支部長土岐嘉平→阿部仁太郎	211-302	
3676 26	任命状(特別会員二列ス)	1	大正15(1926)年6月13日	日本海員救済会総裁藤基王理事長塚原周造→阿部仁太郎	270-345	
3676 27	推薦状(特別会員)	1	明治36(1903)年5月20日	豊平倶楽部→阿部仁太郎	260-360	
3676 28	推薦状(本組合長)	1	大正4(1915)年7月15日	札幌豊平々岸白石上白石連合用水組合→阿部仁太郎	271-390	
3676 29	推薦状(特別会員)	1	大正14(1925)年12月1日	道路改良会北海道支部長中川健蔵→阿部仁太郎	226-335	
3676 30 1	包紙(銀盃一組贈呈)	1	大正2(1913)年7月1日	豊平白石上白石岸連合用水組合→工事監督員阿部初太郎	323-129	
3676 30 2	包紙(銀盃一組)	1	不明	不明	228-70	
3676 31	案内状(天長節ニ付立食ヲ呈シ度、豊平館へ御来車有之度)	1	明治23(1890)年11月1日	永山武四郎→阿部仁太郎	200-128	
3676 32	献納品之義額(上々白米)	1	明治27(1894)年3月7日	阿部仁太郎→北海道庁長官北垣国道	278-200	仁太郎は豊平村4番地平民
3676 33	転居御届	1	明治28(1895)年3月13日	札幌豊平村十六番地消防夫靱原喜十郎→豊平消防組頭阿部仁太郎	241-164	
3676 34	新米献納之義ニ付御願	1	明治25(1892)年11月4日	(阿部仁太郎) →宮内大臣子爵土方久元	275-188	
3676 35	故郷亭侯爵園下追悼會出席簿	1	明治38(1905)年11月25日	不明	326-119	

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3676 36	当選通知書(常議員)	1	大正 6 (1917) 年 4 月 10 日	札幌区連合衛生組合→札幌区第十八衛生組合組長阿部仁太郎	270-198	
3676 37	囑託状(本会幹事ニ推薦)	1	大正 7 (1918) 年 6 月 19 日	札幌煙火協会会長阿部宇之八、副会長今井武七→阿部仁太郎	275-200	
3676 38 1	封筒	1	明治 44 (1911) 年 12 月 28 日	東京伏見宮附家令御牧甚賢→阿部仁太郎	225-88	中身なし
3676 38 2	封筒(締盟状)	1	不明	不明	228-94	「阿部京太郎」と表面に朱書き、中身なし
3676 38 3	封筒	1	明治 4 □年□月 20 日	賀陽宮附宮内事務官梶口→阿部仁太郎	200-146	中身なし、消印部分破損
3676 38 4	金牌	1	不明	不明	138-80	
3677 1	感謝状(板戸一枚寄付)	1	明治 37 (1904) 年 8 月 28 日	北海道庁長官従三位勲二等男爵園田安賢→北海道石狩国札幌郡豊平村阿部豊三郎	226-307	白石村元戸長役場増築用トシテ寄付
3677 2	感謝状(白石村上白石村里道修繕費トシテ十門寄付、木杯一箇下賜)	1	明治 34 (1901) 年 6 月 8 日	北海道庁長官従三位勲二等男爵園田安賢→北海道石狩国札幌郡豊平村阿部初太郎	226-307	白石村・上白石村里道修繕費トシテ寄付
3677 3	感謝状(南館区火災ノ際十門賑血、木杯一箇下賜)	1	明治 42 (1909) 年 12 月 1 日	北海道庁長官正四位勲二等河島醇→北海道札幌郡豊平町阿部仁太郎	226-307	
3677 4	感謝状(豊平町外一村組合役場費トシテ四門寄付)	1	明治 43 (1910) 年 7 月 20 日	北海道庁長官正四位勲二等河島醇→北海道札幌郡白石町阿部仁太郎	230-308	
3677 5	当選状	1	明治 43 (1910) 年 4 月 25 日	札幌区役所→阿部仁太郎	275-195	札幌区第 18 衛生組合長当選
3677 6	当選状	1	明治 45 (1912) 年 4 月 15 日	札幌区役所→阿部仁太郎	271-200	札幌区第 18 衛生組合長当選
3677 7	当選状	1	大正 4 (1915) 年 4 月 5 日	札幌区役所→阿部仁太郎	273-195	札幌区第 18 衛生組合長当選
3677 8	当選状	1	大正 4 (1915) 年 7 月 5 日	札幌区役所→阿部仁太郎	270-196	札幌区第 18 衛生組合長当選
3677 9	当選状	1	大正 6 (1917) 年 4 月 5 日	札幌区役所→阿部仁太郎	277-197	札幌区第 18 衛生組合長当選
3677 10	感謝状(拾五円寄付)	1	明治 37 (1904) 年 10 月 20 日	豊平奉公義会→阿部仁太郎	230-312	出征軍送行費へ寄付
3677 11	感謝状(壹円寄付)	1	明治 37 (1904) 年 12 月 1 日	豊平奉公義会→阿部仁太郎	230-310	補充兵出征ノ際寄付
3677 12 1	囑託状(会長囑託)	1	明治 37 (1904) 年 4 月 12 日	豊平奉公義会→阿部仁太郎	245-344	
3677 2	封筒	1	不明	豊平村長三島源太郎→元豊平奉公義会長阿部仁太郎	290-115	
3677 13	囑託状(本会委員囑託)	1	大正 2 (1913) 年 12 月 25 日	北海道内作救済会長正四位勲四等堀内秀太郎→阿部仁太郎	257-350	
3677 14	当選告知書(本村会議員定期選挙ニ当選)	1	明治 35 (1902) 年 6 月 1 日	北海道札幌郡豊平村長舟橋八五郎→当選者阿部仁太郎	240-320	
3677 15	当選告知書(本村会議員定期選挙)	1	明治 41 (1909) 年 6 月 1 日	白石村長小野総次郎→阿部初太郎	270-195	
3677 16	当選告知書(臨時検査立会人)	1	明治 41 (1909) 年 6 月 5 日	白石村会議長小野総次郎→白石村会議員阿部初太郎	270-195	
3677 17	当選告知書(豊平村白石村組合議員選挙)	1	明治 41 (1909) 年 6 月 5 日	白石村会議長小野総次郎→白石村会議員阿部初太郎	266-195	
3677 18	当選告知書(本村会議員定期選挙)	1	明治 43 (1910) 年 6 月 1 日	白石村長小野総次郎→阿部初太郎	260-195	
3677 19	当選告知書(白石村会議員定期選挙)	1	明治 45 (1912) 年 6 月 1 日	白石村長中島繁次郎→阿部初太郎	235-160	
3677 20	当選告知書(出納臨時検査立会人)	1	明治 45 (1912) 年 6 月 1 日	白石村会議長中島繁次郎→白石村会議員阿部初太郎	246-167	
3677 21	選任状(北海道会議員選挙投票立会人ニ選任)	1	大正 2 (1913) 年 8 月 7 日	白石村長中島繁次郎→阿部初太郎	236-157	
3677 22 1	当選告知書(札幌区外五郡産牛組合議員)	1	大正 4 (1915) 年 10 月 12 日	白石村区長下田実→阿部仁太郎	226-154	
3677 22 2	当選告知書(札幌区外五郡産馬組合議員)	1	大正 4 (1915) 年 10 月 12 日	白石村区長下田実→阿部仁太郎	226-154	
3677 23	綴り(開票立会人選任関係書類)	1	大正 6 (1917) 年 4 月 11 日	北海道庁長官依孫一→阿部仁太郎	277-198	書類 3 点を 1 綴りにしている。
3677 24	当選告知書(札幌郡白石村大字白石厚別連合火災予防組合長ニ当選)	1	大正 7 (1918) 年 7 月 18 日	札幌警察署長警視山内鉄藏→阿部仁太郎	260-174	
3677 25	当選告知書(臨時水道調査委員)	1	大正 6 (1917) 年 12 月 7 日	札幌区長阿部宇之八→阿部仁太郎	272-195	
3677 26	庶第七二一号(衆議院議員選挙立会人注意事項)	1	大正 9 (1920) 年 5 月 4 日	札幌支庁長→阿部仁太郎	230-60	
3677 27	庶第七〇一号(衆議院議員投票立会人、無差滞投票所ニ出頭可有之)	1	大正 9 (1920) 年 5 月 1 日	札幌支庁長増田彰→阿部	240-60	
3677 28	庶第九八〇号(衆議院議員投票立会人選任ノ件)	1	大正 9 (1920) 年 7 月 28 日	白石村長→阿部仁太郎	240-320	注意事項通知
3677 29	当選告知書(副会長)	1	大正 11 (1922) 年 11 月 4 日	札幌市豊平白石町自治協会→阿部仁太郎	195-257	
3677 30	地価調査委員当選通知書	1	大正 11 (1922) 年 5 月 16 日	札幌税務署長司税官青藤次郎八→札幌郡白石村大字白石村厚別阿部仁太郎	242-165	

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3677 31	地価調査委員当選通知書	1	昭和3(1928)年5月8日	札幌税務署長司税官新敏雄→札幌郡白石村大字白石村字旭町432阿部仁太郎	240-165	
3677 32	囑託状(第四分区世話係)	1	明治44(1911)年4月24日	札幌区第40火災予防組合→阿部仁太郎	270-193	
3677 33	囑託状(農商務統計調査員)	1	大正2(1913)年1月18日	札幌区役所→阿部仁太郎	273-193	
3677 34	囑託状(白石村水利権調査臨時委員)	1	大正4(1915)年11月26日	北海道庁札幌支庁→阿部仁太郎	278-210	
3677 35	推薦状(顧問)	1	大正5(1916)年4月10日	白石青年団長下田実→阿部仁太郎	265-190	
3677 36	委嘱状(本団評議員)	1	大正5(1916)年8月5日	札幌区青年団→阿部仁太郎	193-262	
3677 37	委嘱状(豊平分団相談役)	1	大正5(1916)年10月11日	札幌区青年団→阿部仁太郎	196-264	
3677 38	任命状(白石村厚別村火防連組合長)	1	大正6(1917)年8月9日	白石村役場→阿部仁太郎	265-194	
3677 39	任命状(戦後経営事業実行会長)	1	大正6(1917)年9月7日	白石村長下田実→阿部仁太郎	266-192	
3677 40	推薦状(本団顧問)	1	大正11(1922)年5月15日	白石青年団長渥美兵二郎→阿部仁太郎	197-273	
3677 41	推薦状(札幌生活改善会幹事) 札幌生活改善会役員表	2	大正11(1922)年12月25日	札幌生活改善会→阿部仁太郎	275-197 242-331	
3677 42	囑託状(本会相談役)	1	大正13(1924)年11月3日	札幌市豊平白石町自治協会→阿部仁太郎	276-195	封筒アリ
3677 43	囑託状(本会顧問)	1	明治38(1905)年1月29日	豊平村婦人会→阿部こと子	250-310	
3677 44	庶第九〇五号告知書(村会議員当選)	1	昭和7(1932)年8月31日	札幌郡白石村長臨時代理者荻場今朝雄→阿部京太郎	281-403	OA67-3
3677 45	豊第七四九八号 御沙汰書二箇スル件	1	明治39(1906)年11月28日	札幌郡豊平村長□嶋源太郎→元豊平奉公義会長阿部仁太郎	235-160	村長名はかすれており判読不能
3677 46	戸第七八号(別紙写之通御認可)	1	明治17(1884)年1月14日	白石外四ヶ村戸長役場→豊平村用係伊藤大助、同村々総代阿部丑太郎、同阿部与之助	244-174	3677-46、47は釘にてまともられていた
3677 47	通知書(豊平村拾四番地二戸長役場事務取扱候)	1	明治17(1884)年7月7日	豊平外四ヶ村戸長役場→豊平村総代阿部与之助、阿部丑太郎	243-161	3677-46、47は釘にてまともられていた
3677 48	案内状(会合の案内)	1	明治37(1904)年7月19日	豊平村俱樂部→阿部仁太郎	199-522	
3677 49	依頼状(産業調査員)	1	大正2(1913)年1月18日	札幌区役所→阿部仁太郎	244-335	封筒アリ
3677 50	所有地寄付願	1	明治33(1900)年	豊平村阿部仁太郎→北海道庁長官男爵岡田安賢	241-327	
3677 51	庶第七四〇号 衆議院議員投票立会人選任ノ件	1	大正9(1920)年5月3日	白石村長渥美兵二郎→各投票立会人	244-334	
3677 52	目録(白菊花巻対寄贈)	1	不明	白石村字横町用水組合	380-518	
3677 53	感謝状(御大葬送拜式挙行ノ際一般区民ノ心得方其他普及ニ関シ種々御配慮、深謝)	1	大正3(1914)年5月27日	札幌区長阿部宇之八→第1祭典区代表部員阿部仁太郎	280-200	
3677 54	豊平小学校同窓会規則	1	不明	豊平小学校同窓会	245-165	
3677 55 1	包紙	1	不明	北海道札幌郡白石村役場→阿部仁太郎	320-120	
3677 55 2	領収書(所得税三十五年後期分)	1	明治35(1902)年3月	札幌郡豊平村収入役佐藤珍平→阿部仁太郎	170-125	
3677 55 3	領収証(所得税)	1	大正元(1912)年	白石村収入役事務兼掌白石村書記佐藤有俊→阿部初太郎	180-180	
3677 55 4	領収書(地租)	1	明治45(1912)年	札幌区収入役佐々木忠太郎→阿部初太郎	155-115	3枚
3677 55 5	領収証(所得税付加税・地方税・村税など)	1	明治44(1911)年	白石村書記佐藤有俊→阿部初太郎	170-180	32枚
3677 55 6	領収書(地租・所得税・租税)	1	明治44(1911)年	札幌区収入役佐々木忠太郎→阿部初太郎	160-170	9枚
3677 55 7	領収書(地租・町税・所得税など)	1	明治44(1911)年	札幌郡豊平町収入役上原喜六→阿部初太郎代増山福太郎	180-160	36枚
3677 55 8	領収書(地方税・区税・所得税など)	1	明治43(1910)年	札幌区収入役佐々木忠太郎→阿部仁太郎	200-145	64枚
3677 55 9	領収証書(村税)	1	明治37(1904)年	札幌郡豊平町収入役上原喜六→阿部仁太郎	200-140	72枚
3677 56	任命書(国勢調査員)	1	大正9(1920)年7月20日	内閣→阿部仁太郎	230-310	
3677 57	任命書(失業統計調査員)	1	大正14(1925)年8月1日	内閣→阿部仁太郎	225-310	
3677 58	任命書(国勢調査員)	1	大正14(1925)年8月1日	内閣→阿部仁太郎	225-310	
3677 59	依頼状(土地賃貸価格調査囑託員)	1	大正15(1926)年12月1日	札幌税務監督局長鈴木新之助→阿部仁太郎	230-310	
3677 60	感謝状(白石村役場備品寄付、木杯茗筒賜フ)	1	大正8(1919)年4月17日	北海道庁長官正四位勲二等依孫一→札幌区白石町阿部仁太郎	230-310	消防用唧筒一台寄付
3677 61	通知書(貴下を特別会員ニ推薦致候)	1	大正14(1925)年12月1日	道路改良会北海道支部長中川健蔵→阿部仁太郎	225-335	
3677 62 1	依頼状(十五日豊平村へ御來会被下度)	1	明治27(1894)年4月	協賛会北海道支部長北垣国道→阿部仁太郎	200-320	桓武天皇平安遷都千百年記念祭計画説明のため
3677 62 2	寄付品ノ事 会員寄付金及待遇ノ事	1	(明治27(1894)年4月)	(北垣国道→阿部仁太郎)	190-260	北海道全嶋模型及平安宮敷石寄付

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3677 63	支給通知 (明治参拾七年度手当トシテ参門五拾銭給与)	1	明治 38 (1905) 年 3 月 17 日	北海道庁札幌支庁→農商務統計調査委員阿部仁太郎	280-200	
3677 64	任命書 (札幌郡豊平村是調査臨時委員ヲ命ス)	1	明治 37 (1904) 年 4 月 9 日	北海道庁札幌支庁→阿部仁太郎	280-200	
3677 65	通知書 (藍綬・緑綬褒章・赤十字佩有功章者ハ御台臨ノ節道庁構内ニ於テ奉拝)	1	明治 44 (1911) 年 8 月 24 日	札幌区役所→阿部仁太郎	275-200	
3677 66 1	通知書 (当稅務署所轄内地価調査委員当選)	1	大正 7 (1918) 年 5 月 10 日	札幌稅務署長→阿部仁太郎	145-90	
3677 66 2	感謝状 (院生教養費として金五円御寄贈)	1	大正 6 (1917) 年 9 月 22 日	庁立感化院少年助成会長小池九一→阿部仁太郎	280-200	
3677 66 3	通知書 (衆議院議員選舉法五十三條ニ依リ選舉立会人ニ選任)	1	大正 9 (1920) 年 5 月 1 日	北海道庁長官笠井信一→札幌郡白石村阿部仁太郎	275-200	
3677 67 1	封筒 (当選状在中)	1	不明	札幌稅務署長→阿部仁太郎	220-95	
3677 67 2	地価調査委員当選通知書	1	大正 13 (1924) 年 5 月 14 日	札幌稅務署長司稅官斎藤次郎八→札幌市白石町阿部仁太郎	240-165	
3677 68	通知書 (白石村投票区投票立会人ニ選任ス)	1	大正 9 (1920) 年 4 月 30 日	札幌支庁長北海道庁支庁長増田彰→札幌郡白石村阿部仁太郎	280-185	
3677 69	通知書 (第六区札幌支庁管内選舉立会人ニ選任)	1	大正 9 (1920) 年 5 月 1 日	内務部長尾崎勇次郎→阿部仁太郎	275-395	封筒アリ
3677 70	通知書 (地価調査委員互選方法)	1	大正 9 (1920) 年 5 月 1 日	札幌稅務署長副司稅官清水至→地価調査委員候補者阿部仁太郎	240-165	
3677 71	通知書 (地価調査委員互選投票立会人ニ選定)	1	大正 9 (1920) 年 5 月 3 日	札幌稅務署長→阿部仁太郎	240-165	
3677 72	地価調査委員当選通知書	1	大正 15 (1926) 年 5 月 7 日	札幌稅務署長司稅官源田松三→阿部仁太郎	240-165	
3677 73	演總第一七九号 御紋葉御下賜ノ件	1	昭和 11 (1936) 年 10 月 7 日	北海道庁長官池田清→阿部仁太郎	275-195	貴殿不参ニ付別便ヲ以テ送付
3677 74	書簡 (北海道興産会創立十年記念式招待への返答)	1	明治 34 (1901) 年 5 月 11 日	北海道庁長官男爵園田安賢事務官大塚貢→北海道興産会長阿部仁太郎	200-840	
3677 75	書簡 (博覧会協力の礼として鉄瓶一箇贈呈)	2	大正 7 (1918) 年 11 月 2 日	開道五十年記念北海道博覧会札幌区協賛会会長阿部宇之八→阿部仁太郎	197-527	
3677 76	依頼状 (ラミー苗御渡被下度)	1	年不明 10 月 7 日	是長 [カ] 技師→阿部仁太郎	245-330	
3677 77 1	官秘第一六三〇号 (宇都宮にて催される陸軍特別大演習施行後の宴会開催通達、注意事項、地図)	3	明治 42 (1909) 年 11 月 5 日	北海道庁長官河島醇→阿部仁太郎	243-162	
3677 77 2	官秘第一六三〇号 (宇都宮市ニ陸軍特別大演習施行後催サル御宴会御招待、記念御下賜ニ付送付)	1	明治 42 (1909) 年 11 月 16 日	北海道庁長官官房→阿部仁太郎	230-315	
3677 78	解任状 (灌漑溝基本調査水位観測囑託ヲ解ケク)	1	昭和 6 (1931) 年 8 月 31 日	北海道庁土木部→阿部仁太郎	273-200	
3677 79 1 1	辞令 (農業調査員ヲ命ス)	1	昭和 4 (1929) 年 7 月 1 日	内閣→阿部仁太郎	228-310	
3677 79 1 2	コイン (農業調査)	1	不明	不明	直径 27	
3677 79 2	貳拾五錢切手	1	不明	不明	25-20	
3677 80	北海道庁公文漁業新則	1	明治 31 (1898) 年	不明	130-173	明治 30 年北海道庁令第 67 号「北海道漁業取締規則」、北海道庁告示第 250~251 号、北海道庁令第 68 号「北海道鮭鱒保護規則」などの通牒類の切り抜き、裏面に「阿部仁太郎用」とあり
3678 1	墓石拓本「嗚呼忠臣楠子之墓」	1	不明	不明	1000-310	
3678 2	拓本「増□ □善」	2	不明	不明	400-300 400-300	
3678 3	拓本 (楠木正成 [カ])	1	不明	不明	1210-650	「楠公諱正成者忠勇節烈国士無双…」
3678 4	阿部仁太郎之碑拓本	1	不明	不明	865-760	碑文の内容、建立時期については「さっぽろ文庫 45 札幌の碑」152 頁参照
3678 5	褒状 (三等賞)	1	昭和 2 (1927) 年 10 月 5 日	北海道庁長官澤田牛磨→白石村阿部太郎	365-520	札幌園芸共進会 甘藍
3678 6	表彰状	1	大正 14 (1925) 年 10 月 5 日	北海道神職会総裁中川健藏→札幌市豊平町阿部仁太郎	400-540	札幌市豊平町村社豊平神社に宅地 200 坪寄進による
3678 7	表彰状	1	大正 13 (1924) 年 2 月 11 日	北海道農会長南鷹次郎→阿部仁太郎	375-520	農会の職務勲績による
3678 8	感謝状	1	大正 10 (1921) 年 12 月 31 日	豊平外四ヶ村連合用水連合→組合長阿部仁太郎	323-390	水田造成と生産増加に対して
3678 9	表彰状	1	大正 9 (1920) 年 9 月 11 日	札幌郡白石村長渥美兵二郎→故阿部仁太郎	390-545	白石村厚別原野の開発功績に対して

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3678 10	褒状	1	明治 39 (1906) 年 9 月 26 日	北海道物産共進会会頭園田安賢→石狩国札幌郡豊平村生田安太郎	390-535	共進会出品牝牛1頭に対して
3678 11	日本帝國明治三十七、八年従軍記章之証	1	明治 39 (1906) 年 4 月 1 日	賞勲局總裁大給恒→陸軍歩兵上等兵阿部豊三郎	365-460	
3678 12	角田勲記	1	明治 28 (1895) 年 12 月 27 日	賞勲局總裁大給恒→陸軍歩兵一等卒角田盛人	460-610	角田盛人に勲八等叙位、白色桐葉章授与
3678 13	感謝状	1	昭和 12 (1937) 年 5 月 13 日	北海道神職会石狩地方会長能木善七→阿部仁太郎	330-450	札幌市村社豊平神社へ金200円寄進による
3678 14	感謝状	1	昭和 10 (1935) 年 3 月 20 日	白石村農会長杉本専治郎→阿部仁太郎	325-345	白石村農会への寄付による
3678 15	追彰辞	1	昭和 8 (1933) 年 4 月 18 日	石狩連合更生会会長中井正猪→故阿部仁太郎	390-540	石狩連合更生会への功績による
3678 16	感謝状	1	昭和 6 (1931) 年 7 月 18 日	札幌外四郡農会長守屋交清→札幌郡白石村阿部仁太郎	390-540	白石村農会への功績に対して
3678 17	感謝状	1	昭和 4 (1929) 年 3 月 27 日	札幌郡白石村農会長杉本専治郎→阿部仁太郎	390-540	白石村農会への功績に対して
3678 18	(名誉) 賞状	1	大正 10 (1921) 年 10 月 10 日	大日本農会總裁守正王→従七位勲八等阿部仁太郎	400-550	農事改良の奨励及び実行成績に対して
3678 19	感謝状(開町五十年記念式ニ際シ功績追彰シ銀杯一箇ヲ贈)	1	大正 9 (1920) 年 12 月 15 日	札幌郡豊平町長松崎亀二→故阿部仁太郎	370-530	豊平・白石村への功績に対して
3678 20	表彰状(銀壺一個ヲ贈呈)	1	大正 9 (1920) 年 9 月 11 日	札幌郡白石村長渥美兵二郎	380-545	白石村厚別の開発と郵便局長、農会長、村会議員等の公職、農事改良等への功績に対して
3678 21	謝状(本会参考品出品、斯業上裨益)	1	不明	不明	375-520	「北海道興産会」の印字あり
3678 22	感謝状(農会総会ニ於テ慰勞トシテ銀壺贈呈)	1	大正 5 (1916) 年 1 月 10 日	安齋直睦→阿部仁太郎 [カ]	395-550	安齋の履歴・功績についての記載あり。
3678 23	感謝状(校旗一旒寄贈)	1	大正 3 (1914) 年 1 月 1 日	札幌区公立豊平尋常高等小学校長渡辺章六→阿部仁太郎	320-458	校旗一旒寄贈に対して
3678 24	感謝状(組合ノ創立ヲ企テ明治 40 年設立ス)	1	大正 2 (1913) 年 4 月 20 日	札幌区外五郡産牛馬組合組合長浅羽靖一→阿部初太郎	400-545	産牛馬組合設立の功勞に対して
3678 25	答辞	1	明治 44 (1911) 年 7 月 12 日	北海道興産会有切会員安齋直睦	390-520	記念葬幕式・総集会における總裁閣下ノ告辞に対して
3678 26	祝詞	1	明治 44 (1911) 年 7 月 12 日	北海道興産会有切会員佐藤珍平	390-520	
3678 27	感謝状(北海道三等郵便局長第五部協議会幹事トシテ其功勞少ナカラズ)	1	明治 43 (1910) 年 8 月 18 日	北海道三等郵便局長第五部協議会長札幌内炭山郵便局長野村徳太郎→元厚別郵便局長阿部初太郎	360-490	「北海道三等郵便局長第五部協議会幹事トシテ…其功勞少ナカラズ」
3678 28	告辞	1	明治 43 (1910) 年 7 月 12 日	北海道興産会總裁正親町実正	385-510	
3678 29	感謝状(金杯一個贈呈)	1	明治 41 (1908) 年 11 月 3 日	興農造資組合員一同→興農造資組合長阿部仁太郎	385-510	興農造資組合の解散に伴いそれまでの功績に対して
3678 30	感謝状(明治甲辰乙巳ノ大戦役ニ當リ軍隊ノ送迎及出戦者家族ノ慰藉慈恤)	1	明治 39 (1906) 年 11 月 3 日	札幌郡豊平村大字豊平有志者一同→元豊平村奉公義会長阿部仁太郎	390-590	「明治甲辰乙巳ノ大戦役(日露戦争)ニ當リ…軍隊ノ送迎及出戦者家族ノ慰藉慈恤」
3678 31	感謝状	1	明治 39 (1906) 年 1 月 20 日	豊平平岸上白石白石水田耕作者一同→豊平外三村連合用水組合頭阿部仁太郎	325-430	豊平村外三村連合用水組合への功績に対して
3678 32	告辞	1	明治 38 (1905) 年 7 月 12 日	北海道興産会總裁菊亭修季	390-525	第十五回総集会にて
3678 33	告辞	1	明治 38 (1905) 年 7 月 1 日	北海道興産会總裁菊亭修季	390-525	北海道興産会支会の副業として設置した機械部の練習所発会式にて
3678 34	祝詞	1	明治 38 (1905) 年 7 月 1 日	北海道興産会幹事池田五郎	385-520	北海道興産会支会の副業として設置した機械部の練習所発会式にて
3678 35	祝詞	1	明治 38 (1905) 年 7 月 1 日	札幌郡豊平村遠谷末次郎	390-520	電信局局舎竣工の際して祝詞
3678 36	祝詞	1	明治 38 (1905) 年 7 月 1 日	遠谷末次郎	385-520	豊平神社での日露戦争祝賀会での祝詞
3678 37	告辞	1	明治 38 (1905) 年 2 月 15 日	北海道興産会總裁菊亭修季	390-520	
3678 38	祝詞	1	明治 37 (1904) 年 11 月 3 日	不明	390-535	天長節および組合総集会
3678 39	感謝状	1	大正 8 (1919) 年 6 月 26 日	北海道三等局長第三部会長夕張郵便局長田代末吉→元幹事厚別郵便局長阿部仁太郎	360-490	第三部会幹事の会務尽力に対して
3678 40	告辞	1	明治 34 (1901) 年 6 月 30 日	北海道興産会總裁菊亭修季	385-520	北海道興産会総会において
3678 41	告辞	1	明治 33 (1900) 年 7 月 29 日	北海道興産会總裁菊亭修季	390-535	北海道興産会厚別支会事務所開場式において
3678 42	祝詞	1	明治 33 (1900) 年 7 月 29 日	北海道興産会理事木村平満呂	390-535	北海道興産会厚別支会事務所開場式において
3678 43	感謝状(阿部仁太郎君善行表碑竣工式ヲ挙ク)	1	明治 32 (1899) 年 10 月 20 日	建碑発起人総代	430-435	包紙あり。OA183
3678 44	告諭	1	明治 32 (1899) 年 7 月 12 日	大日本農会總裁菊亭修季	385-520	北海道農会大会において
3678 45	祝詞	1	明治 32 (1899) 年 5 月 7 日	大日本北海道農会副会長佐藤珍平	390-500	北海道農会発会式において
3678 46	答辞(砂川支会開設)	1	明治 32 (1899) 年 5 月 7 日	大日本北海道農会砂川支会長浅田三津次	390-502	

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3678 47	告辞	1	明治 32 (1899) 年 5 月 7 日	大日本北海道農会総裁正三位侯爵菊亭修季	390-502	
3678 48	答辞 (兵役による入管者代表)	1	明治 30 (1897) 年 11 月 25 日	入管兵総代門馬武明	325-460	
3678 49	送辞 (兵役による入管者へ)	1	明治 30 (1897) 年 11 月 25 日	豊平村外二ヶ村戸長舟橋八五郎	390-520	
3678 50	感謝状	1	明治 27 (1894) 年 12 月 27 日	豊平々岸上白石石四村有志総代従三位侯爵菊亭修季→豊平外三村連合用水開墾工事委員長阿部仁太郎	385-560	真駒内、精進両川を水源とした溝渠開墾による用水灌漑に対して
3678 51	弔詞	1	明治 35 (1902) 年 1 月 6 日	北海道興産会長阿部仁太郎	364-498	仙台藩士族出身緑川某へ
3678 52	和歌	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	水野成□	390-523	
3678 53	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	札幌区庁阿部宇之八	325-465 198-750	札幌区第十八衛生組組長阿部仁太郎逝去に際して、包み紙と弔詞
3678 54	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	日本弘道会札幌支会会長山田幸太郎	390-520 180-477	日本弘道会員阿部仁太郎逝去に際して、包み紙と弔詞
3678 55	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	日本赤十字社北海道支部長従四位勲三等西久保弘道	390-525 252-337	日本赤十字社終身社員阿部仁太郎に対して
3678 56	弔辞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	札幌区庁阿部宇之八	390-520 190-1640	札幌区学務委員阿部仁太郎に対して
3678 57	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	正八位勲八等和田郁次郎	497-360 327-808	仁太郎の履歴・功績についての記載あり。包紙あり。
3678 58	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	白石村公共団体代表者勲八等功四級樋口重蔵	522-385 392-523	
3678 59	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	月寒村機械場村民総代大内善治	525-390 393-524	
3678 60	弔辞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	北海道興産会後志支会長廣澤僧太郎	525-390 395-525	北海道興産会長阿部仁太郎に対して
3678 61	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	札幌村外六村産乳組合副会長勲六等木村利健	525-392 394-525	
3678 62	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	豊平町外三ヶ村連合用水組合代表者安斎真陸	525-392 394-670	豊平町外三ヶ村連合用水組合長阿部仁太郎に対して
3678 63	弔辞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	北海道興産会総裁伯爵正親町実正	525-390 392-1045	北海道興産会長阿部仁太郎に対して
3678 64	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	札幌区豊平高等尋常小学校長坪谷俊治	520-390 395-522	札幌区学務委員阿部仁太郎に対して
3678 65	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	北海道興産会厚別支会長瀧野半兵衛	523-390 393-525	
3678 66	弔辞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	津軽郷友代表千葉忠吉	520-390 394-523	本道在住津軽郷友ノ先輩阿部仁太郎に対して
3678 67	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	札幌区第拾八衛生組副組長高原治平	525-392 395-525	札幌区第拾八衛生組組長阿部仁太郎に対して
3678 68	弔詞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	札幌区第四拾火災予防組組長神田伊三郎	525-390 395-525	札幌区第四十火災予防組ノ柱石ト仰ケル阿部仁太郎に対して
3678 69	弔辞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	衆議院議員勲四等中西六三郎	361-493 361-494	札幌区ノ元老阿部仁太郎に対して
3678 70	弔辞	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	第四部三等郵便局長会長高橋十三郎	525-390 393-524	
3678 71	弔辞	1	明治 45 (1912) 年 4 月 25 日	石狩郡石狩町大字花畔村地方員総代有功賞佩用者小島甚平、北海道興産会丘珠支会長今野得宝	390-520	第 11 回物産品評会用紙
3678 72	弔詞	1	明治 38 (1905) 年 3 月 17 日	陸軍歩兵中尉梯昇	390-523	故陸軍歩兵少尉角田盛人に対して
3678 73	弔詞	1	明治 38 (1905) 年 3 月 17 日	愛国婦人会長公卿夫人岩倉久子	215-83 391-522	故陸軍歩兵少尉角田盛人に対して
3678 74	弔詞	1	明治 38 (1905) 年 1 月 13 日	日本赤十字社長正三位勲一等伯爵松方正義	215-304	正社員勲七等角田盛人に対して
3679 1	囑託状 (官幣大社札幌神社造営会委員)	1	明治 42 (1909) 年 9 月 8 日	官幣大社札幌神社造営会→阿部初太郎	227-309	
3679 2	囑託状 (明治神宮奉賛会北海道支部札幌区委員部委員)	1	大正 5 (1916) 年 8 月 10 日	明治神宮奉賛会会長正二位勲一等公爵徳川家達→阿部仁太郎	271-343	
3679 3	囑託状 (官幣大社札幌神社第八区副代表委員)	1	大正 6 (1917) 年 6 月 1 日	官幣大社札幌神社第八区祭典事務所→阿部仁太郎	249-319	
3679 4	囑託状 (祭典委員)	1	大正 6 (1917) 年 7 月 19 日	社団法人札幌忠魂碑保存会理事長阿部宇之八→阿部仁太郎	216-326	
3679 5	解任状 (明治神宮奉賛会北海道支部委員)	1	大正 6 (1917) 年 9 月 10 日	明治神宮奉賛会会長正二位勲一等公爵徳川家達→阿部仁太郎	271-344	
3679 6	任命状 (通常会員)	1	大正 8 (1919) 年 3 月 13 日	明治神宮奉賛会会長正二位勲一等公爵徳川家達→阿部仁太郎	220-301	
3679 7	囑託状 (豊平神社奉賛会相談役)	1	大正 10 (1921) 年 12 月 1 日	豊平神社奉賛会会長正四位勲三等佐藤友熊→阿部仁太郎	261-358	

文書番号		文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3679	8		1	大正12(1923)年11月28日	伊勢国山田神社敬神社本部→阿部仁太郎	256-360	
		委嘱状(神宮正遷宮紀念御軸頒行永代常夜灯建設之為賛成員結集世話役)					
3679	9		1	明治28(1895)年4月30日	(協賛会北海道支部)→(阿部家)	368-343	明治28年の平安神宮造営に際し有志が北海道産の石材を献納した。献納者の名前が刻まれた石碑の写真があり、阿部仁太郎の名もある。
		碑陰記					
3679	10		1	明治38(1905)年11月30日	発行:図書編輯社	220-152-3	寄贈者、東京市日本橋区本材木町海運橋際東京株式取引所仲買人玉塚栄次郎の印
		靖国神社誌					
3679	11		1	明治38(1905)年11月30日	発行:図書編輯社	220-152-3	寄贈者、東京市日本橋区本材木町海運橋際東京株式取引所仲買人玉塚栄次郎の印
		靖国神社誌					
3679	12		1	明治28(1895)年9月25日	京都府知事渡邊千秋→阿部仁太郎	181-134	
		通知書(平安遷都千百年紀念大祭十月廿四日執行)					
3679	13		1	明治38(1905)年	印刷:東京市京橋区三十間堀二丁目一番地明教社	223-153	
		桓武天皇平安遷都千百年紀念祭協賛会規約					
3679	14		1	明治44(1911)年10月1日	官幣大社札幌神社宮司額賀大直→阿部仁太郎	197-544	
		謝状(札幌神社御造営費として金員御寄附相成り候段感謝の至りに不堪候)					
3679	15		1	明治44(1911)年10月3日	札幌神社社務所→阿部仁太郎	275-196	
		贈呈状(金五拾疋東宮殿下ヨリ酒醜料下賜ニ付額与)					
3679	16		1	大正6(1917)年2月15日	明治神宮奉賛会北海道支部札幌区委員長阿部字之八→阿部仁太郎	212-580	
		感謝状(本月十日ヲ以テ事務完了、委員尽力之賜)					
3679	17		1	大正10(1921)年9月3日	(豊平神社奉賛会)→(阿部家)	194-360	
		豊平神社奉賛会趣意書					
3679	18		1	大正2(1913)年4月15日	官幣大社札幌神社御造営賛助婦人会→阿部イソ	239-318	①封筒、②婦人会会長中村千代→阿部イソ宛書状、③献納御調度品目
		嘱託状(札幌神社御造営賛助婦人会委員)					
3679	19		1	不明	官幣大社札幌神社宮司宮澤春文→阿部いそ子	194-361	封筒アリ
		感謝状(神社御造営竣工の際御調度品費御寄附)					
3679	20		1	大正10(1921)年12月	豊平神社奉賛会会長佐藤友熊→阿部仁太郎	193-271	
		書簡(奉賛会組織任り候間御賛助の上御尽力被下度別紙嘱託状並趣意書相添へ此段貴意得申候)					
3679	21		1	不明	不明	194-271	
		明治神宮奉賛会献金内訳表					
3680	1						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	2						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	3						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	4						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	5						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	6						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	7						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	8						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	9						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	10						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	11						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	12						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	13						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	14						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	15						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	16						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	17						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	18						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	19						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	20						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	21						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	22						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	23						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	24						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	25						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	26						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	27						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	28						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	29						詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					
3680	30	1					詳細不掲載
		穴田木材店関係資料					

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3680 30 2	穴田木材店関係資料					詳細不掲載
3680 31	穴田木材店関係資料					詳細不掲載
3680 32	穴田木材店関係資料					詳細不掲載
3680 33	穴田木材店関係資料					詳細不掲載
3680 34	穴田木材店関係資料					詳細不掲載
3680 35	穴田木材店関係資料					詳細不掲載
3680 36 1	領収証	1	明治 41 (1908) 年 9 月	桑田多吉→阿部仁太郎	275-197	
3680 36 2	領収証 (平安遷都千百年記念祭寄付金)	1	明治 27 (1894) 年 8 月 18 日	北垣国道→阿部仁太郎	164-135	OA520
3680 36 3	領収証	2	明治 29 (1896) 年 8 月 21 日	大日本北海道農会 (菊亭修季) →阿部仁太郎	150-137	OA579
3680 36 4	領収証	3	明治 44 (1911) 年 5 月 27 日 ～明治 45 (1912) 年 5 月 26 日	重延印平→阿部仁太郎、菅地信治→豊平村外連合用水組合、不明→連合用水組合	242-162	OA575 ①～③
3680 36 5	領収証 (武門五拾五銭)	1	明治 26 (1893) 年 5 月 1 日	勸農協会→阿部仁太郎	245-170	OA495
3680 36 6	領収証 (巻円受取)	1	明治 27 (1894) 年 2 月 3 日	不明→阿部仁太郎	160-162	OA512
3680 36 7	領収証(臨時軍費歳入)	1	明治 37 (1904) 年 12 月 7 日	札幌本金庫→阿部仁太郎	190-110	OA676
3680 36 8 1	領収証	1	明治 20 (1887) 年 11 月 7 日	北海道製麻会社創立事務所→阿部仁太郎	243-163	OA369
3680 36 8 2	領収証	1	明治 20 (1887) 年 10 月 31 日	北海道製麻会社創立事務所→阿部仁太郎	244-164	OA370
3680 36 9	領収証	1	明治 25 (1892) 年 8 月 9 日	勸農協会会計管南鷹次郎→阿部仁太郎	155-187	OA464
3680 36 10	受取書	1	明治 25 (1892) 年 4 月 1 日	駒崎小兵衛代人金野東造→阿部仁太郎	245-335	OA454
3680 36 11	綴り (領収書 28 通一括)	1	明治 44 (1911) 年	不明	260-200	OA578
3680 37 1	書簡 (出張のため物品預け願)	1	不明	三池金三郎→阿部初太郎	250-330	OA562
3680 37 2	決議録 (学田立木私下の件)	1	不明	不明	245-170	OA557
3680 37 3	通知書(年酬金納付の件)	1	明治 28 (1895) 年 8 月 16 日	札幌外九郡委員長林悦郎→委員阿部仁太郎	243-177	OA586
3680 37 4	冊子(釈了然四拾九日布)	1	不明	不明	242-165	OA564
3680 37 5	断簡	1	年不明 3 月 11 日	文茶社辻本仁齋→吾安屋	173-135	OA328
3680 37 6	封筒 [カ]	1	不明	不明	220-165	OA180
3680 37 7	貸渡書証控	1	明治 30 (1897) 年 3 月 12 日	地主阿部仁太郎→及川辰之助	245-330	OA569
3680 38 1	綴り (山林受取書ほか、山鼻村山林売買に関する書類一括)	1	明治 31 (1898) 年 3 月 24 日	伊藤元吉 (他 5 名) →阿部仁太郎	280-190	OA478～OA487、最も古いものは明治 26 年、古い順に重ねられている。
3680 38 2	綴り (山林受取書・地所証明願など証書一括)	1	明治 31 (1898) 年 3 月 28 日	渡辺源六外 6 名代理人今野周蔵→阿部仁太郎	280-200	OA568
3680 38 3	土地開墾約定書	1	明治 26 (1893) 年 2 月 4 日	池田弥左衛門 (外 14 名) →阿部仁太郎	245-170	OA490
3680 38 4	豊平学田不毛地拝借額	1	明治 26 (1893) 年 3 月 10 日	阿部初太郎→豊平惣代人	240-330	OA489
3680 38 5	綴り (家屋建築など証書一括)	1	明治 16 (1883) 年 10 月 19 日	本多平六→阿部仁太郎	270-200	OA359-1～OA359-31
3680 38 6	綴り (地所拾八万三千坪代金・土地売買証書など一括)	1	明治 27 (1894) 年 6 月 5 日	佐藤平吉、佐藤弥平→阿部仁太郎	260-190	OA518 ①～39
3680 38 7	綴り (学田地の立木私下書など一括)	1	明治 27 (1894) 年 3 月 19 日	宮田与作、富永良治→阿部仁太郎	255-180	OA421
3680 38 8	委任状	1	明治 28 (1895) 年 9 月 14 日	佐藤平吉→阿部仁太郎	245-330	OA396
3680 39 1	金請取証	1	明治 33 (1900) 年 6 月 30 日	梶原喜十郎→阿部仁太郎	235-320	OA573
3680 39 2	金借証	1	明治 27 (1894) 年 12 月 31 日	仙谷仙吉→阿部仁太郎	235-320	OA525
3680 39 3	金式拾円之証	1	明治 27 (1894) 年 8 月 19 日	大和万三郎→阿部仁太郎	235-330	OA521
3680 39 4	綴り (請取証など)	1	明治 25 (1892) 年 9 月 10 日など	富山富之助→阿部仁太郎など	250-160	OA574
3680 39 5	金員請取証	1	明治 26 (1893) 年 1 月 22 日	高瀬セン、高瀬巖七 (秋田県鹿角郡花輪村) →阿部仁太郎	238-335	OA492、日付は青字で修正したもの
3680 39 6	綴り (空知川砂利代金請取証)	1	明治 28 (1895) 年 3 月 4 日 ～12 月 4 日	佐藤平吉 (札幌北三条三丁目二番地) →阿部仁太郎	240-165	OA543 ①～24、24 枚あり、すべて佐藤平吉→阿部仁太郎
3680 39 7	証 (硬石の売上代金請取証)	1	明治 22 (1889) 年 3 月 21 日	佐藤平吉 (札幌区南三条西一丁目三番地) →阿部仁太郎	235-325	OA409
3680 39 8	証 (請取証)	1	明治 22 (1889) 年 2 月 20 日	東條九郎吉 (札幌区南一条東四丁目六番地)、滝田孝義 (豊平村) →阿部仁太郎	235-325	OA404
3680 39 9	証 (硬石の売上代金請取証)	1	明治 22 (1889) 年 2 月 7 日	安彦新三良→阿部仁太郎	235-325	OA405
3680 39 10	証 (北有社 石垣築造等の代金請取証)	1	明治 21 (1888) 年 12 月 10 日	佐藤平吉 (南三条西一丁目三番地) →阿部仁太郎	235-320	OA400
3680 39 11	証 (北有社 石垣築造等の代金請取証)	1	明治 21 (1888) 年 12 月 4 日	佐藤平吉→阿部仁太郎	235-320	OA399
3680 39 12	証 (北有社 石垣請負代金請取証)	1	明治 21 (1888) 年 11 月 7 日	佐藤平吉→阿部仁太郎	235-320	OA398

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3680 39 13	証書(北有社 橋架用硬石代金受取証)	1	明治21(1888)年9月14日	佐藤平吉→阿部仁太郎	240-330	OA399
3680 39 14	証(代金請取証)	1	明治21(1888)年7月4日	佐藤平吉→阿部仁太郎	240-330	OA388
3680 39 15	証(代金請取証)	1	明治21(1888)年8月16日	佐藤平吉→阿部仁太郎	240-330	OA389
3680 39 16	証(借用証)	1	明治21(1888)年8月29日	長橋米太郎→阿部仁太郎	230-310	OA390
3680 39 17	証(代金請取証)	1	明治21(1888)年5月26日	佐藤平吉→阿部仁太郎	245-340	OA387
3680 39 18	五月一日夕四日迄会社行硬石運送調	1	明治21(1888)年7月16日	玉井帳場→阿部仁太郎	240-340	OA384
3680 39 19	証	2	明治36(1903)年5月6日、19日	佐藤帳場→安彦新三良、安彦新三良→阿部仁太郎	240-165	OA385、OA386
3680 39 20	証	1	明治21(1888)年5月18日	玉井房一→阿部仁太郎	245-340	OA382 硬石代金の残金通知
3680 39 21	証(硬石運輸)	1	不明年5月19日	佐藤帳場→阿部帳場	245-330	OA383 硬石385銭運送高
3680 39 22	証(代金請取証)	1	明治21(1888)年5月19日	安彦新三良→阿部仁太郎	245-335	OA380 玉井方硬石代金請取証
3680 39 23	記(硬石山より札幌製麻会社迄硬石運送)	1	明治21(1888)年5月19日	安彦新三良→阿部仁太郎	245-335	OA381 発足別硬石山より札幌製麻会社迄硬石運送
3680 39 24	証(豊平小学校増築関係)	1	明治23(1890)年9月15日~12月21日	古館金太郎(請負人)→豊平村総代人、古館金太郎→豊平学校惣代	255-170	OA428 9枚が1綴
3680 39 25	(資金入用の報告)	1	不明年10月11日	安彦、佐藤→阿部仁太郎	220-290	OA563
3680 39 26	証(千歳村伐木関係)	1	明治23(1890)年10月11日	佐藤福左衛門(及川栄八代)→阿部仁太郎他	295-170	OA430-1~26 千歳官林切開寺線第三区伐木工事請負残金…請取候也 29枚が1綴
3680 39 27	借用証	1	明治23(1890)年3月	平田喜三→阿部仁太郎	240-320	OA420
3680 39 28	請取証(北有社納軟石代金請取証)	1	明治22(1889)年8月25日	佐藤平吉代理安彦新三良→阿部仁太郎	245-340	OA418
3680 39 29	請取証(北有社売上石代金請取証)	2	明治22(1889)年6月30日	佐藤平吉代理安彦新三良→阿部仁太郎	240-175	OA416 2枚が1綴
3680 39 30	証(借用証)	1	不明	平田喜三(手宮町番外地)→阿部仁太郎	240-160	OA417
3680 39 31	証(北有社納軟石代金)	1	明治22(1889)年6月8日	佐藤平吉代理安彦新三良→阿部仁太郎	235-330	OA415
3680 39 32	証(硬石運搬代金請取証)	1	不明年3月13日	安彦新三良→阿部仁太郎	240-325	OA406
3680 39 33	証書(北有社の売上硬丸石等代金請取証)	1	明治22(1889)年3月15日	佐藤平吉→阿部仁太郎	240-325	OA407
3680 39 34	証(硬石運搬残金請取証)	1	明治22(1889)年3月19日	安彦新三良→阿部仁太郎	238-330	OA408
3680 39 35	金員借用証	1	明治26(1893)年3月30日	平田喜三→阿部仁太郎	240-335	OA491
3680 39 36	証(郵便受取所事務員依頼)	1	明治27(1894)年7月1日	豊平郵便受取所取扱人阿部仁太郎→沢田彰善	235-340	OA519
3680 39 37	記(領収書)	1	不明年12月11日	内国通運株式会社→阿部仁太郎	242-165	OA558 菊亭修季、森長保
3680 39 38	請取証	1	明治26(1893)年3月8日	石橋政保代高木利心→阿部仁太郎	245-345	OA496
3680 39 39	証(古家立換請負金の内手金請取証)	1	明治29(1896)年2月14日	岩城与太郎→阿部仁太郎	240-435	OA355
3680 39 40	借用証	1	明治26(1893)年2月22日	笠井次郎→阿部仁太郎	240-445	OA488
3680 39 41	証(受取証)	1	明治30(1897)年5月11日	佐藤銀蔵→阿部仁太郎	235-330	OA570
3680 39 42	証(農薬種子買入代金請取)	1	明治28(1895)年9月11日	大日本農会商業部出張所藤井□輔→阿部仁太郎	235-315	OA541
3680 39 43	金員請取証(郵便局貯金払戻)	1	明治25(1892)年3月15日	高瀬セン実父高瀬藤七→阿部仁太郎	240-335	OA452
3680 39 44	記	1	明治24(1891)年9月2日	中村康松	240-235	OA443
3680 39 45	記(請取証)	1	明治21(1888)年10月1日他	湊伝治郎	250-170	OA391~395 5枚が1綴
3680 39 46	証(鉄道会社売込石代金請取証)	1	明治24(1891)年7月~8月	佐藤平吉→阿部仁太郎	250-170	OA440-1~7 7枚が1綴
3680 39 47	金員借用証書	1	明治24(1891)年8月18日	札幌郡篠路村八十八番地藤原長治郎→阿部仁太郎	240-335	OA439
3680 39 48	証(鉄道会社へ売込代金請取証)	1	明治25(1892)年7月~12月	佐藤平吉→阿部仁太郎など	245-175	OA463-1~13 13枚が1綴
3680 39 49	領取証	1	明治8(1875)年11月13日	小樽□□町高橋商店→阿部仁太郎	240-165	OA542
3680 39 50	証(軟石代、石垣代他)	1	明治24(1891)年9月24日	札幌区南五条東三丁目拾番地佐藤平吉→阿部仁太郎	240-162	OA446
3680 39 51	証(空知線都春別川仮橋取壊し受負代他鉄道工事に係る受負金)	1	明治20(1887)年	札幌区□条東二丁目十二番地佐藤平吉→阿部仁太郎	240-160	OA526-1~45 45枚1綴
3680 39 52	証(硬石売上代金鉄道会社より請負委任致置…)	1	明治28(1895)年5月30日	札幌区北三条東三丁目二番地佐藤平吉→阿部仁太郎	235-160	OA554
3680 39 53	証(炭礦鉄道株式会社関係、採炭機械に関する石工)	1	明治29(1896)年6月30日	札幌区北三条東三丁目二番地佐藤平吉→阿部仁太郎	237-155	OA549
3680 39 54	証(採炭所附属曳揚機台石)	1	明治29(1896)年6月4日	札幌区北三条東三丁目二番地佐藤平吉→阿部仁太郎	235-160	OA547

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3680 39 55	証(代金)	1	明治 18 (1885) 年 10 月 27 日	福土源次郎→阿部仁太郎	240-170	OA354
3680 39 56	証(鉄道橋内海岸築堤工事費)	1	明治 26 (1893) 年 1 月 31 日	札幌区南五条東三丁目拾番地佐藤平吉→阿部仁太郎	240-165	OA497-1~18 18枚1綴
3680 39 57	委任状他(上納金請受の代理を阿部に依頼)	1	明治 26 (1893) 年	札幌区北六条西三丁目広瀬喜兵衛→阿部仁太郎	240-160	OA493-1~4 4枚1綴
3680 39 58	請取証(食料代他)	1	明治 26 (1893) 年 11 月 8 日	札幌区南三条東二丁目拾番地□地金三郎→豊平村四番地阿部仁太郎	245-160	OA505
3680 39 59	証(内訳記載なし)	1	明治 26 (1893) 年 10 月 1 日	北海道共同株式会社札幌出張所→阿部仁太郎	175-177	OA500
3680 39 60	借借証(抵当として)	1	明治 26 (1893) 年 8 月 5 日	尾形□ノ助→阿部仁太郎	240-155	OA501
3680 39 61	領取証(参拾円参拾銭)	1	明治 26 (1893) 年 9 月 29 日	四番組小頭宮田興作→四番組々頭阿部仁太郎	235-177	OA499 火防関連
3680 39 62	記(運送費請取)	1	明治 28 (1895) 年	久富鶴次郎→阿部仁太郎	240-158	OA536-1~3 4枚1綴
3680 39 63	牛配金受取証	1	明治 28 (1895) 年 2 月 14 日	久富鶴次郎→阿部仁太郎	235-160	OA531
3680 39 64	御依頼証(二百参拾円也)	1	明治 29 (1896) 年 6 月 26 日	札幌区北三条東三丁目二番地佐藤平吉→阿部仁太郎	245-160	OA550
3680 39 65	借借証(抵当 簡測トランシット并測鎖)	1	明治 29 (1896) 年 2 月 13 日	借主不破丑太郎→阿部仁太郎	240-165	OA546 2枚1綴
3680 39 66	借借金証書	1	不明	青森県南津軽郡山形村大字口巻村七十七番戸佐藤□助	240-170	OA560
3680 39 67	金請取証	1	明治 20 (1887) 年 1 月 30 日	浅井金平→阿部仁太郎	239-157	OA363
3680 39 68	金借借証	1	年不明 12 月 11 日	古館金太郎→阿部仁太郎	240-157	OA559
3680 39 69	証(拾三円八拾九銭請取)	1	[明治 20 (1887) 年] 11 月 12 日	谷辰次郎代松井小左衛門→佐藤平吉	235-165	OA371
3680 39 70	証	1	明治 20 (1887) 年	玉井漢一→阿部仁太郎	245-170	OA365、366、367-1~10 13枚1綴
3680 39 71	証(製麻会社建築用硬石運搬代金請取)	1	明治 20 (1887) 年 11 月 12 日	太田浮右衛門→阿部仁太郎、佐藤平吉	245-164	OA368
3680 39 72	請貸貸金請取証(野幌から白石表まで橋運搬道代賃)	1	明治 21 (1888) 年 2 月 8 日	下白石村番外地稲垣岩松→阿部仁太郎	244-166	OA373
3680 39 73	証	1	明治 20 (1887) 年 12 月 22 日	札幌区南 1 条西 6 丁目 13 番地玉井漢一→阿部仁太郎	243-165	OA372
3680 39 74	借借証	1	明治 21 (1888) 年	琴似村淨恩寺曾我大因→豊平村阿部仁太郎	243-170	OA374、376 2枚で1綴
3680 39 75	記(硬石運送賃金)	1	明治 21 (1889) 年 5 月 2 日	山鼻村七番地安彦新太郎→阿部仁太郎	244-164	OA379
3680 39 76	証(硬石運送金)	1	明治 21 (1889) 年 5 月 1 日	玉井漢一→阿部仁太郎	242-161	OA378
3680 39 77	証(硬石代金受取)	1	明治 21 (1889) 年 5 月 16 日	玉井漢一→阿部仁太郎	243-164	OA377
3680 39 78	証(製麻会社請負硬石代金請取)	1	明治 21 (1889) 年 4 月 20 日	札幌区南三条西一丁目三番地佐藤平吉→阿部仁太郎	245-165	OA375
3680 39 79	証	1	明治 29 (1896) 年 11 月	札幌区北三条東三丁目佐藤平吉→阿部仁太郎	245-160	OA553
3681 1	新聞紙切抜	1	明治 25 (1892) 年 2 月 5 日	北門新報社	190-390 など	4枚1綴「北門立志談」に阿部仁太郎の人物紹介あり。
3681 2	朝刊やまと新聞北海版	1	明治 44 (1911) 年 1 月 10 日	やまと新聞松山下合資会社(東京市京橋区三十間堀1)	550-805	OA602 1、2、7、8面(1枚)、コピー添付「炭焼から巨万の富 北海道の大成功者阿部仁太郎氏の伝」の記事あり。
3681 3	解職願(豊平小学校資産取扱の解職)	1	明治 25 (1892) 年 2 月 17 日	札幌郡豊平村 4 番地阿部仁太郎	245-330	
3681 4	縁組約定証	1	明治 18 (1885) 年 2 月 9 日	札幌区南 1 条東 2 丁目 8 番地本人親: □ □藤藏、同区南 4 条西 1 丁目 7 番地中立人: 岩城豊太郎→阿部仁太郎	245-325	□藤藏 5 女キんと平田金藏の婚姻
3681 5	綴り(証書ほか)	1	明治 26 (1893) 年 1 月 20 日他	東和吉、立会人: 前田吉助→川又政造他	245-325	東和吉親方川又政造への改心書、念書等 14 通が綴じられて 1 冊に。
3681 6	軍隊手帳	1	明治 26 (1893) 年~明治 37 (1904) 年	角田盛人	130-90	主に日清戦争時の経歴
3681 7	書簡	1	不明	角田盛人→両親	230-310	
3681 8	葬儀収支帳	1	明治 38 (1905) 年 3 月 17 日	角田トヨ	320-120	角田盛人葬儀帳
3681 9	書簡	1	明治 24 (1891) 年 4 月	不明	250-105	「両陛下御製」「東京神田愛生館」高松保郎
3681 10	囑託状(委員)	1	明治 37 (1904) 年 11 月 25 日	北海道尚武会園田安賢→阿部コト子	230-305	
3681 11	感謝状(青森市火災ノ際救恤、奇特)	1	明治 45 (1912) 年 5 月 20 日	青森県知事武田千代三郎→阿部仁太郎	230-305	
3681 12	推薦状(賛助員)	1	大正 2 (1913) 年 12 月 26 日	日露倶楽部→阿部仁太郎	210-305	ロシア語併記
3681 13 1	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	215-85 180-375	封筒 1、便箋 1
3681 13 2	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	210-85 170-590	封筒 1、便箋 1

文書番号			文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3681	13	3	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	190-76 175-530	封筒1、便箋1
3681	13	4	書簡	1	明治40(1907)年7月3日	正親町実正→阿部仁太郎	210-85 170-1100	封筒1、便箋1
3681	13	5	書簡	1	大正4(1915)年4月14日	日向新次郎→阿部仁太郎	185-82 180-455	封筒1、便箋1
3681	13	6	書簡	1	大正2(1913)年11月17日	侯爵西園寺家執事→阿部仁太郎	140-90	ハガキ
3681	13	7	絵ハガキ	1	昭和11(1936)年9月22日	松尾豊次→阿部仁太郎	140-88	松尾豊次は根室町長
3681	13	8	書簡	1	不明	窪田官三郎→阿部初太郎、由太郎	140-90	OA228
3681	13	9	書簡	1	不明	山本寿→阿部初太郎	140-320	OA229
3681	13	10	書簡	1	不明	中島繁次郎→阿部初太郎	140-90	OA230
3681	13	11	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	140-90	OA231
3681	13	12	書簡	1	不明	坪川角兵衛→阿部初太郎	140-90	OA232
3681	13	13	書簡	1	不明	吉井宗吉→阿部初太郎	140-89	OA233
3681	13	14	書簡	1	不明	吉田健作→阿部初太郎	140-90	OA234
3681	13	15	書簡	1	不明	吉田健作→阿部初太郎	140-90	OA235
3681	13	16	書簡	1	不明	□沼□□→阿部初太郎	140-90	OA236
3681	13	17	書簡	1	不明	西園寺家執事→阿部初太郎	140-90	OA237
3681	13	18	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	200-75 175-560 175-970	OA238 「M27 10月2日」の付箋、封筒1、便箋2
3681	13	19	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	195-75 175-560	OA239 「M28年4月24日」の付箋、封筒1、便箋1
3681	13	20	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	195-75 175-340	OA240 封筒1、便箋1
3681	13	21	書簡	1	年不明9月21日	菊亭修季→阿部仁太郎	200-75 500-170	OA241 封筒1、便箋1
3681	13	22	書簡	1	明治27(1895)年11月18日、19日	菊亭修季→阿部仁太郎	207-80 142-336 180-380	OA242 封筒1、便箋2
3681	13	23	書簡	1	年不明9月28日	菊亭修季→阿部仁太郎	200-78 180-449	OA243 封筒1、便箋1
3681	13	24	書簡	1	年月不明29日	菊亭修季→阿部仁太郎	197-75 180-252	OA245 「M28」の付箋、封筒1、便箋1
3681	13	25	書簡	1	明治30(1897)年12月28日	菊亭修季→阿部仁太郎	230-80 180-457	OA246 「M29年明28」の付箋、封筒1、便箋1
3681	13	26	書簡	1	明治30(1897)年6月7日	菊亭修季→阿部仁太郎	208-80 187-251	OA247 封筒1、便箋1
3681	13	27	書簡	1	明治30(1897)年12月7日	菊亭修季→阿部仁太郎	245-82 182-498 85-235	OA248 封筒1、便箋2
3681	13	28	書簡	1	明治32(1899)年5月24日	菊亭修季→阿部仁太郎	187-77 180-287	OA249 封筒1、便箋1
3681	13	29	書簡	1	明治32(1899)年5月15日、17日	菊亭修季→阿部仁太郎	190-72 242-330 182-288	OA250 封筒1、便箋2
3681	13	30	書簡	1	明治32(1899)年5月24日	菊亭修季→阿部仁太郎	190-72 182-453	OA251 封筒1、便箋1
3681	13	31	書簡	1	年不明10月19日	岩間□吉→阿部仁太郎	192-72 173-867	封筒1、便箋1
3681	13	32	書簡	1	明治24(1891)年7月10日	菊亭修季→阿部仁太郎	200-78 180-500	OA253 封筒1、便箋1
3681	13	33	書簡	1	明治34(1901)年7月16日	菊亭修季→阿部仁太郎	228-78 177-643	OA254 封筒1、便箋1
3681	13	34	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	200-750 180-738	OA255 封筒1、便箋1
3681	13	35	書簡	1	明治28(1895)年4月26日	菊亭修季→阿部仁太郎	234-75 178-354 178-228	OA256 封筒1、便箋2
3681	13	36	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	181-515	OA257 便箋1
3681	13	37	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	280-78 177-410	OA258 封筒1、便箋1
3681	13	38	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	232-75 178-650	OA259 封筒1、便箋1
3681	13	39	書簡	1	年不明2月7日	菊亭修季→阿部仁太郎	257-84 181-271	OA260 封筒1、便箋1
3681	13	40	書簡	1	年不明2月24日	菊亭修季→阿部仁太郎	258-83 181-404	OA261 封筒1、便箋1
3681	13	41	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	191-71 182-371	OA262 封筒1、便箋1
3681	13	42	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	195-72 81-266	OA263 封筒1、便箋1

文書番号			文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3681	13	43	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	190-78 180-418 180-147	OA264 封筒1、便箋1、 追伸1
3681	13	44	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	197-74 181-363 172-342 183-783	OA265 封筒1、便箋3
3681	13	45	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	199-73 180-266 91-53	OA266 封筒1、便箋1、 名刺1(水口兵二郎)
3681	13	46	書簡	1	年不明5月3日	菊亭修季→阿部仁太郎	186-76 183-426	OA267 封筒1、便箋1
3681	13	47	書簡	1	年不明5月20日	菊亭修季→阿部仁太郎	186-76 81-725	OA268 封筒1、便箋1
3681	13	48	書簡	1	年不明5月20日	菊亭修季→阿部仁太郎	192-71 180-502 182-367	OA269 封筒1、便箋2
3681	13	49	書簡	1	年不明6月4日	菊亭修季	190-72 182-330	OA270 封筒1、便箋1 宛名なし
3681	13	50	書簡	1	年不明6月7日	菊亭修季→阿部仁太郎	194-72 80-920	OA271 封筒1、便箋1
3681	13	51	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	255-85 175-590	OA272 封筒1、便箋1
3681	13	52	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	195-75 180-650	OA273 封筒1、便箋1
3681	13	53	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	190-75 175-840	OA274 封筒1、便箋1
3681	13	54	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	215-83 177-385	OA275 封筒1、便箋1
3681	13	55	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	195-80 177-235	OA276 封筒1、便箋1
3681	13	56	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	185-575	OA277 便箋1
3681	13	57	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	195-75 170-335	OA278 封筒1、便箋1
3681	13	58	書簡	1	明治28(1895)年7月9日	菊亭修季→阿部仁太郎	190-71 180-245 180-245	OA279 封筒1、便箋2
3681	13	59	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	205-83 175-590	OA280 封筒1、便箋1
3681	13	60	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	195-79 180-240	OA281 封筒1、便箋1、 ×毛紙1(解説)
3681	13	61	書簡	1	年不明7月17日	菊亭修季→阿部仁太郎	197-442	OA282 便箋1
3681	13	62	書簡	1	年不明7月12日	菊亭修季→阿部仁太郎	180-795	OA283 便箋1
3681	13	63	書簡	1	年不明7月19日	菊亭修季→阿部仁太郎	208-82 184-343	OA284 封筒1、便箋1
3681	13	64	書簡	1	年不明7月22日	菊亭修季→阿部仁太郎	230-81 182-424	OA285 封筒1、便箋1
3681	13	65	書簡	1	年不明7月23日	菊亭修季→阿部仁太郎	181-608	OA286 便箋1
3681	13	66	書簡	1	年不明7月28日	菊亭修季→阿部仁太郎	203-78 180-362	OA287 封筒1、便箋1
3681	13	67	書簡	1	年不明8月9日	菊亭修季→阿部仁太郎	214-82 183-490	OA288 封筒1、便箋1
3681	13	68	書簡	1	年不明8月12日	菊亭修季→阿部仁太郎	194-72 182-360	OA289 封筒1、便箋1
3681	13	69	書簡	1	年不明8月16日	菊亭修季→阿部仁太郎	220-83 182-501	OA290 封筒1、便箋1
3681	13	70	書簡	1	年不明8月23日	菊亭修季→阿部仁太郎	195-75 184-420	OA291 封筒1、便箋1
3681	13	71	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	190-75 165-510	OA292 封筒1、便箋1
3681	13	72	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	205-81 180-215	OA293 封筒1、便箋1
3681	13	73	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	215-85 180-295	OA294 封筒1、便箋1
3681	13	74	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	185-75 175-680	OA295 封筒1、便箋1
3681	13	75	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	185-75 185-340	OA296 封筒1、便箋1
3681	13	76	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	185-75 185-550	OA297 封筒1、便箋1
3681	13	77	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	195-75 180-470	OA298 封筒1、便箋1、 付箋に「M29年9月28日」
3681	13	78	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	215-85 180-600	OA299 封筒1、便箋1

文書番号			文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3681	13	79	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	195-79 180-230	OA300 封筒1、便箋1
3681	13	80	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	215-85 180-1050	OA301 封筒1、便箋1
3681	13	81	書簡	1	年不明10月17日	菊亭修季→阿部仁太郎	188-72 182-399	OA302 封筒1、便箋1
3681	13	82	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	189-76 180-351	OA303 封筒1、便箋1
3681	13	83	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	202-77 161-525 171-320	OA304 封筒1、便箋2
3681	13	84	書簡	1	年不明11月27日	菊亭修季→阿部仁太郎	229-78 170-266	OA395 封筒1、便箋1
3681	13	85	書簡	1	年不明12月□日	菊亭修季→阿部仁太郎	203-76 182-325	OA306 封筒1、便箋1
3681	13	86	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	207-78 170-293 170-435 170-261 170-245	OA307 封筒1、便箋4
3681	13	87	書簡	1	年不明12月20日	菊亭修季→阿部仁太郎	163-607	OA308 便箋1
3681	13	88	書簡	1	年不明12月22日	菊亭修季→阿部仁太郎	166-943	OA309 便箋1
3681	13	89	書簡	1	年不明12月22日	菊亭修季→阿部仁太郎	202-78 174-300	OA310 封筒1、便箋1
3681	13	90	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	200-75 170-835 183-320	OA312 封筒1、便箋2
3681	13	91	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	200-75 180-215	OA313 封筒1、便箋1
3681	13	92	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	210-79 170-340	OA314 封筒1、便箋1
3681	13	93	書簡	1	年月不明8日	差出不明→阿部仁太郎	194-79 179-302 180-525	OA315 封筒1、便箋2
3681	13	94	書簡	1	年月不明9日	菊亭修季→阿部仁太郎	210-78 173-345 180-369	OA316 封筒1、便箋2
3681	13	95	書簡	1	年月不明17日	菊亭修季→阿部仁太郎	200-75 180-522 182-193	OA317 封筒1、便箋2
3681	13	96	書簡	1	年月不明17日	菊亭修季→阿部仁太郎	201-75 180-886	OA318 封筒1、便箋1
3681	13	97	書簡	1	年月不明21日	菊亭修季→阿部仁太郎	257-84 170-411	OA319 封筒1、便箋1
3681	13	98	書簡	1	年月不明21日	菊亭修季→阿部仁太郎	242-89 191-398	OA320 封筒1、便箋1
3681	13	99	書簡	1	年月不明21日	菊亭修季→阿部仁太郎	230-78 178-785	OA321 封筒1、便箋1
3681	13	100	書簡	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	220-83 180-345	OA322 封筒1、便箋1
3681	13	101	書簡	1	年月不明22日	菊亭修季→阿部仁太郎	210-80 172-1063	OA323 封筒1、便箋1
3681	13	102	書簡	1	年月不明25日	菊亭修季→阿部仁太郎	202-81 182-324	OA324 封筒1、便箋1
3681	13	103	書簡	1	年月不明27日	菊亭修季→阿部仁太郎	193-75 182-632	OA325 封筒1、便箋1
3681	13	104	書簡	1	年月不明29日	菊亭修季→阿部仁太郎	232-75 181-490	OA326 封筒1、便箋1
3681	13	105	書簡	1	年月不明29日	菊亭修季→阿部仁太郎	225-100 180-870	OA327 封筒1、便箋1
3681	13	106	書簡	1	年不明12月27日	北海道物産共進会会頭園田安賢→阿部仁太郎	215-85 172-827	封筒1、便箋1
3681	13	107	書簡	1	明治43(1910)年2月12日	正親町実正→阿部仁太郎	185-71 170-910	封筒1、便箋1
3681	13	108	書簡	1	年不明12月29日	通信省内官舎森長保→阿部仁太郎	185-73 181-464	OA330 封筒1、便箋1
3681	13	109	書簡	1	明治28(1895)年2月7日	惣代竹田□治→阿部仁太郎	196-262	OA331 便箋1
3681	13	110	書簡	1	明治28(1895)年2月11日	通信省内官舎森長保→阿部仁太郎	197-73 182-429 181-390	OA332 封筒1、便箋1、 付箋1「明治28年3月15日」
3681	13	111	書簡	1	年不明3月20日	通信省内官舎森長保→阿部仁太郎	190-74 180-430	OA333 封筒1、便箋1
3681	13	112	書簡	1	明治29(1896)年7月28日	通信省内官舎森長保→阿部仁太郎	190-74 180-630	OA334 封筒1、便箋1

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3681 13 113	書簡	1	不明	南鷹次郎→阿部仁太郎、北海道農産会	210-75 180-500	OA335 封筒1、便箋1
3681 13 114	書簡	1	不明	差出不明→北海道農産会々長阿部仁太郎	194-74 180-268	OA336 封筒1、便箋1
3681 13 115	書簡	1	明治31(1898)年1月13日	豊平消防組組頭大西久米之丞→阿部仁太郎	208-80 182-493	OA337 封筒1、便箋1
3681 13 116	書簡	1	明治31(1898)年10月28日	林顯三→大日本北海道農会長阿部仁太郎	210-77 190-457	OA338 封筒1、便箋1
3681 13 117	書簡	1	明治31(1898)年4月9日	大日本農会農芸員村上要信→阿部仁太郎	190-78 180-570	OA339
3681 13 118	書簡	1	年不明5月10日	青山喜次郎→阿部仁太郎	205-80 170-1340	OA340 消印は5月12日
3681 13 119	書簡	1	年不明5月11日	歩兵第廿五聯隊副官坂井源八→北海道農産会会長阿部仁太郎	215-80 180-460	OA341 付箋に「1934年5月11日」とある
3681 13 120	書簡	1	大正2(1913)年6月28日	□□村後藤新平→阿部仁太郎	220-90 190-835	封筒裏面に「札幌区長阿部字之八」とある
3681 13 121	感謝状(明治記念拓殖博覧会の際出品)	1	大正2(1913)年12月1日	明治記念拓殖博覧会北海道出品協会会頭中村純九郎→阿部仁太郎	220-574	
3681 13 122	□上□	1	大正10(1921)年12月	安齋眞隆→阿部仁太郎	245-336	
3681 13 123	書簡	1	昭和3(1928)年12月27日	清水涼、安孫子倫彦→阿部仁太郎	190-660	OA651
3681 13 124	招待状	1	大正12(1923)年6月28日	宮尾舜治(同仁会北海道支部長)→阿部仁太郎	190-130 165-114	OA659①
3681 13 125	招待状	1	大正12(1923)年7月11日	宮尾舜治(同仁会北海道支部長)→阿部仁太郎	154-105	OA659②
3681 13 126	書簡	1	大正11(1922)年10月5日	久松佳次→阿部仁太郎	210-81 200-1270	封筒1、便箋1
3681 13 127	招待状(本年特別大演習終了後仙台市ニ於ケル賜儀)	1	大正11(1922)年10月1日	宮内大臣一木喜徳郎→阿部仁太郎	202-149 190-139	封筒1、便箋1
3681 13 128	書簡	1	昭和11(1936)年10月	□□□□→阿部仁太郎	218-85 196-655	封筒1、便箋1
3681 13 129	書簡	1	大正14(1925)年10月 昭和4(1929)年11月1日	差出不明→阿部仁太郎 宮内大臣一木喜徳郎→阿部仁太郎	190-140 240-290 100-70 185-135	OA660 状の1つ目は大正14年10月陸軍特別大演習賜儀場参加証、2つ目は賜儀場(第二師団司令部構内)図、3つ目は昭和3年11月16日饗儀(大宴第一日)招待状
3681 13 130	書簡	1	昭和4(1929)年6月20日	賀陽官附宮内事務官梶田文太郎→札幌畜産組合副長阿部仁太郎	190-140 165-115	OA661
3681 13 131	書簡	1	昭和3(1928)年11月1日	宮内大臣一木喜徳郎→阿部イソ	200-150 185-135	OA674
3681 13 132	書簡(封筒のみ)	6	明治28(1895)年12月11日	菊亭修季→阿部仁太郎	195-73 211-82 198-75 211-78 220-83 199-74	封筒のみ6点、書簡(便箋)はない
3681 13 133	書簡(豊平橋開通式招待状)	1	大正13(1924)年8月5日	北海道庁長官土岐嘉平、開通式協賛会長高岡直吉→阿部仁太郎	172-120 158-18 158-18	封筒1、状2
3681 13 134	書簡(行幸での拝謁を喜ぶ)	1	昭和11(1936)年9月25日	息子→阿部仁太郎	150-97 223-190	封筒1、便箋1
3681 13 135	電報送達紙	1	昭和11(1936)年9月22日	ナンブ→阿部仁太郎	211-148	
3681 14 1	御祝儀	1	不明	阿□宗三郎	394-526	
3681 14 2	書簡	1	年号不明11年9月26日	愛媛県喜多郡大瀬村篠崎健園→北海道札幌郡白石村厚別阿部よし江	140-90	
3681 14 3	書簡	1	年号不明11年10月2日	野付牛町森□□→阿部よし江	125-317	「姉上様」とある
3681 14 4	書簡	1	年号不明11年9月30日	川崎市京町官治民→白石村厚別阿部よし江	224-85 217-188 217-188 217-188	封筒1、便箋3
3681 14 5	封筒	1	不明	若井□→阿部梅	148-195	
3681 14 6	恩給仕払金通知書	1	明治40(1907)年1月26日	北海道庁第一部出納課→阿部仁太郎方角田トヨ	181-195	OA690
3681 14 7	書簡	1	大正2(1913)年4月16日	栗山久次郎→阿部由太郎	206-84 240-295	封筒1、便箋1
3681 14 8	書簡	1	不明	□□→御兄上様	171-775	
3681 14 9	書簡	1	年不明10月10日	□□→阿部り久様(御姉上様)	172-733	
3681 14 10	書簡	1	大正2(1913)年4月21日	中島繁次郎→阿部初太郎	212-85 187-1240	封筒1、便箋1
3681 15 1	目録(鎮座五十年記念祭典表彰 徽章巻個)	1	不明	札幌市豊平神社	240-323 240-100	封筒1、便箋1
3681 15 2	目録(鎮座五十年記念祭典表彰 徽章巻個)	1	不明	札幌市豊平神社	240-323 240-100	封筒1、便箋1

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3681 16 1	総裁閣下御真影	1	不明	不明	196-525	
3681 16 2	式典記念御尊影	1	不明	不明	183-252	大正天皇の肖像あり
3682 1	今上天皇陛下御宸筆 (北海道タイムス付録)	1	大正3(1914)年1月1日	北海道タイムス合資会社(札幌区大通西4丁目1番地)	960-300	
3682 2	筒	1	不明	不明	450-300	寸法は広げた状態で計った。裏紙に「札幌支庁御中」の文字あり
3682 3	書	1	不明	雲岳達人	330-1300	3632-3、3632-4、3632-5は3枚重ねて巻いた状態で保存
3682 4	明治天皇陛下御宸筆	1	不明	東京印刷局	370-660	3632-3、3632-4、3632-5は3枚重ねて巻いた状態で保存
3682 5	書(同仁)	1	不明	大勲位邦彦王	270-640	3632-3、3632-4、3632-5は3枚重ねて巻いた状態で保存
3682 6	筒	1	不明	明治神宮報徳会	380-38	38は直径。「明治天皇陛下御宸筆」とある。
3682 7	筒	1	不明	不明	465-45	45は直径。「豊三郎」とある。
3682 8	筒	1	不明	不明	270-40	40は直径。「台臨記念同仁会総裁久邇宮殿下御宸筆」とある。
3682 9	筒	1	不明	不明	430-45	45は直径
3682 10	書	1	不明	七十一〇成濟譯→阿部君	1320-680	
3682 11	阿部仁太郎君の受賞を祝する歌	1	不明		780-1080	受賞は受章となっている
3683 1	囑託状(厚別支会理事)	1	明治33(1900)年2月27日	北海道興産会総裁正三位侯爵菊亭修季→阿部初太郎	270-366	
3683 2	囑託状(接待・会員募集委員)	1	明治39(1906)年2月3日	北海道物産共進会協賛会会長農學博士佐藤昌介→阿部仁太郎	234-318	
3683 3	囑託状(北海道興産会会長)	1	明治39(1906)年7月12日	北海道興産会総裁正三位伯爵正親町実行→名譽会員阿部仁太郎	243-320	
3683 4	囑託状(北海道興産会副会長)	1	明治42(1909)年7月12日	北海道興産会総裁従二位勲四位伯爵正親町実行→浅羽靖	263-365	
3683 5	推薦状(北海道興産会副会長)	1	大正4(1915)年7月15日	北海道興産会→阿部仁太郎	270-393	
3683 6	推薦状(白石村農産米検査顧問)	1	大正4(1915)年11月1日	白石村農会→白石村農会長阿部仁太郎	270-196	
3683 7	囑託状(北海道産米二百万石祝賀会本委委員)	1	大正4(1915)年11月4日	北海道産米二百万石祝賀会会長中川健蔵→阿部仁太郎	224-305	
3683 8	当選状(白石村農会役員改選代表者)	2	明治43(1910)年1月24日	白石村農会→阿部初太郎	246-330	同文が2枚
3683 9	慰労状(陸軍糧秣廠へ燕麥納入への尽力につき慰労金拾円贈呈)	1	大正3(1914)年11月26日	白石村農会→白石村農会長阿部初太郎	272-200	
3683 10	給与状(職務勉勵ニ付為其賞金貳拾五円)	1	大正4(1915)年12月28日	白石村農会→会長阿部仁太郎	273-200	
3683 11	給与状(職務勉勵ニ付其賞金拾円)	1	大正4(1915)年12月28日	白石村農会→会長阿部仁太郎	273-200	
3683 12	給与状(職務格別勉勵ニ付為其賞金貳拾円)	1	大正5(1916)年12月25日	白石村農会→農会長阿部仁太郎	270-197	
3683 13	給与状(職務格別勉勵ニ付為其賞金六円)	1	大正6(1917)年12月27日	白石村農会→阿部仁太郎	270-197	
3683 14	給与状(職務勉勵ニ付為其賞金參拾五円)	1	大正7(1918)年12月20日	白石村農会→会長阿部仁太郎	240-160	
3683 15	給与状(職務勉勵ニ付為其賞金參拾五円)	1	大正8(1919)年12月22日	札幌郡白石村農会→阿部仁太郎	195-270	
3683 16	給与状(職務勉勵ニ付為其賞金參拾四円)	1	大正9(1920)年12月10日	札幌郡白石村農会→農会長阿部仁太郎	270-195	
3683 17	給与状(職務勉勵ニ付為其賞金拾円)	1	大正10(1921)年12月21日	札幌郡白石村農会→農会長阿部仁太郎	270-195	
3683 18 1	封筒	1	不明	札幌農会→阿部仁太郎	280-90	
3683 18 2	目録(侯爵菊亭修季以下46名)	1	不明	不明	352-786	何の目録か不明
3683 18 3	目録(木村晴以下18名)	1	不明	不明	416-787	
3683 18 4	会員姓名(大谷長七以下67名)	1	不明	不明	367-490	
3683 19	綴り(札幌農会の発足や会の組織概要について)	1	不明	不明	247-175	綴り
3683 20	推薦書(石狩支庁管内に物産販売所を開設致すに就ては貴下を相談役に推薦)	1	年不明12月13日	札幌区四郡農会長増田穎→阿部仁太郎	197-765	封筒1、便箋1

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3683 21	書簡(菊亭修季発士方久元宛書簡の写)	1	年月不明 26日	菊亭修季→阿部仁太郎	177-310	封筒1、状2
3683 22	辞職書(北海道農会会長)	1	明治32(1899)年10月9日~16日	菊亭修季→阿部仁太郎	240-330	封筒1、便箋4
3683 23	北海道興産会規則	1	明治35(1902)年1月12日	不明	270-390	OA175-2
3683 24	明治三十三年十月辞令割印簿 北海道興産会	1	明治33(1900)年10月~明治34(1901)年1月12日	阿部仁太郎→菊亭修季	240-170	冊、表紙はがけ 第八回物産品評会の結果と 總裁菊亭修季への上申
3683 25	感謝状(馬匹共進会、工業品品評会開催に際し委員囑託に付)	1	大正元(1912)年9月20日	第四回北海道畜産共進会、第二回北海道馬匹共進会、札幌工業品品評会協賛会会長青木定謙→阿部仁太郎	200-530	封筒1、便箋1
3683 26	組合副長当選認可通知(札幌区外五郡産馬畜産組合)	1	大正8(1919)年7月2日	札幌区外五郡産馬畜産組合組合長持田也→阿部仁太郎	240-320	
3683 27	当選通知書(札幌産牛畜産組合評議員任期満了に伴ふ改選)	1	大正8(1919)年7月31日	札幌産牛畜産組合長宇都宮仙太郎→阿部仁太郎	226-315	
3683 28	綴り(札幌郡豊平上白石白石平岸月寒五村各産物品品評会授賞状写一括)	1	明治24(1891)年11月13日~明治44(1911)年1月4日	山崎清躬他→阿部仁太郎	240-160	賞状、感謝状等の綴。
3683 29	通知書(第二十九回農産物品品評会に米穀出品の件)	1	明治26(1893)年2月12日	勸農協会→阿部仁太郎	240-340	
3683 30	農商務省指令農第八三七一号(北海道興産会法人と為すの件聞届け難し)	1	明治33(1900)年12月18日	農商務大臣林有造→阿部仁太郎	280-200	農商務省用箋
3683 31	封筒	1	(明治30年代か?)	歩兵□□□□□補充大隊→阿部仁太郎	230-95	封筒のみ
3683 32	書簡	1	大正2(1913)年3月15日	北海道凶作救済会会長堀内秀太郎→阿部仁太郎	180-495	封筒あり
3683 33	書簡(北海道物産共進会開催二付、地方委員囑託致度)	1	明治38(1905)年12月27日	北海道物産共進会会頭勇爵園田安賢→阿部仁太郎	200-520 200-520	封筒1、便箋1
3683 34	囑託状(庶務係)	1	大正6(1917)年8月28日	開道五十年記念北海道博覧会札幌区協賛会会長阿部字之八→幹事阿部仁太郎	200-440	封筒あり
3683 35	書簡(産米検査実施候二付ハ同標準査定会ニ依リ貴下ニ査定目ヲ囑託)	1	大正7(1918)年10月9日	札幌外四郡農会会長渡部守□→白石村候会長阿部仁太郎	190-510	
3683 36	囑託状(国産振興博覧会石狩支庁管内出品協会の副会長)	1	大正15(1926)年5月3日	国産振興博覧会石狩支管内出品協会会長近藤喜寛→阿部仁太郎	278-200	
3683 37	囑託状(北海道農産物取引格差協定会米穀部会協定委員)	1	昭和4(1929)年9月14日	大日本米穀会北海道支部→北海道農会代表阿部仁太郎	270-190	
3683 38	謝状(御力ニ依リ本会ハ幸ニ事業之目的ヲ達シ…)	1	明治25(1892)年8月31日	協賛会→阿部仁太郎	195-482	
3683 39 1	封筒	1	年不明10月8日	菊亭修季→阿部仁太郎	260-90	3683-39を枝番を付けて3つに分けた
3683 39 2	招待状(第式回亜麻大麻茎品評会表彰授与式)	1	明治34(1901)年4月11日	北海道製麻株式会社取締役兼支配人宇野保太郎→阿部仁太郎	210-256	3683-39を枝番を付けて3つに分けた
3683 39 3	書簡(農況視察の為御当地へ参上仕り云々)	1	明治34(1901)年4月3日	東京人造肥料株式会社社員森要太郎、小山二郎→阿部仁太郎	200-550	3683-39を枝番を付けて3つに分けた
3683 40 1	貸付地付与願(月寒村)	1	明治38(1905)年7月20日	阿部仁太郎→北海道庁長官	240-162	封筒と他関連するものが6枚
3683 40 2	北海道庁札幌支庁命令書	1	明治43(1910)年8月28日	白石村安斉貞睦、平岸村重延久太郎→阿部仁太郎	220-80 240-165	封筒1、命令書1
3683 41	書簡(四ヶ村連合用水組合員一同申合せ)	1	明治44(1911)年1月4日	伏見宮附家枝→北海道札幌興産会会長阿部仁太郎	215-85 197-525	封筒1、便箋1
3683 42	書簡(御培養の林檎空箱御献上により)	1	明治39(1906)年12月12日	北海道庁支庁長齋藤親広→阿部仁太郎	215-85 280-400	封筒1、便箋1(伏見宮用箋)
3683 43	書簡(御嗜好の林檎空箱を御献上により)	1	明治44(1911)年12月26日	伏見宮附家御牧基賢→阿部仁太郎	281-399	伏見宮用箋
3683 44	書簡(貴地産林檎空箱を例年通り御献上により)	1	大正元(1912)年12月24日	伏見宮附家令御牧基賢→北海道札幌興産会会長阿部仁太郎	235-95 192-663	封筒1、用紙1
3683 45	書簡(貴地産林檎空箱を御献上により)	1	大正3(1914)年12月21日	伏見宮附宮内事務官御牧基賢→北海道興産会会長阿部仁太郎	294-413	封筒1、便箋1(伏見宮用箋)
3683 46	書簡(燻製鮭志尾御恵に対する返礼)	1	明治41(1908)年3月13日	正親町実正→北海道興産会会長阿部仁太郎	240-85 172-1278	封筒1、便箋1
3683 47	上申書(名誉会員、報賞、寄付の件)	1	明治45(1912)年7月9日	北海道興産会会長阿部仁太郎→北海道興産会総裁従二位勲三等伯爵正親町実正	200-85 242-334	封筒1、内容物3
3683 48	書簡(御祝の印として金一門のこと)	1	昭和13(1938)年9月2日	侯爵菊亭公長→興産会々々長阿部仁太郎	210-85 180-754	封筒1、用紙1
3683 49	書簡(札幌支店移転につき御挨拶の件)	1	大正11(1922)年1月10日	株式会社北海道銀行専務取締役長谷川直義→白石村農会会長阿部仁太郎	255-90 194-525	封筒1、用紙1

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3683 50	書簡(用務につき式に参場致し兼ねること)	1	年不明9月22日	高岡直吉→北海道興産会長阿部仁太郎	210-80 182-540	封筒1、用紙1
3683 51	書簡(先約につき物産品評会賞章授与式に参列致し兼ねること)	1	年不明11月29日	園田安賢→阿部仁太郎	174-476	封筒なし
3683 52	挨拶状(自由党遊説への協力に対する感謝)	1	年不明8月9日	板垣退助他6名→阿部仁太郎	179-893	差出人は板垣退助、松田正久、林有造、星亨、未松謙澄、江原素六、片岡健吉
3683 53	会員之証(第二号)	1	明治24(1891)年10月25日	札幌農会→豊平村阿部仁太郎	181-137	
3683 54	備忘録(三十一年辞令ナシ)	2	不明	不明	241-165	陸軍糧秣本廠札幌派出所宛の請求書の裏に書かれている。(明治四十□年の用紙)
3683 55 1	封筒	1	明治28(1895)年9月6日	北海道庁内協賛会北海道支部→阿部仁太郎	350-140	封筒のみ
3683 55 2	封筒	1	不明	北海道燕麦生産代表者連合会→阿部仁太郎	265-241	封筒のみ
3683 55 3	第二期夏期事業(第五章救済方法、第六章会計)	1	不明	不明	258-365	「券務者賃金台帳様式」の裏に書かれている
3684 1	綴り(契約書・請書等往復書類)	1	明治13(1880)年~明治30(1897)年	多数	175-280	OA360-1~OA360-102
3684 2	念証書	1	明治19(1886)年11月15日	河内賢一→阿部仁太郎	250-340	
3684 3	念証書	1	明治19(1886)年6月2日	河内賢一→阿部仁太郎	242-321	
3684 4	改印御届控へ	1	明治19(1886)年5月25日	阿部仁太郎→豊平外四ヶ村戸長役場	250-335	
3684 5	豊平町阿部様材料調書	1	大正15(1926)年2月	星野信治→阿部様	250-175	
3684 6	綴り(売渡証書・契約書・念書・領収証)	1	明治41(1908)年~明治45(1912)年	多数	280-200	
3684 7	保険証券第11639522号証文	1	大正4(1915)年1月28日	リパブル、エンド、ロンドン、エンド、グローブ保険株式会社→阿部仁太郎	550-830	OA178
3684 8	当座預金差引金勘定書(5点)、当座預金約定証	1	明治26(1893)年6月20日	札幌、三井銀行→阿部仁太郎	275-195	
3684 9	委任状(部代理人)	1	不明	札幌区南一条東二丁目十二番地佐藤平吉→阿部仁太郎	245-170	OA561
3684 10	約定証(阿部農場建設家屋買入代金)	1	明治29(1896)年10月1日	大谷多助→阿部仁太郎	240-330	OA552
3684 11	委任状(北海道炭礦鉄道株式会社臨時土費請取方)	1	明治29(1896)年6月29日	札幌区北三条東三丁目二番地佐藤平吉→阿部仁太郎	240-302	
3684 12	和解契約証(所有財産二対スル約権事件和解)	1	明治28(1895)年8月17日	加藤栄太郎、加藤ミサ→なし	247-170	OA540
3684 13	馬券証券書(栗毛社馬志頭)	1	明治28(1895)年5月2日	豊平村社馬地行方次郎→阿部仁太郎	235-315	OA538
3684 14	一馬車二輪車購入契約書	1	明治28(1895)年3月	契約主屯田兵副官小泉正保、請負人川越竹次郎、保証人阿部仁太郎→なし	275-200	OA535
3684 15	念書(屯田司令部ヨリ請取ル可キ金、自分宮澤商店へ納セシ契約書ニ関セズ御請取被下度)	1	明治28(1895)年3月2日	川越竹次郎→阿部仁太郎	240-255	OA534
3684 16	契約書(別紙川越竹次郎出、宮澤商店宛ノ鉄物注文書及ヒ売買契約条項書ニヨリ契約ヲ締結、双方各々通シ領置)	1	明治28(1895)年3月6日	買人川越竹次郎、売人宮澤商店、買人保証人阿部仁太郎→なし	240-165	OA532
3684 17	差引残金・積り書キ□・積り書	1	明治28(1895)年7月25日	菅井貞助→阿部仁太郎	235-160	OA531
3684 18	馬売渡書・履歴書(馬の履歴)	1	明治28(1895)年4月8日	行方次郎→阿部仁太郎	235-160	OA537
3684 19	古薪売上約定書	1	明治28(1895)年2月23日	佐藤鉄造→阿部仁太郎	235-335	OA530
3684 20	角□出シ及運搬請負書	1	明治28(1895)年2月13日	石狩国札幌郡白石村字厚別久富鶴治太郎→阿部仁太郎	245-165	OA521
3684 21	櫛木売渡シ約定	1	明治28(1895)年8月9日	白石村番外地潤野半平→阿部仁太郎	240-330	OA528
3684 22	薪売上約定書	1	明治27(1894)年12月20日	佐藤鉄造→阿部初太郎	235-335	OA524
3684 23	薪買入約定書	1	明治27(1894)年12月21日	阿部初太郎→佐藤様	240-310	OA523
3684 24	大麦挽割売上約定証	1	年不明12月11日	古館金太郎→阿部仁太郎	245-320	OA522
3684 25	契約書写(瀬川兼松達テノ依頼ニ依リ石狩国雨竜郡菊亭修季貸下地内ニ於テ木材伐採ノ事ニ関シ双方承諾)	1	明治27(1894)年6月	札幌郡平岸村壱番地本約人瀬川兼松、全部保証人阿部仁太郎→菊亭修季代理人田中富業	240-165	OA517
3684 26	約定書(引割麦参拾石代価)	1	明治27(1894)年4月14日	古館金太郎→阿部仁太郎	244-336	OA516
3684 27	立木買受証	1	明治27(1894)年2月11日	豊田安次郎→阿部仁太郎	210-295	OA514
3684 28	立木売渡代金請取取証ほか	1	明治27(1894)年2月4日	阿部仁太郎→不明	245-170	OA513

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3684 29	積書(四拾貳円也、石造 窓棟六尺高八尺)	1	明治 27 (1894) 年 1 月 2 日	滝本岩吉→阿部仁太郎	270-380	OA510
3684 30	炭礦鉄道会社雇來岐線ニ 於テ利上納御請書	1	明治 27 (1894) 年 1 月 2 日~ 明治 27 (1894) 年 8 月 18 日	札幌区南四条東貳丁目十一番地若狭千代 吉→阿部仁太郎	250-165	OA509 ①~OA509 ③、1 綴
3684 31	馬売渡書証	1	明治 27 (1894) 年 2 月 22 日	行方次郎→阿部仁太郎	245-330	OA508
3684 32	詳細不掲載					
3684 33	栗売上約定書	1	明治 26 (1893) 年 12 月 23 日	札幌区北三条東二丁目市橋喬造→阿部仁 太郎	247-330	OA506
3684 34	馬売渡シ書ノ証	1	明治 26 (1893) 年 10 月 22 日	札幌郡豊平村今村太吉→中村菊松	245-335	OA504
3684 35	馬売渡シ証	1	明治 26 (1893) 年 10 月 21 日	札幌郡白石村番外地湖野半平→札幌郡豊 平村阿部仁太郎	250-310	OA503
3684 36	返念証(馬、馬車五点)	1	明治 26 (1893) 年 6 月 18 日	中村菊松→豊平村四番地阿部仁太郎	246-170	OA502
3684 37	御請書(金貳百四拾六円 五拾五銭六厘ほか)	1	明治 26 (1893) 年 8 月 25 日	札幌区南四条東貳丁目十一番地若狭千代 吉→阿部帳場	247-170	OA498
3684 38	御請書(金拾五円)ほか	1	明治 25 (1892) 年 3 月 19 日 ~5 月 1 日	札幌区南四条西三丁目六番地大坂多平→ 豊平尋常小学校建築係	246-165	OA455~OA461
3684 39	証(北海道炭礦鉄道会社 先込石材代金請取方委任 ほか)	1	明治 24 (1891) 年 10 月 1 日 ~12 月 22 日	札幌区南五条東三丁目十番地佐藤平吉 →阿部仁太郎	249-170	OA449
3684 40	約定証(炭焼雇れ人から の謝罪約定書)	1	明治 24 (1891) 年 9 月 28 日	高田安右衛門、佐々木市之助他 11 名→阿 部仁太郎(?)	247-165	OA448
3684 41	委任状(阿部仁太郎へ)	1	明治 24 (1891) 年 7 月 1 日	佐藤平吉	250-337	
3684 42	証	1	明治 24 (1891) 年 7 月 1 日	佐藤平吉→阿部仁太郎	249-175	OA436-1~OA436-6 9 枚が 1 綴
3684 43	証	1	明治 24 (1891) 年 6 月 15 日	仙谷鉄平保証人仙谷仙吉→阿部	245-170	OA435
3684 44	証	1	明治 16 (1883) 年 12 月 4 日	野津筑路→阿部仁太郎	240-295	OA361
3684 45	約定証	1	明治 20 (1887) 年 9 月 13 日	北海道製麻会社支配人徳見浮三郎→阿部 仁太郎	270-385	OA362
3684 46	売渡証書	1	明治 22 (1889) 年 8 月 14 日	本庄栄次郎→阿部仁太郎	245-165	
3684 47	委任状	1	明治 21 (1888) 年 2 月 10 日	佐藤平吉→阿部仁太郎	240-335	OA401
3684 48	綴り(交換約定証、証)	1	明治 20 (1887) 年 12 月 25 日	佐藤平吉、玉井浜一→阿部仁太郎	490-335	OA402
3684 49	証	1	明治 22 (1889) 年 2 月 20 日	滝田孝義→阿部仁太郎	236-325	OA403
3684 50	依頼書	1	明治 22 (1889) 年 5 月	佐藤平吉、安□新三郎→阿部仁太郎	250-330	OA410
3684 51	委任状	1	明治 22 (1889) 年 5 月	佐藤平吉→阿部仁太郎	246-345	OA411
3684 52	委任状	1	明治 22 (1889) 年 5 月 9 日	佐藤平吉→阿部仁太郎	242-330	OA412
3684 53	約定証	1	不明	佐藤□□→阿部仁太郎	242-170	OA414
3684 54	綴り(証書、草木売渡証、 約定書)	1	明治 23 (1890) 年 6 月 7 日	清野要之進(札幌区南三条西四丁目九番 地)→阿部仁太郎	258-173	OA422-1~OA422-3 証 書 3 通を一冊に綴じてい る。
3684 55	委任状	1	明治 22 年	佐藤平吉(札幌区南三条西四丁目三番地)	241-313	
3684 56	証	1	年不明 4 月 20 日	□野□平→阿部仁太郎、阿部啓治	245-342	OA423
3684 57	証書	1	明治 23 (1890) 年 8 月 7 日	中村菊松→阿部仁太郎	245-165	OA424
3684 58	金門借用証	1	明治 23 (1890) 年 9 月 1 日	清水(か?)次郎→阿部初太郎	244-335	OA425
3684 59	売渡代金請取証	1	明治 23 (1890) 年 11 月 10 日	浅井吉太郎→阿部仁太郎	248-330	OA426
3684 60	委任状	1	明治 23 (1890) 年 12 月 8 日	佐藤平吉→阿部仁太郎	245-330	OA429
3684 61	約定書	1	明治 23 (1890) 年 12 月	藤原長治郎→阿部仁太郎	245-165	OA429
3684 62	公立水面使用願	1	明治 24 (1891) 年 1 月 15 日	阿部仁太郎、佐藤珍平、舟橋八五郎、菊 地武夫、佐藤平吉、小泉信定、日下茂春 →渡辺千秋	245-165	OA431
3684 63	規約書	1	明治 24 (1891) 年 5 月 11 日	阿部仁太郎以下 14 名連名	245-170	
3684 64	規約積金簿	1	不明	不明	240-168	OA433
3684 65	急告	1	明治 24 (1891) 年 5 月 20 日	田中□之□→阿部仁太郎、他 1 名	244-328	OA434
3684 66	委託証	1	明治 24 (1891) 年 7 月 7 日	佐藤平吉→阿部仁太郎	246-336	OA438
3684 67	約定証書	1	明治 24 (1891) 年 9 月 2 日	(宛主) 小森松太郎→阿部仁太郎	245-294	OA441
3684 68	約定証書	1	明治 24 (1891) 年 9 月 2 日	(買主) 中村菊松	244-251	OA442
3684 69	委任状	1	明治 24 (1891) 年 9 月 5 日	佐藤平吉→阿部仁太郎	245-330	OA444
3684 70	馬売渡証	1	年不明 9 月 10 日	行方治三郎→阿部仁太郎	245-330	OA445
3684 71	仮証[カ]	1	明治 24 (1891) 年 9 月 25 日	菅村来吉→阿部仁太郎	261-153	OA447
3684 72	副書	1	明治 25 (1892) 年 2 月 10 日	佐藤平吉→阿部仁太郎	241-332	OA450
3684 73	念証書	1	明治 27 (1894) 年 4 月 10 日	(保証人) 高野□□→阿部仁太郎	241-321	OA453
3685 1	短冊、封筒	1	明治 37 (1904) 年 5 月 12 日	前大納言正二位伯爵園基祥	360-60	短冊 8 枚、封筒 1 枚
3685 2	社交倶楽部 第三集	1	明治 38 (1905) 年発行、明治 39 (1906) 年 12 月 10 日増補 三集	函館・博文社	225-150	
3685 3	日露戦争実記 四版	1	明治 38 (1905) 年発行	東京・博文館	220-150	
3685 4 1	営利栽培有望果樹種類解 説 附苗木定価	1	大正 5 (1916) 年 9 月改訂	千葉・錦果園	220-150	
3685 4 2	明如上人絵伝	1	昭和 10 (1935) 年 4 月発行	明如上人法要事務所	190-130	

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3685 5 1	名産岩国縮	1	不明	不明	260-330	
3685 5 2	SUN (商品ラベル)	1	不明	SELLE'S HERMANOS Kobe and Tokio	115-170	
3685 6 1	夕刊 札幌毎日新聞	1	明治 45 (1912) 年 7 月 15 日	札幌毎日新聞社	540-785	OA758 4 頁
3685 6 2	鶴駕奉迎記念号 北世界一 号	1	明治 44 (1911) 年 8 月 1 日	札幌・北世界社	385-270	25 頁
3685 7 1	北海タイムス号外	1	昭和 11 (1936) 年 9 月 29 日	北海タイムス社	545-410	昭和天皇北海道行幸の記事
3685 7 2	包み紙 (父履歴ニ関スル モノ)	1	大正 14 (1925) 年 1 月 25 日	不明	540-810	小樽新聞の 5、6、11、12 頁 を包み紙に
3685 8 1	夕刊小樽新聞	1	昭和 11 (1936) 年 9 月 23 日	小樽新聞株式会社	540-810	4 頁
3685 8 2	北海タイムス	1	昭和 11 (1936) 年 9 月 22 日	北海タイムス社	540-810	3、4、5、6 頁
3685 8 3	北海タイムス	1	昭和 11 (1936) 年 9 月 23 日	北海タイムス社	540-810	1、2、7、8 頁
3685 9	書簡	1	大正 4 (1915) 年 4 月 22 日	日高国幌泉村一色謙 (広島村長経験者) →札幌区豊平町阿部初太郎	210-80 240-330	封筒1、便箋1 御賢父 (初 代仁太郎) 死去のおくやみ 文
3685 10	書簡	1	大正 4 (1915) 年 4 月 24 日	大連市・南部□治→札幌区白石町一番地	210-85 180-1100	封筒1、便箋1 初太郎の 父死去へのお悔やみ
3685 11	書簡	1	大正 4 (1915) 年 4 月 20 日	後志国美国郡美国町宇幌武意加藤初太郎 →札幌区豊平町阿部仁太郎	200-80 240-170	封筒1、便箋1 加藤用斐
3685 12	書簡	1	大正 4 (1915) 年 4 月 29 日	岩内郡島野村坂本鉄三郎→白石町一番地 阿部初太郎	200-80 180-1100	封筒1、便箋1
3685 13	書簡	1	大正 4 (1915) 年 4 月 22 日	美国郡幌武意奈良たま子→豊平町阿部仁 太郎	200-80 180-890	封筒1、便箋1
3685 14	書簡	1	大正 4 (1915) 年 4 月 23 日	越前区飯田町六丁目廿四浅羽一郎→豊平 町阿部仁太郎御遺族様	220-90 180-700	封筒1、便箋1
3685 15	賞状 (陸軍功勞賞)	1	明治 32 (1899) 年 12 月 15 日	歩兵第 25 連隊第一大隊第一中隊長陸軍 歩兵大尉従六位勲六等米津逸三→陸軍歩 兵軍曹角田盛人	200-270	
3685 16	書簡 (賞状交付録)	1	不明	菊亭修季→阿部仁太郎	210-80 240-340 240-340	封筒1、便箋2、19 名記入
3685 17	書簡	1	年不明 1 月 11 日	和田為芳→阿部君	220-80 240-330	封筒1、便箋1
3685 18	年金継受領	1	明治 38 (1905) 年 6 月	阿部仁太郎親族阿部仁太郎方角田盛人寡 婦角田トヨ→賞勲局総裁子爵大給恒	280-200 280-200	
3685 19 1	(勲章拝受御届)	1	明治 39 (1906) 年 12 月 20 日	陸軍子備歩兵上等兵勲八等阿部豊三郎→ 札幌連隊区司令官米津逸三	240-320	
3685 19 2	勲章佩用心得 附叙勲者 履歴届出心得	1	明治 28 (1895) 年 7 月	賞勲局	220-150	10 頁
3685 19 3	訓示	1	明治 39 (1906) 年 8 月 23 日	陸軍大臣寺内正毅	270-200	
3685 19 4	祝儀袋 (三等賞)	1	不明	不明 (札幌□芸共進会)	315-130	
3686 1	昭和天皇写真	1	不明	不明	375-270	北海道大演習時か? 3686-1 と 3686-2 は同じ
3686 2	昭和天皇写真	1	不明	不明	375-270	北海道大演習時か? 3686-1 と 3686-2 は同じ
3686 3	昭和天皇一家肖像	1	昭和 13 (1938) 年 1 月 1 日	清水良雄 (謄画)	383-266	昭和天皇御尊影謄写『婦人 倶楽部』第 19 巻第 1 号 (新年 号) 謹附
3686 4	昭和天皇一家肖像 (照宮 殿下第一回御誕辰)	1	不明	不明	290-380	昭和天皇の第一皇女の第一 回誕生日
3686 5	昭和天皇夫婦肖像	1	昭和 3 (1928) 年 11 月 10 日	馬場射地 (謄画)	307-454	『北海タイムス』第 13540 号附録
3686 6	摂政宮殿下御真影	1	大正 11 (1922) 年 7 月 6 日	不明	378-288	『北海タイムス』第 11303 号附録
3686 7	良子女王殿下御写真 (摂 政宮殿下御婚儀記念)	1	大正 12 (1923) 年 7 月 8 日	不明	378-286	『北海タイムス』第 11657 号
3686 8 1	摂政宮御歌	1	不明	東宮侍従長入江為守	237-202	
3686 8 2	孝明天皇三十年御堂祭遠 拝式札幌奉行会委員一覧 表	1	不明	不明	273-398	孝明天皇三十年御堂祭遠 拝式は明治 30 (1897) 年 3 月 20 日に実施
3686 9	献北海道模型記	1	明治 28 (1895) 年 4 月 30 日	協賛会幹事西村捨三	343-371	
3686 10	写真 (御屏右面)	1	不明	丸木利陽 (写真版)	355-448	屏風は天賞堂江沢製
3686 11	写真 (御屏左面)	1	不明	丸木利陽 (写真版)	355-448	屏風は天賞堂江沢製
3686 12	写真 (大婚二十五年奉祝)	1	明治 27 (1894) 年 3 月	丸木利陽 (写真版)	447-353	
3686 13	設計図	1	不明	不明	304-460	
3686 14	大正天皇夫婦写真 (御大 婚二十五年祝典記念)	1	大正 14 (1925) 年 5 月 10 日	不明	386-515	『北海タイムス』第 12304 号 附録 3686-14 と 3686-15 は同じ
3686 15	大正天皇夫婦写真 (御大 婚二十五年祝典記念)	1	大正 14 (1925) 年 5 月 10 日	不明	386-515	『北海タイムス』第 12304 号 附録 3686-14 と 3686-15 は同じ
3686 16	公会堂 (豊平館) 増設設 備計画図 (階下平面図)	1	不明	不明	390-487	3686-16 と 3686-17 は連続 する資料

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3686 17	公会堂(豊平館)増設設備計画図(地下室、階上)	1	不明	不明	391-486	3686-16と3686-17は連続する資料
3686 18	設計図	1	不明	(星野信治)	518-760	星野信治の横に札幌市南五条東一丁目四番地とある
3686 19 1	我国体之尊厳図	1	大正5(1916)年5月10日	(金光大陣)→(阿部家)	1515-530	著者は佐藤範雄 3686-19-1と3686-19-3は同じ
3686 19 2	(御大典記念贈呈)	1	不明	国体神勅普及会々々長金光教管長大教主金光大陣→(阿部家)	168-67	3686-19-2と同じものが3686-19-3に糊付けされている
3686 19 3	我国体之尊厳図	1	大正5(1916)年5月10日	(金光大陣)→(阿部家)	1515-530	著者は佐藤範雄 3686-19-1と3686-19-3は同じ。3686-19-2と同じものが3686-19-3に糊付けされている。
3687 1	罷免状(豊平郵便受取所取扱人)	1	明治31(1898)年9月17日	札幌郵便電信局→阿部初太郎	272-197	
3687 2	任命状(三等郵便局長)	1	明治31(1898)年9月17日	不明→阿部初太郎	228-308	
3687 3	任命状(厚別郵便局長)	1	明治31(1898)年9月17日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	228-308	
3687 4	給与状(慰労金4円)	1	明治31(1898)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	272-196	
3687 5	任命状(三等郵便電信局長)	1	明治33(1900)年11月21日	不明→三等郵便局長阿部初太郎	227-307	
3687 6	給与状(五級手当)	1	明治33(1900)年12月10日	通信省→三等郵便電信局長阿部初太郎	228-309	
3687 7	任命状(厚別郵便電信局長)	1	明治33(1900)年11月21日	通信省→三等郵便電信局長阿部初太郎	227-308	
3687 8	給与状(慰労金拾二円)	1	明治33(1900)年12月15日	通信省→三等郵便電信局長阿部初太郎	273-199	
3687 9	給与状(慰労金拾二円五拾銭)	1	明治35(1902)年12月15日	通信省→三等郵便電信局長阿部初太郎	271-196	
3687 10	給与状(慰労金拾老円)	1	明治36(1903)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	268-192	
3687 11	任命状(三等郵便局長)	1	明治38(1905)年4月1日	不明→阿部仁太郎	228-308	
3687 12	給与状(慰労金拾老円)	1	明治37(1904)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	267-195	
3687 13	任命状(豊平村郵便局長)	1	明治38(1905)年4月1日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	227-308	
3687 14	給与状(慰労金拾式円賞与)	1	明治40(1907)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	271-197	
3687 15	囑託状(本会会長)	1	明治39(1906)年11月20日	第五部内第一通信事務員法規研究会→石狩国厚別郵便局長阿部初太郎	271-197	
3687 16	給与状(慰労金拾式円)	1	明治39(1906)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	271-197	
3687 17	給与状(四級手当)	1	明治39(1906)年12月20日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	228-310	
3687 18	給与状(金二十円下賜)	1	明治39(1906)年4月1日	賞勳局総裁從二位勲一等子爵大給恒→三等郵便局長阿部初太郎	228-310	明治三七・八年事件ノ功ニ依リ
3687 19	給与状(慰労金拾参円五拾銭賞与)	1	明治41(1908)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	281-197	
3687 20	給与状(手当金式拾式円)	1	明治42(1909)年11月10日	通信省→元三等郵便局長阿部初太郎	273-196	
3687 21	罷免状(依頼免本官)	1	明治42(1909)年11月10日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	230-310	
3687 22	感謝状(銀壺一組贈呈)	1	明治43(1910)年10月5日	不明→阿部初太郎	241-325	
3687 23	任命・給与状(厚別郵便局長・五級手当)	1	明治45(1912)年5月24日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	277-197	
3687 24	任命状(三等郵便局長)	1	明治45(1912)年5月24日	不明→阿部初太郎	227-311	
3687 25 1	給与状(慰労金八円賞与)	1	大正2(1913)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	279-199	
3687 25 2	給与状(参円賞与)	1	大正3(1914)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部初太郎	271-199	
3687 25 3	給与状(賞金五円)	1	大正3(1914)年12月20日	札幌郡白石村農会→会長阿部初太郎	272-197	
3687 26	給与状(貳円六拾銭賞与)	1	大正5(1916)年12月15日	北海道通信局→通信事務員阿部光太郎	260-189	
3687 27	封筒	1	不明	郵便為替貯金管理所→石狩国札幌豊平郵便為替取扱所	203-306	
3687 28	封筒	1	不明	郵便為替貯金管理所→石狩国札幌豊平郵便為替取扱所	203-306	
3687 29	封筒	1	不明	不明→豊平受取所	296-227	
3687 30	封筒	1	不明	不明→豊平受取所	312-230	
3687 31	封筒	1	不明	札幌区→豊平受取所	342-232	
3687 32	罷免状(依頼免本官)	1	明治43(1910)年7月21日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	277-196	
3687 33	給与状(手当金式拾円)	1	明治43(1910)年7月21日	通信省→元三等郵便局長阿部仁太郎	271-197	
3687 34	給与状(六円賞与)	1	大正4(1915)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	271-198	
3687 35	給与状(六円賞与)	1	大正5(1916)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	278-198	
3687 36	給与状(慰労金九円)	1	大正6(1917)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	277-197	
3687 37	給与状(慰労金15円)	1	大正7(1918)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	277-199	OA648-①-OA648-②
3687 38	給与状(三級手当)	1	大正9(1920)年12月20日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	279-191	
3687 39	給与状(参拾四円賞与)	1	大正9(1920)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	280-198	
3687 40	給与状(参拾四円賞与)	1	大正10(1921)年12月15日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	277-193	

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3687 41	給与状(慰勞金四拾五円賞与)	1	大正 11 (1922) 年 12 月 15 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	272-195	
3687 42	給与状(苞円)	1	大正 11 (1922) 年 12 月 20 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	276-197	国債売出力ニ付き
3687 43	給与状(二級手当)	1	大正 12 (1923) 年 12 月 20 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	282-203	
3687 44	給与状(慰勞金四拾五円)	1	大正 13 (1924) 年 12 月 15 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	274-198	
3687 45	給与状(慰勞金五拾円)	1	大正 14 (1925) 年 12 月 15 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	274-194	
3687 46	給与状(慰勞金四拾五円)	1	大正 15 (1926) 年 12 月 15 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	272-195	
3687 47	給与状(慰勞金五拾五円)	1	昭和 3 (1928) 年 12 月 15 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	271-194	
3687 48	給与状(慰勞金五拾五円)	1	昭和 5 (1930) 年 12 月 15 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	271-194	
3687 49	給与状(慰勞金四拾五円)	1	昭和 6 (1931) 年 12 月 15 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	271-188	
3687 50	給与状(慰勞金四拾五円)	1	昭和 7 (1932) 年 12 月 15 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	267-193	
3687 51	給与状(慰勞金四拾参円)	1	昭和 8 (1933) 年 12 月 25 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	267-192	OA648-①～OA648-⑩
3687 52	任命状(厚別郵便局長)	1	昭和 10 (1935) 年 11 月 1 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	267-192	
3687 53	給与状(慰勞金四拾五円)	1	昭和 10 (1935) 年 12 月 15 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	268-192	
3687 54 1	給与状(慰勞金四拾五円)	1	昭和 13 (1938) 年 12 月 15 日	通信省→三等郵便局長阿部仁太郎	260-182	
3687 54 2	封筒	1	不明	監督課長札幌通信局長藤井崇治→厚別郵便局長	213-85	
3687 55	明治二十九年十二月為替貯金受払精算表	1	明治 29 (1896) 年 12 月 7 日	石狩国札幌厚別郵便局	334-485	OA556
3687 56	明治二十九年度為替貯金計算書	1	明治 29 (1896) 年 12 月 7 日	石狩国厚別郵便局為替貯金出納官吏阿部仁太郎→会計検査院長佐野渡	299-248	
3687 57	人事第六号(贈与物品受領額許可)	1	明治 34 (1901) 年 1 月 11 日	通信大臣原敬→三等郵便電信局長阿部初太郎	277-391	
3687 58	罷免状(依願免本官)	1	明治 45 (1912) 年 5 月 24 日	通信省→三等郵便局長内藤兼備	277-197	
3687 59	任命状(通信事務員)	1	昭和 8 (1933) 年 4 月 1 日	石狩厚別郵便局→阿部よし江	191-132	OA675
3687 60	達第四一二号(郵便貯金奨励)	1	明治 31 (1898) 年 6 月 13 日	札幌郵便電信局長小林南八→各二三等郵便電信局長、郵便受取取扱人	285-203	殖民部長山形修人→各支庁長、井上馨→安場北海道庁長官の書類が綴られている
3687 61	訓諭	1	大正 2 (1913) 年 3 月 29 日	札幌通信管理局长小森七郎	393-272	
3687 62	承諾書	1	明治 39 (1906) 年 10 月 8 日	阿部初太郎→札幌郵便電信局長吉田正秀	280-198	OA551 その他履歴書、身元証明書など全 14 枚が 1 綴
3687 63	取領書	1	明治 29 (1896) 年 12 月 1 日	羽二生春吉→厚別郵便局長阿部仁太郎	253-171	OA567-①～OA567-⑧ 領取関係書類が全 9 枚
3687 64	書簡	1	昭和 11 (1936) 年 9 月 23 日	金竹写真館→厚別郵便局長阿部仁太郎	236-164	封筒 1、便箋 1
3687 65	履歴書(阿部仁太郎)	1	明治 29 (1896) 年 8 月 1 日	阿部仁太郎→札幌郵便電信局長□□□□	242-165	OA587
3687 66	任命状(臨時通信事務員)	1	明治 45 (1912) 年 9 月 3 日	札幌郵便局→阿部京太郎	268-192	OA665
3687 67	罷免状(臨時通信事務員)	1	大正 2 (1913) 年 3 月 29 日	札幌郵便局→臨時通信事務員阿部京太郎	268-193	OA666
3687 68	書簡	1	明治 27 (1894) 年 9 月 4 日	阿部□□→沢田彰善	243-342	OA527
3687 69	御採用願	1	明治 31 (1898) 年 6 月 18 日	羽二生春吉、羽二生兼平→豊平郵便受取所受取人阿部初太郎	241-166	OA571 身元保証書、領取書など全 7 枚
3688 1	感謝状(御同情と御尽力に依り盛大に挙行候)	1	明治 43 (1910) 年 6 月 10 日	鉄道工場苗穂停車場開始祝賀会委員長青木定謙→阿部仁太郎	195-305	
3688 2	感謝状(金苞百円寄贈)	1	昭和 2 (1927) 年 4 月 18 日	恩賜財団済生会会長正二位勲一等公爵徳川家達→阿部仁太郎	220-305	
3688 3	表彰状(組合長就任以来勤続拾有五年、組合ノ指導發達ニ貢献、御大礼記念トシテ肖像額一面ヲ贈呈)	1	昭和 3 (1928) 年 3 月 25 日	札幌・豊平・平岸・白石・上白石五ヶ村連合用水組合→組合長阿部仁太郎	260-362	
3688 4	感謝状(金九拾四円ヲ寄附)	1	大正 15 (1926) 年 10 月 1 日	日本海員救済会理事長從四位勲三等塚原周造→阿部仁太郎	270-350	
3688 5	感謝状(札幌市豊平町本通用水路改修勞役トシテ寄附)	1	大正 14 (1925) 年 1 月 26 日	札幌市長從三位勲二等高岡直吉→札幌・豊平・平岸・白石・上白石連合用水組合長阿部仁太郎	260-360	
3688 6	表彰状(本組合創立以來役員トナリ茲ニ數年間格別精勵セラレタル功勞最大ナリトス)	1	大正 5 (1916) 年 1 月 1 日	札幌区第四十火災予防組合→北出長兵衛	270-370	
3688 7 1	約定証	1	明治 16 (1883) 年	豊平村阿部丑太郎ほか 9 名→豊平村	245-165	
3688 7 2	封筒	1	不明	北垣国道→阿部仁太郎	200-75	封筒のみ
3688 7 3	封筒	1	不明	札幌農学校創立二十五年祝賀会頭高岡直吉→阿部仁太郎	210-80	封筒のみ
3688 7 4	封筒	1	不明	不明→豊平村四番地阿部仁太郎	220-85	封筒のみ
3688 7 5	封筒	1	不明	大日本北海道農会→越智弁治	250-95	封筒のみ
3688 7 6	封筒	1	不明	北垣国道→阿部仁太郎	200-80	封筒のみ
3688 8	謝状(金拾円寄贈)	1	昭和 10 (1935) 年 10 月 1 日	帝国在郷軍人会会長陸軍大將從二位勲一等功二級鈴木莊六→阿部仁太郎	260-320	

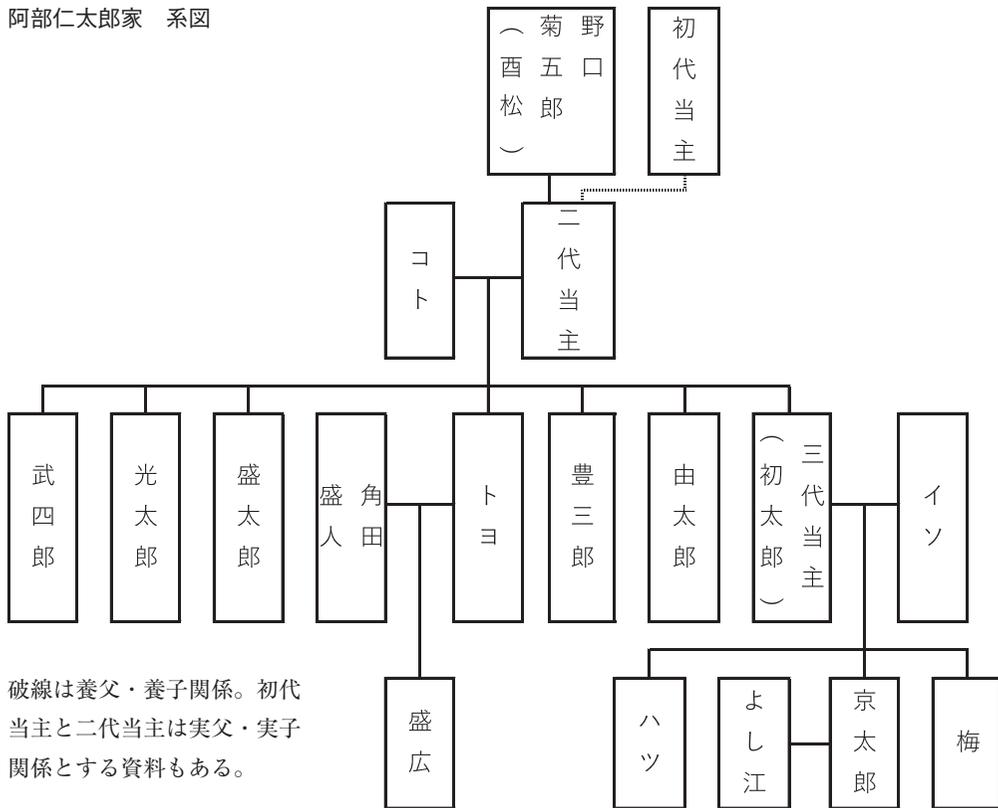
文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3688 9	感謝状(札幌警察庁倉改築工事式拾万円ノ内拾万円管内篤志寄附ニ対シ金拾円也寄附)	1	昭和9(1934)年11月17日	札幌警察署警視徒六位勲六等野口勝太郎、札幌警察署改築期成会長従四位勲三等橋本正治→阿部仁太郎	270-390	
3688 10	感謝状(組合長トシテ深甚ナル御努力ヲ給リシ事)	1	昭和8(1933)年3月24日	札幌産乳組合→阿部仁太郎	270-390	
3688 11	謝状(金壹百円ヲ提出)	1	昭和4(1929)年7月15日	豊平神社奉賛会→阿部仁太郎	270-390	御大典記念として金壹百円を提出
3688 12	感謝状(電灯架設、会社側トノ円滑ヲ計リテ)	1	昭和4(1929)年1月13日	上野幌電灯組合→阿部仁太郎	265-370	電灯架設が滞った際、会社側との円滑な交渉に尽力
3688 13	感謝状(火災予防組合佐長トシテ長年月ノ間勤努力克ク其実績ヲ挙ケラル)	1	大正5(1916)年	札幌区長阿部宇之八→札幌区第四十火災予防組合佐長阿部仁太郎	240-315	
3688 14	謝状(陸軍歩兵少尉功五級勲六等角田盛人殿戦死被成候、就テハ前記ノ金銀本会へ御寄附下難有)	1	明治38(1905)年3月19日	豊平婦人会→豊平奉公義会長阿部仁太郎	225-310	角田盛人戦死の際、豊平婦人会へ金五円寄付したことに對する謝状
3688 15	証(札幌有志大競馬後日第八競馬勝馬一着賞)	1	明治26(1893)年5月	札幌有志競馬会→阿部仁太郎	280-400	一着賞として銀壹巻額を授与
3688 16	謝状(国勢調査及失業統計調査ニ関シ御尽力)	1	大正14(1925)年12月25日	札幌市長従三位勲二等高岡直吉→阿部仁太郎	235-315	尽力に對し置時計、金一封を贈呈
3688 17	感謝状(国勢調査並失業統計調査ニ関シ尽力セラレタル)	1	大正14(1925)年12月1日	内閣統計局従四位勲二等下條康磨→阿部仁太郎	230-310	
3688 18	謝状(本事業上尽力セラルル処少カラス)	1	大正4(1915)年3月15日	日本赤十字社北海道支部→阿部初太郎	210-300	
3688 19	謝状(本事業上尽力セラルル処少カラス)	1	大正3(1914)年2月14日	日本赤十字社北海道支部→阿部初太郎	260-360	
3688 20	謝状(本事業上尽力セラルル処少カラス)	1	大正2(1913)年3月21日	日本赤十字社北海道支部→協賛委員阿部仁太郎	255-360	
3688 21	謝状(御大典記念トシテ村神豊平神社神興新調ヲ企図スルニ方リ貴下其ノ趣旨ヲ翼賛セラレ金壹百円ヲ提出)	1	昭和4(1929)年7月15日	豊平神社奉賛会→札幌・豊平外四ヶ村連合用水組合	270-390	
3688 22	表彰状(本社造営ヲ企図スルヤ貴下ハ役員トシテ尽瘁)	1	大正15(1926)年7月15日	札幌市村社豊平神社→阿部仁太郎	260-365	
3688 23	感謝状(北海道支部委員トシテ支部長ヲ佐テ職金取纏ニ尽力)	1	大正6(1917)年9月10日	明治神宮奉賛会会長正二位勲一等公爵徳川家達→阿部仁太郎	260-325	
3688 24	目録(金拾円寄付候段奇特ニ付為其賞木杯壹箇下賜候事)	1	大正6(1917)年8月11日	北海道庁長官従四位勲三等依藤一→札幌区豊平町阿部イソ	230-310	
3688 25	目録(金拾円寄付候段奇特ニ付為其賞木杯壹箇下賜候事)	1	明治43(1910)年12月21日	北海道庁長官正四位勲二等河島静→北海道札幌郡豊平町阿部仁太郎	230-310	
3688 26	終身会員証書(未使用)	18	不明	北海道興産会会長、北海道興産会総裁→不明	235-300	
3688 27	表彰状(多年軍用燕麥ノ納入奨励ニ尽瘁)	1	大正15(1926)年3月29日	北海道燕麥生産代表者連合会長長東武→阿部仁太郎	270-395	
3688 28	感謝状(産米改良費ノ内へ金五拾円寄付)	1	大正4(1915)年12月29日	白石村農会→産米検査顧問阿部仁太郎	270-395	
3688 29	感謝状(第十一回農産品評会ヲ開催スルニ当リ、金參拾円寄付)	1	明治45(1912)年7月12日	北海道興産会総裁従二位勲三等伯爵正親町実正→豊平外四ヶ村用水組合	260-355	
3688 30	感謝状(第十一回農産品評会ヲ開催スルニ当リ、金貳拾貳円余寄付)	1	明治45(1912)年7月12日	北海道興産会総裁従二位勲三等伯爵正親町実正→阿部仁太郎	260-355	
3688 31	賞金授与証(畜牛ヲ出陳シ參等賞ヲ得タリ、仍チ金五拾円ヲ授与ス)	1	明治41(1908)年8月22日	農商務大臣従三位勲一等男爵大浦兼武→北海道石狩国札幌郡豊平町阿部仁太郎	255-340	
3688 32	感謝状(本会地方委員トシテ本会ノ事業ヲ輔ケラレタル貴下ノ御尽力)	1	明治39(1906)年12月17日	北海道物産共進会々頭男爵園田安賢→阿部仁太郎	250-315	
3688 33	賞状(管下水災ノ際罹災者へ金十円賑恤候段奇特ニ付木杯一箇下賜)	1	明治33(1900)年8月1日	北海道庁長官従三位勲二等男爵園田安賢→北海道石狩国札幌郡豊平村北海道興産会	225-310	
3688 34	任命書(大日本北海道農會厚別支会庶務委員囑託候事)	1	明治33(1900)年2月20日	大日本北海道農會々々長藍綏襄章佩用者阿部仁太郎→阿部初太郎	245-320	
3688 35	終身名誉会員証書(終身名誉会員ニ列ス)	1	明治26(1893)年8月26日	札幌農會総裁従三位侯爵壽亭修季、札幌農會々々長→札幌郡豊平村阿部仁太郎	240-305	

文書番号	文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3688 36	推薦状(創設以来副会長ノ重職ニ当リシ功績ヲ整理シ其功績特ニ顯著ナリトス、據テ今回名誉会員ニ推薦ス)	1	明治 25 (1892) 年 12 月 25 日	札幌農会総裁三位侯爵菊亭修季→札幌農会副会長阿部仁太郎	325-395	
3688 37	解職状(依請解本職)	1	明治 25 (1892) 年 12 月 25 日	札幌農会総裁三位侯爵菊亭修季→札幌農会副会長阿部仁太郎	235-325	
3688 38	表彰状(当社ノ相談役トシテ尽瘁セラルル所少カラス)	1	昭和 8 (1933) 年 7 月 14 日	札幌市豊平神社鎮座五十年記念祭典総裁四位勲三等橋本正治→阿部仁太郎	265-365	
3688 39	表彰状(当社ノ役員トシテ神社ノ維持経営ニ力ヲ致シ為メニ社運今日ノ隆昌ヲ見ルニ至レリ)	1	昭和 8 (1933) 年 7 月 14 日	札幌市豊平神社鎮座五十年記念祭典総裁四位勲三等橋本正治→阿部仁太郎	265-365	
3688 40	感謝状(本協会事務所新築ニ当リ其ノ建設資金ヲ寄贈セラル)	1	昭和 2 (1927) 年 7 月 25 日	財団法人北海道三等局長協会→石狩厚別郵便局長阿部仁太郎	270-390	
3688 41	褒状(社団法人日本会員掖済会北海道支部事業施設費金壹百円寄付)	1	大正 15 (1926) 年 9 月 16 日	北海道庁長官四位勲三等中川健蔵→七位勲八等阿部仁太郎	270-370	
3688 42	第一回国勢調査記念章之証	1	大正 10 (1921) 年 7 月 1 日	賞勲局総裁四位勲一等伯爵兒玉秀雄、賞勲局書記官正五位勲四等横田郷助、賞勲局書記官正六位郡山智→七位勲八等阿部仁太郎	295-405	
3688 43	表彰状(産業ヲ奨メ亦公共事業ヲ励マシ地方改良ニ貢献セラルル功勞顯著ナリトス)	1	大正 6 (1917) 年 4 月 7 日	札幌郡白石村長勲七等下田実→阿部仁太郎	275-400	明治 30 年厚別郵便局長に任命され、白石村に居住してからの実績(興産会支部設置、明治 41 年村会議員、明治 43 年白石村農会長等)を表彰
3688 44	賞状(故陸軍少尉角田盛人、明治三十七八年戦役ノ功ニ依リ特ニ金千円賜フ)	1	明治 38 (1905) 年 5 月 18 日	陸軍省→角田トヨ	225-310	
3688 45	賞状(明治三十七年戦役ノ功ニ依リ功六級金瓊勲章並ニ年金貳百圓及勲六等采光旭日章ヲ授ケ賜フ)	1	明治 37 (1904) 年 12 月 1 日	賞勲局総裁二位勲一等子爵大給恒→陸軍歩兵少尉勲七等角田盛人	225-310	
3688 46	賞状(第六回射撃会ニ於テ其成績優秀ナリ)	1	大正 3 (1914) 年 11 月 25 日	帝国在郷軍人会札幌区分会長正五位勲三等功四級松本麟四郎→陸軍歩兵上等兵岩井盛太郎	260-350	
3688 47	謝状(軍用燕麦購買ニ際シ賞農会ハ不少供給ヲ為シ軍馬ノ給養上裨益ヲ与ヘラレタリ)	1	明治 44 (1911) 年 8 月 27 日	陸軍糧秣本廠札幌派出所長陸軍三等主計正六位勲四等功五級宗本辰五郎→白石村農会長阿部初太郎	250-320	
3688 48	賞状(大隊銃剣術競技会ニ於テ其成績優等ナリ)	1	明治 43 (1910) 年 7 月 15 日	歩兵第二十五連隊第一大隊長陸軍歩兵少佐佐六位勲四等功四級横山重雄→歩兵第二十五連隊第四中隊陸軍歩兵上等兵阿部盛太郎	235-305	
3688 49	賞状(明治三十七八年戦役ノ際、従軍者家族戦死者遺族扶助ノため金五百円寄付候段奇特)	1	明治 40 (1907) 年 3 月 28 日	北海道庁長官四位勲三等河島静→北海道札幌郡豊平村阿部コト	230-310	
3688 50	賞状(明治三十七八年戦役ノ功ニ依リ勲八等白色桐葉章及金貳百円ヲ授ケ賜フ)	1	明治 39 (1906) 年 4 月 1 日	賞勲局総裁二位勲一等子爵大給恒→陸軍歩兵上等兵阿部豊三郎	225-310	
3688 51	善行証書(現役中品行方正勤務勉勵學術技芸ニ熟達ス)	1	明治 39 (1906) 年 3 月 5 日	歩兵第二十五連隊陸軍歩兵大佐五位勲三等渡邊水哉→歩兵第二十五連隊第十一中隊陸軍歩兵上等兵阿部豊三郎	230-310	
3688 52	贈呈目録(花瓶 壹)	1	大正 15 (1926) 年 10 月 31 日	日本会員掖済会北海道支部長中川健蔵→阿部仁太郎	175-245	第壹回総会ノ記念トシテ贈呈
3688 53	賞状(明治三十七八年事件ノ功ニ依リ金貳拾円ヲ賜フ)	1	明治 39 (1906) 年 4 月 1 日	賞勲局総裁二位勲一等子爵大給恒→三等郵便局長阿部仁太郎	230-310	
3688 54	謝状(第七師団秋季演習ノ際ハ万端懇篤ナル御配慮ニ依リ無事軍隊ヲ通過セシメタル而已ナラス歓迎費ノ内ハ多く金品御寄贈)	1	大正 5 (1916) 年 12 月 1 日	白石村長勲七等下田実→阿部仁太郎	280-405	
3688 55	賞状(明治三十七八年戦役ノ際、報國ノ旨意ヲ以テ軍需品寄付、木杯一箇下賜)	1	明治 39 (1906) 年 3 月 8 日	北海道庁長官三位勲二等男爵園田安賢→北海道札幌郡豊平村阿部仁太郎	230-310	
3688 56	賞状(明治三十七八年戦役ノ際、報國ノ旨意ヲ以テ軍資ノ内ハ金五十圓献納、木杯一箇下賜)	1	明治 38 (1905) 年 5 月 10 日	北海道庁長官三位勲二等男爵園田安賢→北海道札幌郡豊平村阿部仁太郎	230-310	

文書番号		文書名	数量	年月日	差出人・作成者→宛先	寸法(縦-横-厚さ)	備考
3688	57	賞状(明治三十七八年戦役ノ際、報国ノ旨意ヲ以テ軍資ノ内へ金二十円献納、木杯一箇下賜)	1	明治 38 (1905) 年 3 月 10 日	北海道庁長官従三位勲二等男爵園田安賢→北海道札幌郡豊平村阿部仁太郎	230-310	
3688	58	謝状(本会軍人へ贈与ノ缶詰募集ノ際寄付)	1	明治 37 (1904) 年 11 月 23 日	豊平奉公義会→阿部仁太郎	230-310	五十銭寄付

以上

阿部仁太郎家 系図



破線は養父・養子関係。初代当主と二代当主は実父・実子関係とする資料もある。

